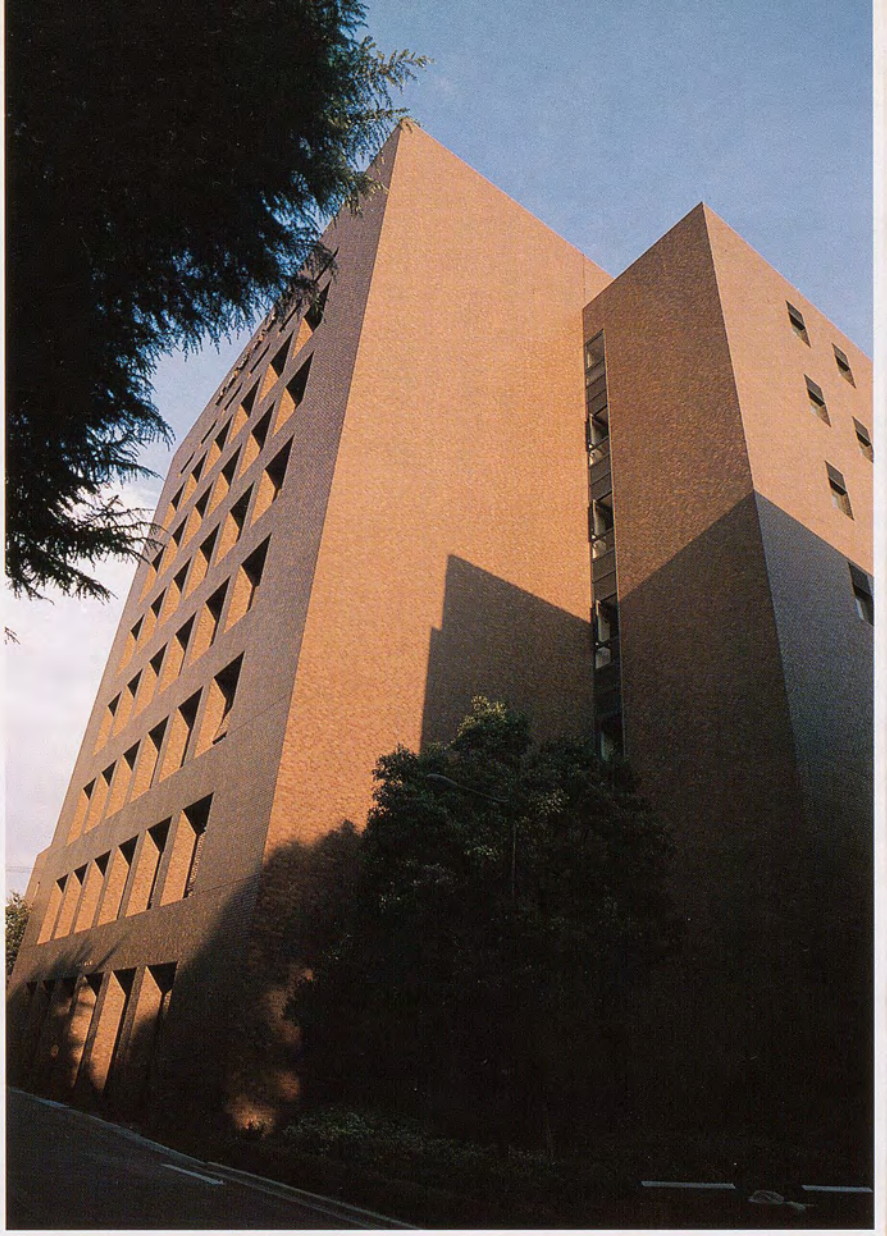


澱江

DENKO

'97 大阪経済大学同窓会

1997 No.33

巻頭インタビュー　武内美次氏 …… 1

特集グラビア
「心のふるさと　我が母校」
写真で見る　経大キャンパス …… 2

本部だより
会長あいさつ／理事長あいさつ／学長あいさつ／
総会／理事会／全国支部長会 …… 9

支部だより
平成9年度支部総会開催一覧 …… 15
同窓会支部長一覧 …… 26 27

OBネットワーク …… 28

ホットインタビュー
坂手恭介氏／竹森莞爾氏／福田俊彦氏／堤　一浩氏 …… 37

北から南から …… 42

学園だより
キャンパスライフ
「ああ、今どきの下宿事情」 …… 52
学園ニュース　入試／就職 …… 58
ゼミ短信 …… 63
事務局だより …… 73

表紙作品紹介

太田一澄（おおた　かずみ）

〈作画ネーム：太田安昭（おおた　やすあき）〉

【生年月日】昭和2年10月5日（70歳）

【出身地】大阪市中央区

【連絡先】大阪市中央区心斎橋1―4―22

【卒業年次】昭和26年（17期）

【所属ゼミ】菊田太郎ゼミ

【略歴】　1927年、大阪市生まれ。写壇地懐社代表。'41年大阪経済専門学校卒業後、大阪ミナミ心斎橋筋で家業の飲食店「喜與福」を継ぎ経営。'70年大阪万国博覧会を契機に「喜與福」を解消、株式会社ナルボンヌ代表取締役社長として、喫茶ナルボンヌおよび心斎橋ギャラリーを経営。心斎橋筋商店街心友会会長、同振興組合理事、大阪府飲食業環境衛生同業組合南支部長、本部副理事長。'97年10月環境衛生功労者として厚生大臣表彰を受ける。大阪市中央区民生委員等を歴任、現在に至る。'60年以来写真界で伝統と歴史に輝く写壇地懐社に所属、作画活動に精進。'70年同クラブ同人審査員に推挙される。二科会7回入選、3回入賞、二科会の最高賞、二科賞を「村人」で受賞。数々のカメラ専門誌を飾った。現在、海外での作画に力を入れている。現大阪経済大学同窓会大阪市支部長、同窓会常任理事。写真集「夢ぼとけ」「泥泥ぼとけ」。（文・清水公照／東大寺管長）

『澱江』の由来

題字：渡辺達好名誉会長

初代校長黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江 に臨みて高くそそり立つ　我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば、【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。「淀」は「澱（でん）」に通ずる。と記載されています。

巻頭インタビュー

黒正先生と師弟愛

武内美次氏

本学10回（昭和18年）卒、元・武田薬品工業株式会社副社長、現・本学理事

大阪経済大学の前身、昭和高商は、いわゆる私塾のように「人間としての心構え」を教えるところでした。その一齣を初代校長黒正巖博士と学生武内美次氏との心の交流を通して垣間見てみたいと思います。

写真の扇子は、卒業式当日、氏が校長室に御礼の挨拶に伺ったとき、黒正校長自らがその場で筆を執り武内氏に贈られたものです。揮毫「青雲萬里道窮まりなし　黒潮涯しなく流れて止まず」は、正に学窓を巣立って行く青年に対する最大の励ましの語でありました。「卒業後ずっと社会生活を続ける間この言葉にどれだけ励まされたことか」と、氏は語っておられます。

今一つ、武内氏の終生を貫く座右の銘に、「常に科学することを忘れるな」というものがあります。これも黒正先生が教室で生涯の心構えとしてくださった言葉だそうです。

武内氏はこの言葉を「常に考え、考えてことに当たれ。何故これをするか、何故これでなければならないのか、もっと良い方法があるのではないか」と解釈され、その結果、氏は会社の仕事のあり方や組織を率先改革して来られました。今はやりの〝改革〟以前に、氏の五十年間の会社生活は常に改革を実践する日々でありました。

「高商時代の楽しい思い出は際限ないが、大阪学生連盟剣道大会優勝の翌日、剣道部部長奥村教授と校長室に伺ったとき、校長がすっと椅子から立ち上がられ、『新聞で優勝の記事を読んで躍り上がる程嬉しかったよ。良くやってくれた』といって握手をされた。それこそ生涯忘れられない感慨を覚え、優勝したことより校長にこんなに喜んでもらえたことの方が嬉しかった」と、当時を振り返っておられます。

以上、教育の神髄ここにあり、の思いがする素晴らしいエピソードを、ここに紹介させていただきました。

（文責『澱江』編集部）

WEST CAMPUS

西キャンパス

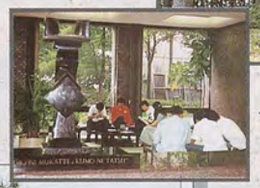
芸術会館

芸術系クラブの活動の場。音楽・美術関係のクラブが日夜活動に励んでいます。

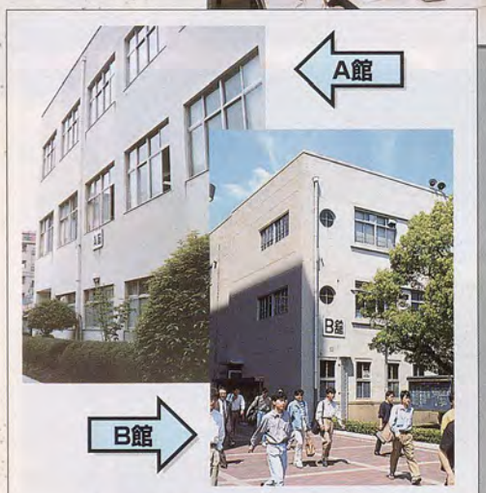
50周年記念館（E館）

昭和61年3月、創立50周年記念事業として建築。1階は談話室、学生たちの憩いの場です。

シンボル「風」▶
西学舎正門にある2つ目のシンボル。



◀シンボル「雲」
E館1階ロビーにある経大の3つのシンボルの一つ。「自由と融和」をテーマに「雲に向かい、風に向かい、明日に向かって生きる若者」をイメージして、世界的彫刻家流政之氏が創作。



A館・B館

研究所や研究室、教室があるなじみ深い両校舎。内部施設をG館に移設し、平成10年に取り壊される予定です。

大学院館

昭和13年建築。経大の創設当時を忍ばせる木造2階建ての校舎は、経大の歴史を物語っています。

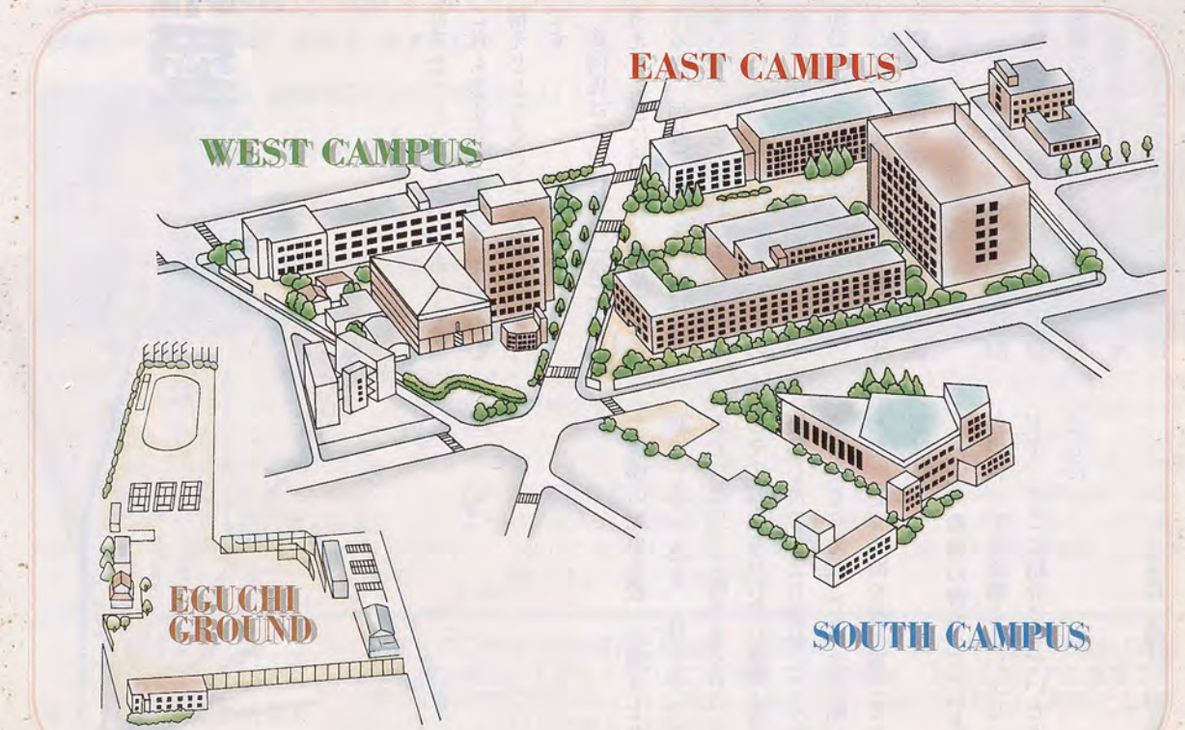
体育館・体育特別教室

授業のほか剣道、空手、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール等の部活に利用。特別教室にはトレーニング機器が充実しています。

心のふるさと　我が母校

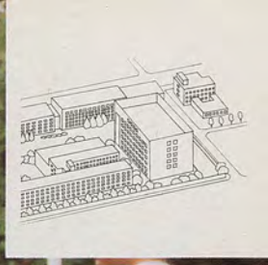
写真で見る経大キャンパス

浪華高等商業学校創立から65年、今年度からは経営情報学部を開設し、母校経大はまた新しい歴史を綴ろうとしています。新学部開設にあたり、今春、今秋と2つの新学舎も完成。時代とともにさまざまなドラマを刻んできたキャンパス風景も、創立時とはかなり様変わりしてきたと言えます。そこで、今回の特集グラビアでは、新世紀に向かいますます期待がふくらむ母校のキャンパス風景をお届けします。



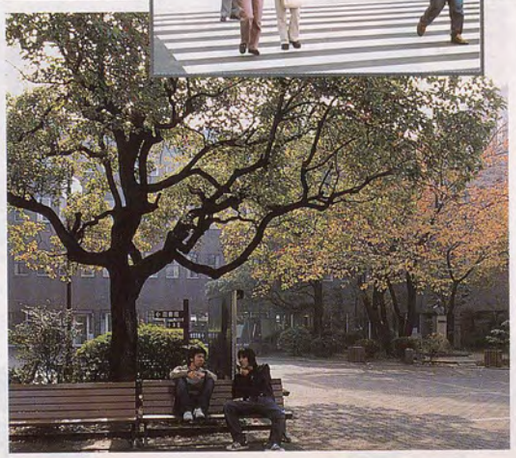
EAST CAMPUS

東キャンパス



図書館 蔵書は56万冊、うち8万冊を開架。資料はすべてデータベース化され、学生たちの満足度も高い人気の図書館です。

D館 昭和41年2月、4707平方メートルの新校舎として新築されました。



本館 昭和39年、経営学部新設を機に図書館とともに建築。外壁のタイルが構内の緑と調和し、経大のキャンパスカラーを生みました。

C館 昭和36年11月、経済学部経営学科第1部・第2部（昭和37年3月）開設に向けて新築されました。

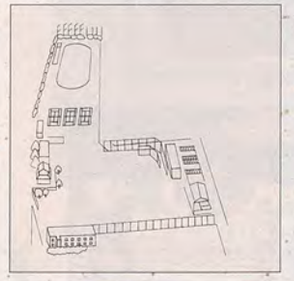
MIC（F館） 平成3年、経営学部経営情報学科新設の時に建設。経大の情報教育の基地とも言える施設・設備を誇っています。

シンボル「花」
MIC中庭にある3つ目のシンボル。

SOUTH CAMPUS

南キャンパス

学生会館 カフェテリア方式の食堂はいつも学生でいっぱい。1階には購買部もあり、2階は音楽練習室と大ホール。学生たちの音楽会に、講演会に利用されています。



EGUCHI GROUND

江口グラウンド

第2体育館 実技教室のほかクラブ室や合宿室も。体育会系クラブの合宿にも利用され、いつも学生たちの熱気が感じられます。

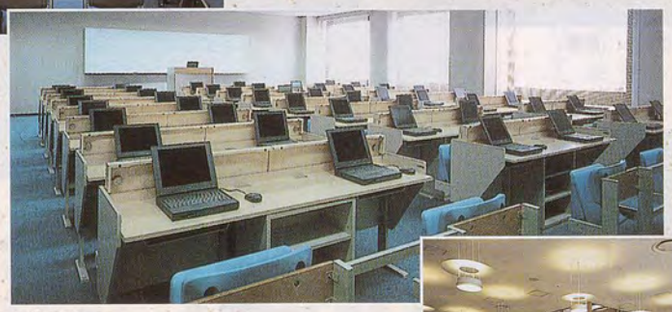
NEW FACE

G館

G館 経営情報学部開設に伴い平成9年10月、東キャンパスに誕生した新学舎G館。その風格ある落ち着いた外観は、E館とツイン・ビルのようにそびえ、経大キャンパスの新しい顔となる学舎です。

「レンガの館」（日展会員 関田庄司 画第8回卒）
寄贈 大阪経済大学同窓会

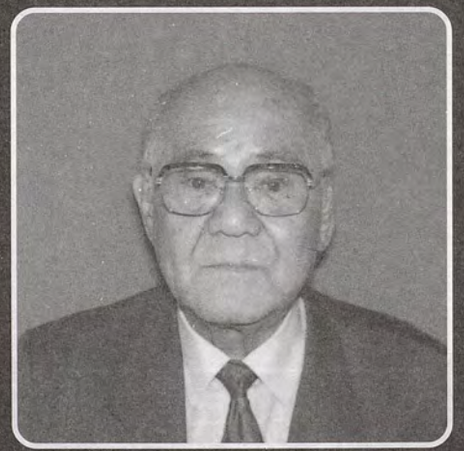
6階演習室



5階教室

1階学生情報センター

本部だより



「道理貫天地」を忘れることなく一層の活躍を

同窓会会長　萩原　市郎

会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

野山の紅葉とともに秋本番の季節を迎えますが、この季節になりますと会員諸兄姉を迎えて11月3日（文化の日）に開催する同窓会総会、並びに年末に皆様のお手もとにお届けする機関誌『濺江』の編集作業にと、同窓会本部も一番活気に富み多忙をきわめる時期となります。

母校では、今年4月に新しく経営情報学部が開設され、それに伴い新学舎（G館）が建設され、去る10月22日にその竣工式が執り行われました。

新学舎の設備の充実ぶりには目を見張るものがあります。

1階の「学生情報センター」「学生談話室」「演習室」等々すべては開校当時の設備とは隔世の感があります。

特に、50万冊の書籍を収納できる地下1階の書庫には世界でも初めてといわれる機構を有し、特許申請されるとのことです。

このような母校の発展・充実は真に喜ばしいことでありますが、一旦目を外に向けますと、長引く経済不況は消費景気の低迷と相まって、殺伐とした世相を招き、先行きに希望を見出せないのが現状ではないかと思います。

しかし、会員諸兄姉は今こそ、黒正巖先生の格言「道理貫天地」を忘れることなく、各界・各地でより一層の活躍をされることを祈念してやみません。

すでにマスコミを通じて盛んに議論されていることではありますが、18歳人口の激減期を迎えて、今後大学の経営も決して容易なものではないと考えられます。

幸い今日までは、理事長各位、教学執行部の諸先生方、同窓会会員諸兄姉並びに在学生諸君の父母の弛まぬ努力によって母校は順調に発展してきましたが、今後とも愛情と情熱をもって母校の発展に寄与されることを祈念して挨拶といたします。

NEW FACE

大樟ホール

大樟ホール東面夜景

大樟ホール

平成9年3月竣工。談話室、会議室をはじめ数多くのクラブ室が入っているクラブ活動の拠点です。クラブの仲間が集まり、議論をかわし、活気あふれるキャンパスライフがここで繰り広げられます。

大樟ホール　部室

大樟ホール　音楽練習室

大樟ホール　談話室

同窓の皆さまに、ご挨拶申しあげます

理事長　桑津　昇

理事長として『澱江』にてご挨拶申し上げるのは今回で三回目になります。その間、学長は上島教授より北崎教授に代わられ、一歩一歩充実したものと相成りました。

残念なことですが、岩谷専務理事が一身上の都合とは申せ、10月末日をもって退任され、私にとりましても、理事会にとりましても、非常なショックで残念でなりません。私といたしましても心身の限界に達しておりますが、岩谷氏は幸い専務理事職を離れても理事として陰に陽に、私を補佐してくれますので心強く存じております。学長をはじめ特に学内理事の方々とはいよいよ緊密相和して建学の精神を堅持し、その理念、哲学に基づいた経営に邁進できるものと信じております。

「理想は高く」でございますが、現実に即応した健全経営こそ理事会、理事長の最優先課題として、財政バランスを不動にして、諸々の当面の施策を実行する所存でございます。

すでに経営情報学科の学部改組昇格も、大樟ホール、新学舎G館の竣工も見ることができました。さらに、今後に向けて多難な条件下にありますが、新学科、あるいは新学部の設置構想も学長のもとにて検討、進捗しており、理事長といたしましても全面的に惜しみなき協力を表明いたしております。

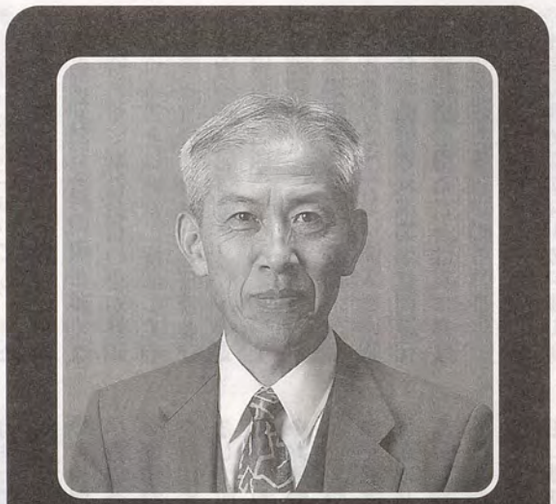
何れにいたしましても限られた物理的条件下において種々の規制、財政条件をもってするには高きハードルではありますが、教職員、全学一致して実りあるものにすべく努力し、その先頭に学長共々、立つ覚悟でございます。

いかに冬の時代、受験生の減少傾向にあろうとも、社会ニーズに応え、評価される「さすが大阪経大」と言われる特色ある大学として未来に繋ぎうることを唯一の使命感といたしております。

ただ、理事会、教職員一体となり、決して乖離することなく、それぞれの本分の充実、全うすることあるのみでございます。

今後とも、同窓会諸賢の一層のご支援、ときにご叱責、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に皆さまの益々のご健勝とご清栄を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



二十一世紀に向けて大学改革を推進

学長　北崎　豊二

同窓生の皆さま、お元気でご活躍でしょうか。

大阪経済大学は、1932年に創設された浪華高等商業学校を前身としますから、本年で65年の歴史を有することになります。卒業生も、6万人をこえ、各界における同窓生の皆さまの活躍は実にめざましく、伝統の重みというものを感じます。

ところで、本学は戦後の学制改革により、1949年に大学となりましたが、経済学部のみをおく単科大学としてスタートしました。経営学部が設けられたのは、その15年後の1964年であります。以後、本学は、長い間、経済・経営の2学部体制でまいりました。本年4月にいたり、ようやく、待望の第3の学部として、経営情報学部を開設することができました。新学部は、経営学部に設けられていた経営情報学科を改組したものですが、学部とするに当たり、教授陣を充実させ、カリキュラムも大幅に改めました。したがって、この学部から、やがて最新の情報技術を身につけた新しいタイプの卒業生が数多く巣立っていくものと確信しています。また、既存の経済・経営両学部においても、数年前からコース制を採用するなど、時代の変化に対応するよう心掛けています。

しかし、ひるがえって大学を取り巻く環境をみますと、非常にきびしいものがあります。わが国においては、合計特殊出生率が1970年代後半から2・0を割り込み、95年には1・43まで低下しています。つまり、最近は少子化の傾向にあり、18歳人口が92年の約205万人をピークに減少をつづけ、96年には約173万人、2000年には約151万人、2009年には約120万人となるものと予測されています。この18歳人口の減少にともない、大学・短大への志願者数も減少傾向で推移し、2010年ごろには、大学・短大の志願者に対する収容力は100%となるという試算が公的機関からなされています。それゆえ、本学においても社会や学生のニーズに対応した組織編成の見直し、教育内容・方法の改善につとめ、大学の「冬の時代」を乗り切らなければならないと思います。同窓生の皆さまにおかれましても、この点をご理解いただき、今後とも、何かとご協力くださいますよう、お願い申しあげます。

最後に皆さまの益々のご健勝とご清栄を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

平成9年度同窓会総会

◆日時　平成9年11月3日(文化の日)午前11時開会

◆場所　母校50周年記念館

快晴に恵まれ午前10時30分、吹奏楽総部の歓迎演奏開始と同時に受付業務を開始した頃には、すでに相当数の会員諸兄姉が来場され受付手続きを済ませて記念館1階ロビーで思い思いに歓談を始められた。

11時のセレモニー開始前に誘導案内係の諸君が全員を4階セレモニー会場へ案内した。

◆総会セレモニー

定刻11時、上野常任理事（14）の司会で開会。

冒頭、この1年間に他界された会員諸兄姉のご冥福を祈って黙祷を捧げ、その後、福元総会特別委員会委員長（37）が開会の挨拶を述べ、続いてグリークラブ部員諸君の指導で学歌を斉唱した。

◆萩原同窓会会長挨拶の要旨

① 1年ぶりに会員諸兄姉の元気な姿を拝見し誠に嬉しく思うとともに、本年度の同窓会総会に理事長、学長はじめ来賓各位多数のご臨席を賜り心より謝意を表する。

② 景気低迷の長期化に加え、昨今の社会情勢は実に好ましからざる状況であるが、母校においては経営情報学部の開設にともない新学舎G館が建設され、その竣工式が去る10月22日に挙行された。

その施設・設備の充実ぶりは開学当時に比べれば隔世の感を禁じ得ないが、卒業生として母校の施設・設備の充実ぶりは真に喜ばしいことである。

③ 本日の総会においても、また各地で開催される支部総会においても最近若い会員の姿が多くなり、時として女性会員の姿が見受けられることは非常に喜ばしく心強いかぎりで、今後とも母校並びに同窓会に対してより一層の支援・協力をお願いする。

◆来賓祝辞

◆桑津理事長ご挨拶の要旨

① 早秋の文化の日に盛大な同窓会総会が開催され卒業生諸氏の元気な姿に接し得たことは真に喜ばしいことである。

② 全学の協力により、従来の経営情報学科がこの4月から新しく経営情報学部として発足し、先に同窓会会長から話のあった通り、懸案であった第7番目の研究棟G館が完成し、去る10月22日竣工式典を挙行した。

③ 本学の場合、校地面積・立地条件等いろいろな制約はあるが、さらに将来を展望して新しい学科・学部の開設を目指して学長を中心に教学関係者の間で計画を模索し、理事会はそれを全面的にバックアップするよう全学一体の協力体制を取っている。

④ 従来から入試・就職等については同窓生諸氏の協力を得ているが、今後ともより一層の支援・協力をお願いする。

⑤ いささか残念であるが、今まで専務理事として母校のためにご尽力いただいた岩谷宣治氏が諸般の事情で10月末をもって専務理事を辞任され、今後は引き続き理事として協力を得ることになっているので報告する。

◆北崎学長ご挨拶の要旨

① 快晴に恵まれた文化の日、かくも盛大な同窓会総会が開催されたことを心よりお祝い申しあげるとともに大学関係者多数をお招きいただいたことに謝意を表する。

② 本学はすでに65年の歴史を有し、大阪でも古い大学の一つとなり、同窓会でも多数の地域・職域支部が結成され、同窓生諸氏の支持により今日まで順調に発展し、校庭に植えられた「樟」も「大樟」となり大隈の地に根づいた大学となったことは間違いない事実である。

なお、今春新しい学部を開設し3学部を擁する立派な社会科学系大学となったが、大学冬の時代を目前にしてさらなる発展を期するためにはさまざまな改革を実施しなければならないと思う。

しかし、これは全学一致協力して進めなければならないことで、同窓生諸氏にもより一層の支援・協力をお願いする。

◆来賓紹介

波根広報部長（32）が当日ご臨席の来賓各位を紹介した。

続いて、10月末をもって専務理事を辞任された岩谷宣治氏から一身上の都合でG館完成を機に専務理事を辞任した旨の報告があり、在任中の関係者の協力に対し謝意を表された。

◆支部長・同窓会役員紹介

当日、全国各地から出席された支部長並びに副会長以上の本部役員（名誉会長・顧問を含む）各位を陰下事務局長（16）が紹介し、セレモニーを終了した。

◆懇親パーティー

高塚総会特別委員（41）の司会で開会、萩原会長、桑津理事長、北崎学長による恒例の鏡開きに続いて浜本経営学部長の乾杯の音頭で懇親会の幕を開けた。

時代の流れとともに昭和高商卒の常連の顔ぶれが減少し、新しい卒業生の参加が増加して絶対数で

は前年度総会より参加者が増加しているのは心強い半面淋しい気のする一面もあった。

グリークラブ部員の指導による逍遥歌斉唱の後、磯野常任相談役（3）の音頭で万歳三唱して散会した。

※文中の（ ）内の数字は卒業回数

平成9年度理事会開催

◆日時　平成9年6月28日（土）午後4時開会

◆場所　新阪急ビル12階レストラン・パレス

◆萩原会長挨拶の要旨

台風接近という悪天候下での理事会開催となり、交通機関その他諸々の事情でご出席いただけなかった理事の方もあると思われるが、遠方からご出席いただいた支部長理事の皆さんも含め理事多数のご出席を得て理事会を開催することが出来、皆さんの熱意に心から感謝する。

本日は平成8年度決算、平成9年度予算(案)についてご審議いただくことになっているので最後まで慎重にご審議いただきたいと思う。

◆議長選出

慣例に従い萩原会長（10）を議長に選任し、議案の審議に入った。

◆議案審議

第1号議案

平成8年度決算について

本案件については、大西財務部長（35）が収支各項目について詳細な説明を行い、続いて植村監事（32）から「平成9年6月11日に監査を行い、その処理は正確且つ適正であった」旨の監査報告が行われた。

議長が本案件について、その賛否を議場に問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

第2号議案

平成9年度予算（案）について

本案件については、福元総務部長（37）が各項目について詳細な説明を行い、会費収入は概ね前年通りの予定であるが、前期繰越金は多少前年度より少なく、そのため特別基金への繰り出し額を多少減額した旨を説明し、議長がその賛否を議場に問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

第3号議案

その他

特別に提案事項なし。

以上で議案審議のすべてを終了した。続いて来賓としてご臨席いただいた理事長、学長はじめ諸先生方に会場にご入場いただき、桑津理事長、北崎学長から祝辞を兼ね学内事情の説明をいただいた。

なお、当日ご臨席いただいたご来賓各位を陰下事務局長が紹介の後、久保田就職部長、田淵入試部長から今年度の就職状況の見通し並びに入試状況についてご説明いただいた。

就職状況については、前年度より薄日がさしている感はあるが、就職協定の廃止に伴い3月から学生が就職活動に飛び廻っている状況で完全な実態把握は難しいが、前年を上回る実績を上げたいと努力しているとの報告があった。

入試状況については、国公立志向、地元志向、理工系志向へと変化し、また、併願者並びに女子の志願者が減少して前年度に比して応募者は減少したとの報告があった。

以上をもって理事会を終了した。

◆懇親会

重森経済学部長の音頭でコース形式の懇親会を開催し、例年通りの和やかな雰囲気の懇親会となったが、途中台風の影響で新幹線並びに在来線の一部に不通区間が出ているとの情報があり、遠方からの出席者の中には早めに退席された方もあった。

※文中の（ ）内の数字は卒業回数

平成9年度全国支部長会開催

◆日時　平成9年6月28日（土）正午開会

◆場所　新阪急ビル12階レストラン・パレス

◆出席者　萩原会長以下常任理事14名並びに東京、名古屋、岐阜、滋賀、富山、福井、三重、和歌山、奈良、大阪市、大阪市役所、豊中、池田、泉南、尼崎、西宮、神戸、丹有、姫路、岡山、備後、広島、山口、島根、愛媛、高知の各支部長並びに実務担当者（順不同、代理を含む）

◆開会

定刻に白井常任理事・組織部長（26）の司会で開会。今年は支部長の忌たんのない意見交換を期待し、学校当局の関係者は支部長会にお招きしなかった。

また、前年度に会議の時間を十分にとるようにとの意見もあり、特に支部長会の雰囲気を支部の実務担当者に知ってもらうことによって支部活動を活性化してもらうため、各支部の副支部長、代表幹事、事務局長等実務担当者の同伴出席を依頼した。

萩原会長挨拶

台風接近という不測の事情もあり、出席いただけなかった支部長もあるが、新しい試みで開催した支部長会でもあるので活発な意見交換を期待したい。

中山支部長会幹事長（15）挨拶

支部長会の円滑な運営に努力するつもりであるが、支部長とともにお越しいただいた実務担当者の皆さんも、今日の討議内容を今後の支部運営に生かして欲しい。

★支部で開催された主な催しの報告

福井支部

前年度の支部長会でその計画を発表されたが、平成8年10月19日（土）に福井商工会議所、福井証券業協会、福井新聞社、福井テレビの協賛を得て、東京証券取引所副理事長井阪健一氏（本学19回卒）を招いて経済セミナーを開催したが非常に好評で地域住民を含めて400名の受講者があり、母校の名声を高めたと自負している。

丹有支部

支部総会の際に管理栄養士を招いて講演会を催したが、健康志向の波に乗って好評であった。

★その他各支部長から支部の現況報告並びに諸々の意見が出されたが、今後の検討課題となる主な意見。

① 毎年総会を開催しても同窓生の関心が非常に低く出席率が思わしくない。（都市圏程この意見が多い）

② 最近の卒業生は母校に対する関心が非常に薄い。

③ 最近はやや改善されたように思われるが、またまだ学校のPRが十分でない。

あらゆる手段を講じて母校の名声を高めることが会員の母校並びに同窓会への関心を高めさせる結果になると思われる。

④ 現在の各学部の教育内容の充実は当然であるが、もう少し社会的に関心を持たれるような学部、例えば社会福祉政策学部のような学部の設置を検討する必要があるのではないか。

最後に磯野常任相談役（3）が総括的な感想を述べられ閉会した。

※文中の（ ）内の数字は卒業回数

平成8年度収支決算書　自　平成8年4月1日　至　平成9年3月31日　（単位:円）

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	24,674,361	24,674,361	総会費	5,129,190	7,000,000
会費収入	60,805,000	58,000,000	役員会費	1,763,719	3,200,000
総会収入	783,000	800,000	支部費	6,033,558	8,500,000
利息収入	387,335	900,000	事務費	616,829	1,000,000
瀝江収入	993,810	800,000	人件費	7,445,440	7,800,000
名簿収入	458,040	0	旅費交通費	2,342,060	3,700,000
雑収入	3,600	0	瀝江発行費	16,773,572	18,000,000
			名簿調査費	2,265,497	2,500,000
			学対費	2,715,000	5,000,000
			諸会助成費	1,046,262	2,000,000
			慶弔費	159,650	700,000
			名簿積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	4,000,000	4,000,000
			特別基金へ繰出	13,000,000	13,000,000
			予備費	0	4,774,361
			次期繰越金	20,814,369	0
合計	88,105,146	85,174,361	合計	88,105,146	85,174,361

平成9年度収支予算表　自　平成9年4月1日　至　平成10年3月31日　（単位:円）

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	20,814,369		総会費	7,000,000	
会費収入	60,000,000		役員会費	3,200,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	8,500,000	運営費・支部総会援助
利息収入	400,000		事務費	1,000,000	
瀝江収入	900,000		人件費	7,800,000	事務局人件費
			旅費交通費	3,700,000	
			瀝江発行費	18,000,000	
			名簿調査費	6,000,000	
			学対費	5,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
			諸会助成費	2,000,000	諸会援助
			慶弔費	700,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	
			特別基金へ繰出	10,000,000	
			予備費	3,014,369	
合計	82,914,369		合計	82,914,369	

北の国から

北海道支部

北海道支部は設立16年を迎える事ができました。地方の時代と言われ久しくなりますが、各企業の北海道進出は徐々に進むとは言え、根付くまでには至っていないようです。そのことは支部会員の動向にも現われており、中堅、若手同窓生を擁する企業の数は増えているものの、その入れ替わりは旧来同様めまぐるしいものがあり、北の拠点でじっくりととはいかないようです。こんな中でも（いや、だからこそ）「住みたい街」の上位にランクされる札幌を中心とした北海道支部は、豊かな大地と充実した生き方を心から語り合える集まりを持っているのだと思います。北海道を離れ各地でご活躍の同窓生の皆様、相変わらず楽しくやっておりますのでご安心あれ！

長崎史明（43）

心から語り合える仲間と楽しく会合

楽しい山歩き

東京支部

東京在住のワンゲルOBの中に紛れ込んだ私のたわ言です。山歩きに参加するようになり1年。高尾山、鎌倉、箱根金時山など身近な山を求めての歩きです。現役の時には考えられなかった昼時のビールも又楽しからずや、1～2ヵ月に一度ですが近くに居ながら歩

休日の山歩きは心洗われる思い

けない山々の魅力、身も心も洗われる思いです。行く所も山ばかりではなく鎌倉シネマワールドや箱根の美術館と異なった楽しみを求めての休日が今や私の喜びそのもののようです。日頃の仕事と関係のない、かつての学舎をなつかしんでの集いにあれこれと語らうひとときを、皆様も御一緒にいかがでしょうか？

〔連絡先〕井上万治郎
TEL 03—3834—2105
（会社）

大隅たつみ（39）

多士済々の名古屋支部

名古屋支部

平成8年度の名古屋支部総会は恒例の名古屋国際ホテルで11月29日（金）夜、開催。久しぶりに出席頂いた前会長の磯野常任相談役からは、情報化社会のリードを目指す母校の近況を拝聴。水納副会長、岡本教授からも挨拶、報告等あり参加者一同しばし上新庄に思いをはせました。

名古屋支部伝統の同窓生講演は「不思議な経済大国」と題して加藤正秋氏（10）が自著「迷走する日本経済考」に鋭く熱弁、多彩な情報と分析に大拍手。ついで祝宴、テーブルを囲みながら歓談がつづきました。

伝統の同窓生講演は多彩な顔ぶれ

ところで伝統の同窓生講演ですが次回平成9年度も期待に添えるよう幹事一同検討しています。また、同窓生ならだれでも語れる身近なテーマを、との声もあり参考にして行きますのでご支援、ご協力をお願いします。ともあれ支部メンバーは大学教授、経営者等多士済々です。96年度『澱江』の表紙に掲載された油絵の作者、半田市在住の西丸全一氏（18）もその一人。プロ野球ナゴヤドーム元年ドラゴンズへ移籍の有働選手、チームは不振ながら終盤戦の熱投は光りました。来シーズンの活躍を期待しています。

明田安生（25）

少し寂しい総会に

岐阜支部

平成9年度の岐阜支部総会を年度始めの4月13日に新岐阜駅前の岐阜キャッスルホテルにて開催致しました。母校より浜本泰経営学部長、本部から水納副会長と名古屋支部より明田副支部長をお迎えしての総会でしたが、時期が悪かったのか、支部会員8名出席と寂しい総会になってしまいました。毎回の出席者の少なさに役員の方も「何が悪いのかな」と反省しきりです。ともかく会は母校の現状、同窓会本部報告と続き、乾杯。各自の現状報告、特に7期卒岩崎先輩、10期卒谷先輩の体験談に聞きいってしまい、両先輩に叱咤激励され、来年はもっと多くの支部会員の参加を期待しつつ散会致しました。

支部長　長崎和夫（29）

親睦を深めた支部総会

富山支部

富山支部は毎年7月に総会を開催しております。本年も高岡市において20名の参加を得て、会員の交流と親睦を深めました。水納副会長と大西財務部長の本部役員と大学から香積事務局長のご来賓のご出席のもと、学園の現状と将来についての報告を頂きました。

本年は、国西氏（29）を含め3氏の初出席もあり、皆さんの学生時代の紹介は大変盛り上がりました。18歳人口の減少期のなかで、母校のより一層の発展を願う声がでておりました。来年の支部総会は、7月第3日曜日に富山市で開催することを申し合わせました。

支部長　重松　尚（23）

結束を新たに、楽しい支部へ

福井支部

『澱江』32号に掲載された通り、

創立30周年の式典はアットホームな雰囲気

昨年は福井支部創立30周年の開催準備で明け、当日は学長の北崎先生、萩原同窓会会長、陰下事務局長、大学関係並びに同窓会本部役員の方々にご出席賜り、当支部の伝統でもある愛する奥様達も多数参加して、アットホームな式典、懇親会になりました。

また、記念事業では東京証券取引所副理事長の井阪先輩を講師に経済セミナーを開催、人集めに苦労はしましたが、成功裏に終えることができ、『地域への感謝』の目的を達成したものと自己評価しています。

9年度の総会は10月18日に開催します。昨年のいろいろな話題で、ワイワイ、がやがや楽しい一時が過ごせることでしょう。

玉木　誠（34）

和気あいあい

三重支部

昨年の支部総会のことなど、いささか旧聞に属する話で恐縮だが、実は『澱江』の原稿締め切りが毎年9月、当支部の総会は11月が恒例になっており、やむなく1年遅れの報告になったことをお許しいただきたい。

さて、平成8年度の支部総会は、

美しい秋晴れの日、和気あいあいと集いました

11月10日、大学より門田教授、同窓会本部より萩原会長、陰下事務局長のご来会を仰ぎ、会員18名の参加を得て、松阪市の『和田金』で開催された。席上、来賓の各位より受験生の減少期を迎え、大学としても経営情報学部の新設、さらに、施設の建設、拡充など鋭意努力をしているが、この大学冬の時代を乗り切るためには、ぜひとも同窓生各位のお力添えをお願いしたい等々のお話があった。

当日は、稀にみる秋晴れに恵まれ、それぞれ卓を囲み最高の松阪肉を賞味しつつ和気あいあいのうちにお互いに交情を深めあい、また来年の再会を約し盛会裏に散会した。

支部長　中尾大輔（5）

長浜での再会を約して

滋賀支部

日本のヘソとも呼ばれる滋賀県は、目立たないながら歴史のある地域です。また、最近では自然と調和しながら随分発展し、人口の増加とともに観光客も増えているようです。県内での一極集中がないことも幸いしていると言えます。

滋賀支部では隔年に支部総会を開催することを目標として、本年7月5日(土)、近江八幡のホテルニューオウミにて総会を開催しました。大学ならびに本部からのご来賓を加え、数十名の参加者でしたが、和やかな集会となりました。

次回の総会は、長浜で開催する旨の力強い宣言が同地区参加者からありました。長浜市議会議長も同窓生です。次回には今回の倍の参加者があるものと期待いたしております。

次回長浜での総会で会える事を楽しみに

支部長　正村公一（27）
文責／波根伸俊（32）

経大出身の仏像作家

京都支部

私は経大出身で異色の仏像制作や文化財の修理をしています。この度NHK出版よりアマチュアの方々に趣味で仏像を彫っていただくための入門書"仏像を彫る"（定価3、000円）を出版いたしました。全国の有名書店で今年1月より発売しております。近年カルチャーばやりで何かの趣味を持つ人達が増えて来ました。天然木で木彫りをやって見ようとされる方は挑戦して試してみてください。連続写真で細部にわたって説明と解説がついております。素質や才能は全く関係ありません。どなたでも仏像が彫れます。心の安らぎと精神統一になります。どうぞ試してみてください。

京都支部総会は平成8年12月に開催しました。今年は11月頃開催の予定です。

深田　稔（29）

久しぶりに仲間と会し、元気に万歳三唱

多くの出席者を期待

和歌山支部

同窓生の皆様毎日仕事に忙しく過ごされている事と思います。さて和歌山支部総会の準備のために7月4日華月殿にて有田、那賀、伊都地区県庁市役所JAの各幹事役員22名が集まり、総会を9月7日（日）午前11時より華月殿で開催を決定し、同窓生1、056名全員に案内状を出す事にしました。当支部は南北に長いため、新宮から御坊方面の出席がなく、女性の出席もありません。また、50期～60期の出席も少なく、これからどうするか今後の支部の課題です。そして、当日の返信は約40%（380名）その内約20%（73名）の出席のもと北崎学長、萩原同窓会長、東野常任理事、小松泉南支部長はじめ和歌山市長などの出席のもと盛会に開催出来ました。また来年の総会にはより以上の出席者をつのる事を約束して散会しました。

宇藤博文（28）

新会員などの初参加あり、会は盛大に！

1人が1人の会員を連れてこよう！

大阪市役所支部

課題を残しながらも盛大に開催

お店拝見

イタリア料理

「リストランテ笠井」

創作料理とワインで優雅なひとときを

豊中支部が推薦する、イタリア料理とワインの楽しめるレストラン「リストランテ笠井」をご紹介します。ワインセラーや厨房をガラス越しに眺めながら、四季の素材を盛り込んだ創作料理がいただけます。シェフ自らが吟味した世界各国のワインも数多く取り揃えています。シェフの心のこもった料理を前に、きっと会話も弾むことでしょう。ぜひ一度ご家族やお友達とお誘い合わせのうえ、ご来店ください。

コース料理

昼のコース（月替わり）　¥3、000～
郷土料理のコース　¥9、000～
夜のコース（季節替わり）¥7、000～
各国のワイン（グラス）　¥　900～

住　所：〒560-0026
豊中市玉井町1-9-25 笠井ビルB1
電　話：06-853-1943
営業時間：昼11：30～14：00　夜17：30～21：00
定休日：毎週水曜日・第3木曜日

仏壇店

「田中佛檀店」

創業安政元年の老舗佛壇店

高級御佛壇の産地彦根のさらなる発展を遂げるために、北山通りに直売所を兼ねた工房を開店。彦根佛壇は堅牢さ、豪華さにおいて他産地の追随を許さず、業界において高い評価を得ています。

京都支部の田中伸治さん（45）は平成8年1月に京都の新しいシンボルタウン北山通りに仏壇店を開店されました。本店は滋賀の彦根ですが、安政元年の創業で実績と信用を重ねられた老舗です。今度京都に出店されたのを機会に京都支部へ編入を希望されておりますので、田中伸治さんのお店を紹介させていただきます。

京都市左京区松ヶ崎六ノ坪町5-2
電話：075-723-9681

全国の同窓会会員の皆様、1年間のご無沙汰でした。唯一の職域支部の大阪市役所支部である我が支部の平成8年度の総会が、平成8年11月22日、夕闇せまる大阪桜ノ宮は銀橋のほとり、大阪市職員会館『桜ノ宮会館』で盛大に開かれました。毎年のことながら、マンネリ化しないようにと、あれやこれやと考えているうちに結局いつもながらの式次第になってしまいました。しかし、救いは新会員（若い人）や今まで見たことのないお顔が4～5人おられたことです。1人が1人の会員を連れてこよう！何とか支部の活性化をとあの手、この手の成果（?）なんです。今年も11月に総会を予定していますが、原稿の関係で1年遅れになりますが、報告はまた来年ということでありしからず！

福地利仁（39）

親睦で輪を広げよう

豊中支部

1．平成9年度の支部総会は10月18日（土）千里阪急ホテルで開催。今総会で黒田稔（15）支部長から山本雄二（28）支部長にチェンジ。

2．会報「豊中支部だより」も第3号を発行。内容も2頁から4頁に一段と充実。会員の皆さんには「総会の案内」と一緒に郵送。

3．2月15日（土）・16日（日）一泊読書会を宝塚チボリで開催。翌日は仁川から甲山へハイキング。

4．12月6日（土）・7日（日）一泊読書会を六甲山の家（会員の会社所有の保養所）で開催。当日は読者会の後、神戸港の夜景を眼下に見ながらのバーベキューパーティー。翌日は六甲最高峰から徒歩で下山。

5．平成10年4月25日（日）仏閣を散策予定。

下山途中、甲山をバックに記念撮影

会員の皆さんのご参加を期待しております。

笠井二郎（26）

講演会開催

泉南支部

終始和やかな雰囲気で

『デジタル衛星放送のゆくえ』泉南支部では4月20日（日）岸和田市民会館にて午前11時～12時30分まで、現在毎日放送の『おはよう川村龍一です』のブレーン兼コメンテーターとして活躍中の黒田勇先生をお迎えし、今後のテレビ放送やラジオ放送についてわかりやすくユーモアを折り混ぜてお話をしていただき大変好評でした。総会及び懇親会は近くの『五風荘』に移り、大学より先程講演をしていただきました黒田先生、同窓会本部より磯野斉常任相談役、水納敏也副会長、陰下嘉典事務局長、和歌山支部より新田和弘事務局長を来賓としてお招きして、大いに語らい酒を酌み交わし和やかな交歓のひとときを過ごしました。初めての参加者からこれからは必ず出席すると言われたのが大変うれしかったです。初めての方も気楽な気持でご参加ください。

支部長　小松安夫（23）

明石架橋の開通を目前に控えて

淡路島支部

第7回淡路島支部総会は、去る9月7日、淡路フェリー大磯港にほど近い東浦町「ゑびす亭」にお

来年大きく変わる淡路島に期待と不安が

いて開催されました。

ここは、明年4月開通予定の世界最長・明石海峡大橋をはるかに望む景観地。当日はあいにくの雨でしたが、ご来賓に中村理事、水納副会長、白井組織部長のご臨席を仰ぎ、初出席会員2名を含め26名の参加者となりました。

これまで淡路は島であったことでそれなりの経済環境が保たれてきましたが、架橋開通とともに社会経済情勢が大きく変貌しようとしています。「島が島でなくなること」への期待と不安…。

しかし、こんな複雑な思いを払拭するような活気あふれる楽しいひとときを過ごすことができました。

宝川雅嗣（23）

支部総会を好機に経大をアピール！

丹有支部

今春、JR福知山線が篠山口まで複線化されて、大阪方面への通勤・通学が一層便利になりました。丹有地方や西宮・宝塚周辺から、母校への志願者と合格者が年々増加していることはうれしいことです。さらに、入学者も多くなってほしいものです。

今年の支部総会は、9月28日（日）、篠山町の"ユートピアささやま"で開催。学長北崎豊二先生、萩原同窓会会長をはじめ、多数の来賓をお迎えすることができ、65人が参加して、充実した集いになりました。

その後、『情熱の歌人 和泉式部』（梶村文弥著）出版記念講演会・懇親パーティーに合流して、地域各界の方々とともに百数十人が交歓の場をもち、大阪経済大学のPRにもつとめました。

恒例のゴルフコンペは、11月19日（水）に三田レークサイドCCで行いました。

支部長　梶村文弥（8）
副支部長　奥野昇二（19）
〃　西羅隆之（25）
〃　足立徳太郎（36）

総会、出版記念講演会と充実したひととき

震災後初の総会開く

西宮支部

平成6年3月5日に、ここ阪神甲子園都ホテルで開催されて後、翌年1月17日の阪神大震災で休会しておりましたが、平成9年7月12日にやっと開催することができました。

この間、西宮・芦屋・宝塚の各支部会員にはその安否を確認するとともに、励ましあい、震災復興に家屋の再建にと慌ただしい2年半を費やしてきました。しかし、ようやく落ち着きの兆しが見え始

落ち着きの兆しも見え、晴れて再会

めて参りましたので支部総会の開催をいたしました。

大学側からは重森経済学部長、同窓会本部からは萩原会長、陰下事務局長をお迎えしました。当日は梅雨の激しい最中、当初の出席予定者が数名欠席されたこともあり30名そこそこの寂しさではありましたが終始和やかに歓談し、次回の参加を約束し、あっという間に2時間半が経ってしまいました。

いつもながら幹事泣かせは出席者が同じ顔ぶれで、若者の参加が見られないこと。開催曜日や開催時間の検討も必要とは思いますが連絡なしの欠席や、総会を盛り上げる内容など、頭の痛いところです。

今回は支部の充実を図るため会則の改正で副支部長を1名増員いたしました。

金子　赫（24）

若い自分にプラス

神戸支部

私も卒業して3年目になり、学校の方へ行く機会こそありませんでしたが、同窓会の支部総会には欠かさず出席し、出来得る限りの情報を得るよう努力しています。

総会には同窓会本部や大学からの来賓をはじめ、他支部の先輩達も出席され、学校の近況や動向を色々と報告して頂き、毎回楽しみにしています。また恒例となったビンゴゲームを通じて各分野・各業界で活躍されている諸先輩の方々とも、親しくお話等をお伺いする機会も多々あり、普段は聞けない事なども積極的に聞くようにしています。ただ総会への若い方の出席率が低いように思います。一度出席すればどれだけ自分にプラスになるか分かると思いますので是非参加してみてください。

前田晃良（61）

総会は諸先輩方と話ができる貴重な機会

これからも同窓会を！

東播磨支部

本年6月22日、加古川プラザホテルにて、本部より陰下同窓会事務局長、中村理事、神田同窓会組織副部長をお迎えし盛大に開催いたしました。東播磨支部は7市10町で1165名（平成9年1月調査）。12年ぶりで6期卒から62期卒、39名（うち女性2名）出席の同窓会で、1人2分以内で全員のスピーチをいただきました。

「母校大淀の想い出」「今、力いっぱい仕事に打ちこんでいる」「これからも若い力で同窓会を！」

欠席通知者からの声として、「入院中です」「オランダに単身赴任中です」「学舎の閾（しきい）を後にして茫再（じんぜん）早くも40余年、母校の発展を祈ります」等々をご紹介。再会を約して終えました。

支部長　永井　宏（19）

出席者全員が2分間スピーチを

燃えろ、岡山支部

岡山支部

先日、全国支部長会が初めて長時間に亘り開かれた。全支部より「支部活性化について」議論百出大変有意義であった。わが岡山支部の現況、特に、年1回の総会集

TOPICS

●トピックス●
経営情報学部開設記念講演会

平成9年11月3日文化の日、秋晴れの青天のなか、情報ビジネス界でご活躍の（株）アスキー社西和彦社長をお迎えし、新学部開設記念のイベントが開催されました。

当日の内容は、

1、「高度情報社会に期待される経営情報教育とは」
（株）アスキー社　西和彦社長
2、情報通信最新事情の紹介
（衛星通信を利用した高速インターネットほか）
3、西社長と中岡経営情報学部長との対談

参加者は、招待客（中学・高校の教員）約50名、新聞広告関係の参加者約80名など総勢約150名で盛況裏に終了しました。

（当日は、同窓会総会の日であり、同窓生の方にもご参加を願うべきところでしたが、外部に向けて経営情報学部開設2年次の宣伝を目的としたため、内向きの方々の参加をご遠慮いただきましたことをお詫びいたします）

「継続は力なり」の精神を忘れずに

合運営と併せて、最近の世相と共通点が多々潜在するのを感じた。

「支部の活性化とは、何か」まず第一は母校の優秀性、第二は卒業同窓会員の社会性、そして同窓会本部を中心とした全国支部の健在性を組織化、活動的指向する事と思う。卒業生も63期を迎えた今日超多忙社会ではあるが、全国支部を「核」とし、母校愛と同窓の団結を図る場として「継続は力なり」の精神で前進しようではありませんか。特に、中堅若手の会員に望みたい。古里では「瀬戸大橋は終わり、チボリ公園だ」という人もあるが「わが岡山支部は発足50周年が近い」。「燃えろ、岡山支部」でゆこう！

村上一夫（12）

来年の10周年にむけて

岡山支部津山会

振り返ってみれば今年で9回目を迎えた津山会。そして日中は初めての試みの親睦ゴルフ。

9月5日、香積大学事務局長、陰下同窓会事務局長そして村上県支部長のご来賓をお迎えし、懇親会が開催されました。

皆さんのご参加をお待ちしています

今年は第11期の吉田先輩また、第60期の橋本君のお二人が初参加と会に花を添えて頂きました。

来年は第10回の記念すべき年であり、多数の参加を得て盛大に開催できるよう幹事一同張り切っております。

特に真庭地域は第21期の徳岡先輩が幹事としてまとめて頂けるとのこと、私も勇気百倍です。気楽な会ですから、初めての方も来年こそはぜひご参加ください。

竹本　巧（37）

嗚呼、楽しきは同窓会！

広島支部

7月12日に広島支部の55回目の総会を開催しました。この日は広島において父母懇談会が実施されましたので、懇談会終了後、北崎学長以下教授、職員の皆様のご出席を賜り、また、同窓会本部からは波根広報部長、福元総務部長が大阪より駆け付けてくださいました。

佐々木一義支部長の開会挨拶の後、北崎学長から母校の状況のご説明があり、福元総務部長より同窓会本部の活動状況のご

老いも若きも学生気分！　同窓会はやめられない

報告をいただき、乾杯を経て懇親会にうつりました。後は老いも若きも全員が気分は学生時代に戻り楽しいひとときを過ごしました。鳴呼！　楽しきは、同窓会。年に数度の学生気分。

友谷義明（36）

初めて女性会員が参加！！

香川支部

去る7月27日、午後6時からリーガホテルゼスト高松で、平成9年度香川支部総会が、同窓会本部から上野・平尾両常任理事、大学側から北崎学長ほか6名の方々、香川支部会員35名が参加して盛大に開催されました。

前日には、香川支部ゴルフコンペが計画されていましたが、台風9号の直撃でやむを得ず中止。また、後援会主催の父母懇談会で来校予定の大学の先生方も、JR等の不通で姫路での宿泊になり、当日早朝のあわただしい来校になるなど、台風の影響を受けた総会になりました。

女性会員の皆さん！　もっともっと参加してください

また、本年は、香川支部発足以来、初めて佐古、村上両名（62）の女性会員が参加されました。次回からは、もっと多くの女性の方の参加をお待ちしております。

支部長　岡野　敦（31）

山口出身の在校生の皆さん、ぜひ参加を

山口支部

平成9年度の山口支部総会は、10月19日に山口県の陸の玄関口小郡駅の「ホテル石田屋」で、同窓会から平尾常任理事、津秋副会長、大学側から岡本理事の3氏を迎え、同窓生21名が出席して開催いたしました。

本年度は、初の試みとして第一線でご活躍の同窓生の中から卓識あるお話をしていただきました。第1回目の今回は、地元の〝テレビ山口〟で長年アナウンサーとしてご活躍され、現在企画事業部長をしておられる小林真人氏（31）。「放送〝こぼれ話〟」と題してお話していただきましたところ、何気なく見ているテレビの裏話など日ごろ聞くことのできない内容に、参加した同窓生一同皆聞き入っていました。

このように、同窓会の良さは異なった業種で活躍している同窓生が一同に会し、さまざまな話を聞くことができること、そして先輩から貴重なアドバイスを受けられること等ではないでしょうか。

これから山口に帰って就職しようと思っている在校生の皆さん、我々は皆さんを待っています。

県内のコミュニケーション・ネットワークづくりにぜひ参加してください。連絡を待っています。

詳細は事務局・佐々木克彦（宇部商工会議所　0836—31—0251）へお問い合わせください。

佐々木克彦（47）

つながりの輪

愛媛支部

平成9年度の支部総会が、リーガロイヤルホテル新居浜で7月6日（日）総勢20余名で行われました。学校より岡本理事、同窓会より水納副会長、白井組織部長が出席されました。同窓生として1期生の佐伯様がご参加され一段と会が盛り上がりました。今年のビ

一期生の参加もあった支部総会

ッグイベントは多年の念願でありました支部会員名簿が発行されたことであります。会員数350有余名の方が各地でご活躍されております。大きな経大同窓生のつながりの輪が出来ました。この発行にあたりましては、小野支部長、宮崎事務局長をはじめ、関係各位のご尽力とご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。これを機会に年1回の同窓会支部総会には気楽にぜひご参加くださいます様お願い申し上げます。

山地義夫（33）

和気あいあいとゴルフコンペを開催

徳島支部

徳島支部のゴルフコンペを7月19日、徳島フォレストゴルフクラブで開催。参加者は12人と少なかったが、和気あいあいのなかで楽しい1日を過ごした。

みなさん平素の仕事が多忙とあってOB、チョロもあちこちで見られた。優勝は最年長の林武さん（23）の手に。「若い人はいったい何をしとるんな」とハッパをかけられ、「次回は必ず」と若手は闘志を燃やしていた。

今年は支部長をはじめ執行部の怠慢でほとんど活動ができておらず、反省しきり。

来年4月5日には明石海峡大橋が開通。神戸—淡路—徳島が陸続きになります。全国の同窓生の皆様、ぜひ徳島へおいでください。

支部長　田中良昌（26）

歴史を礎に、新たなる発展を

北九州支部

北九州支部は、戦後、藤原光治郎教授のご指導により創設されました。初代支部長は6期卒の荒牧博之先輩。30年間就任されました。当初は10名で出発されたそうです。2代目は24期卒の嶋原正孝先輩が20年間務められました。3代目は私、52期卒の植田達三が就任いたしました。この歴史ある支部の総会を9月7日（日）、同窓会本部より陰下事務局長、水納副会長、学校側より鳥居総務部長をお迎えし、開催いたしました。それぞれの地域社会でご活躍の皆様と盛大に無事再会できたことを感謝いたします。支部長としては最年少ですが、諸先輩のご指導のもと北九州支部が今後共、大阪経済大学と同窓会の発展に寄与できればと思っております。頑張ります。

植田達三（52）

さらなる発展を目指して頑張ります

『肥後もっこす』の集い

熊本支部

平成9年度支部総会が11月8日、秋色深まる玉名温泉「黄金館」にて、県内出身・在住・在勤務者約20名が集い、夕刻より開催されました。大学より八木田教授、同窓会より水納副会長、陰下事務局長のご臨席を賜り、また、遠路富山支部より高橋努氏も出席いただき、和やかなうちに総会、懇親会、二次会と終了いたしました。

本年度は、太田氏（7）、満永氏（43）、西原氏（49）3名の初参加を得ましたが、来年度はぜひとも25名程度の参加を期待しております。

強烈な個性を持つ『肥後もっこす』たちからも大学当局に対する厳しい意見が続出し、母校に対する熱い思いが発露されたことを申し述べ、また、本支部事務局長生駒勇治氏（35）の病気快癒を願い、さらに同窓生諸氏の健康と再会を願っております。

濱　忍（35）

TOPICS

● トピックス ●

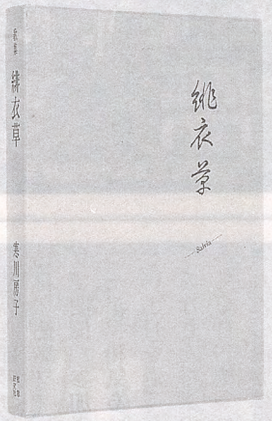
筆名を 旧姓にせんと 問いたれば 「そらええ名や」と 勧め給いし

前田悦子（13）

以来24年、作歌の精進ぶりが跋やあとがきによく語られています。寒川さんとは改姓が同じ「前田」というよしみもあり、比較的親しい友人と思っていたのに、今まで作歌については少しも話されませんでした。この度、立派な愛らしい歌集をいただいて、初めて彼女の隠れた素晴らしい詩才に、感激しました。

学窓を巣立って半世紀、しみじみと自身の見直しに大いに共感を覚えます。自らの問いかけを短歌へのエネルギーとし、歌集を出すことによって人生の一区切りとし、それをさらなる初心のステップに、とはなんと真摯で行動的な生き方でしょうか。心から敬意を表し、皆さまにご紹介いたします。

（注）表題『緋衣（ひごろも）草』はサルビアの別名。



歌集『緋衣草』 —Salvia—
寒川房子（13）著
短歌研究社
平成9年10月4日発行
定価2,500円

平成9年中に開催された支部総会一覧

開催月日	支部名	開催場所
4月13日(日)	岐阜支部	岐阜キャッスルホテル
4月20日(日)	泉南支部	五風荘
4月25日(金)	尼崎支部	ホテルニューアルカイック
6月14日(土)	岡山支部	まきび会館
6月22日(日)	東播磨支部	加古川プラザホテル
7月 5日(土)	滋賀支部	ホテルニューオウミ
7月 6日(日)	愛媛支部	リーガロイヤルホテル新居浜
7月12日(土)	西宮支部	甲子園都ホテル
7月12日(土)	広島支部	ホテルサンルート
7月20日(日)	富山支部	ホテルニューオータニ高岡
7月27日(日)	香川支部	リーガホテルゼスト高松
9月 5日(金)	岡山支部津山会	桐生
9月 6日(土)	淡路島支部	ゑびす亭
9月 7日(日)	和歌山支部	華月殿
9月 7日(日)	北九州支部	こじ郎

開催月日	支部名	開催場所
9月28日(日)	丹有支部	ユニトピアささやま
10月 8日(水)	東京支部	野村クラブ
10月17日(金)	北海道支部	札幌第一ホテル
10月17日(金)	神戸支部	神戸東急イン
10月18日(土)	福井支部	福井パレスホテル
10月18日(土)	豊中支部	千里阪急ホテル
10月19日(日)	山口支部	ホテル石田屋
11月 8日(土)	熊本支部	黄金館
11月 9日(日)	三重支部	和田金
11月14日(金)	京都支部	京都ホテル
11月19日(水)	大阪市役所支部	桜ノ宮会館
11月22日(土)	名古屋支部	名古屋国際ホテル
11月23日(日)	備後支部	福山ニューキャッスルホテル
11月28日(金)	高知支部	サンライズホテル
12月13日(土)	徳島支部	ホテルクレメント

支部だより

同窓会支部長一覧

支部名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	田中 喜三郎	10		
東京	井阪 健一	19		
名古屋	阿部 淑子	13		
岐阜	長崎 和夫	29		
滋賀	正村 公一	27		
京都	深田 稔	29		
富山	重松 尚	23		
石川	柚木 繁	21		
福井	内田 甫	6		
三重	中尾 大輔	5		
和歌山	宇藤 博文	28		
奈良	白井 武夫	20		
大阪市	太田 一澄	17		
大阪市役所	角谷 泰秀	29		
北摂	石川 裕	28		
豊中	山本 雄三	28		
池田	渡辺 泰敏	21		
泉南	○小松 安夫	23		
尼崎	小谷 芳男	24		
西宮	◎中山 隆	15		
神戸	○桐月 正邦	22		
丹有	梶村 文弥	8		
東播磨	永井 宏	19		
姫路				
淡路島	宝川 雅嗣	23		
岡山	村上 一夫	12		
備後	小池 勝章	32		
広島	佐々木 一義	9		
山口	江村 育己	29		
鳥取	西山 林一	35		
島根	渡部 弘一郎	9		
香川	岡野 敦	31		
愛媛	小野 茂樹	26		
徳島	田中 良昌	26		
高知	横田 憲介	7		
北九州	植田 達三	52		
熊本	浜 忍	35		
南九州	伊伏 彰	23		

◎…全国支部長会代表幹事　○…同幹事

OB NETWORK
OBネットワーク

呼友会のこと

呼友会（第3期生会）

私達は昭和9年浪華高商入学、昭和12年昭和高商卒業です。卒業後兵役に徴収され、多くの仲間が命を失いました。敗戦を味わい、激動の時代をしのいで参り、ただいま私の手許に掌握しているのは卒業生199名中35名です。昭和30年（1955）世情も落ち着き同期生27名が京都で集まりました。以来平成9年（1997）までに夫人も出席して34回の総会を数えました。

会員相互の親睦と母校との連絡を密にするため、会則も設け、会費も徴収されています。同窓会に初代、二代、三代の会長を選出されたことは3期生一同の誇りでもあります。今年卒業60周年にちなみ、亡き友の慰霊祭を瑞光寺で営みました。卒業30年記念に行った1回目の追悼法要も卒業記念の節目に遺族を迎え、今年で6度目となりました。

呼友会では昭和38年同窓会ホール設立の寄付要請、60年の創立50周年記念事業募金には一致協力、大きく寄与しました。

会員も八十路を越えましたが、まだまだ元気。来年の集いは明石海峡大橋開通を記念して明石となっています。

二宮清次（3）

竹原・尾道を訪ねて

昭寿会（第4期生会）

平成9年5月16日、昭寿会13回目の会合を、秋の小京都「竹原かんぽの宿」にて開催。八十路を越えた者6名。さすがに衰えは見えるが、やはり学生時代は懐かしい。

卒業60周年、亡き友の6度目の慰霊祭を瑞光寺で営む

瀬戸の海、5月の光、懐かしき学生時代

旧懐交交談笑のうちに山海珍味の晩餐会は終わる。翌朝8時30分バスにて呉線竹原駅に出る。竹原は池田元総理の出生地でもあり、大河ドラマ毛利元就の三男小早川隆景の墓地がある。尾道に11時到着。昼食を終え、タクシーにて千光寺の頂上に登る。展望台の上から見下ろす瀬戸の海は、5月の光で美しい。山肌の岸壁の上に建つ千光寺に深く頭を下げ、最近亡くなった原君と内田君の冥福を祈り、名物の古寺めぐりを終え3時30分尾道駅にて散会。

写真右より三木、周藤、平野、佐々木、宮平

佐々木聰（4）

今年も同期の桜が元気に再会

澱友会（第5期生会）

いつのまにか円座ができ和やかに時が過ぎ

●澱友会例会のこと

我々同期の桜も80歳前後を数える歳になりました。さながら敬老会といったところ。写真のとおり元気に参加いただき盛大な会となりました。我々も余すところ数もわずかになりました。そこで、毎年の例会は一期一会をモットーにしています。今年は食べることも忘れて学生時代のこと、戦中戦後のこと等話に夢中になり、部屋中に円座ができ和やかに時は過ぎ、終了時刻も忘れてしまったほどです。

今回は愛知、姫路、伊賀上野等遠路ご参加いただき、幹事冥利につきるものと感謝しています。明年も5月に例会を開きます。皆様のお元気な姿をお見せください。お待ちしています。

写真前列右より福島、兼田、中尾、柳内、菊地、村上（中浦）、奥田、倉垣、後列右より（仲居さん）、阪本（堀江）、内藤、和田、芝田、重本、堀、西村、筧、倉垣夫人、長岡

●澱友会一泊旅行のこと

今年5月の例会の席上、会員より一泊旅行の要望があり当会として初めて実施しました。愛知県在住の兼田氏のすすめで蒲郡温泉西浦に行くことにし、当地一の高層で立派な宿を紹介していただきました。参加者一同三河安城に集合。送迎バスにてホテル東海園に向かいました。到着して温泉を楽しみ夕食宴会をし、終了後一室に全員集合。懇話会を開きました。学生時代のこと、社会生活のこと、戦中戦後のこと等々話が盛り上がり、時間が経つのも忘れ午前1時過ぎまで思う存分話し続けました。翌日は市内のガン封じの寺、魚市場を回り、三河安城駅で解散しました。

初めての一泊旅行、夜更けまで話がはずみ

写真前列右より中尾、長岡、兼田、村上（中浦）、倉垣、写真後列右より筧、奥田、阪本（堀江）、重本、倉垣夫人

長岡辰生（5）

年次総会

昭六会（第6期生会）

第6回卒業生の集い「昭六会」恒例の年次総会、今年は10月14日、会場は姫路市広峰山に位置し、眺望絶佳、函奇晴好を誇る「ハイランドビラ姫路」。出席者15名、同窓会本部より磯野常任相談役、陰下事務局長のお二方を迎えて、定刻、長谷川世話人の司会で開会。例会の後は懇親会、母校の近況を伺い、盃を交わしつつ一同青春時代にかえる談論風発尽くるなし。定刻にいたり残念ながら閉会。翌15日も好天に恵まれ天高馬肥。書写の里に「美術工芸館」を訪ねた後、「名古山霊園仏舎利塔」に合掌、世界の遺産姫路城を遠望しつつ、「平和資料館」にいたり、戦没学友たちの冥福を祈る。昼食後、尽きぬ名残を惜しみつつ互いに再会を約して、三三五五家路についた。

戸田秀親（6）

盃をかわし一同青春時代にかえる

芭蕉と忍者の里、伊賀上野に集う

第8期生会

23回目の今年は、俳人松尾芭蕉と忍者の里、三重の上野市で開かれました。平成8年10月24日午後3時、参加者全員が宿舎のフレックスホテルに集合。小憩後、ホテルのバスで会場の名阪茶屋へ。会場では伊賀肉のしゃぶしゃぶを賞味しながら時の経つのを忘れて、楽しい一夜を過ごしました。翌25日も好天に恵まれて、まるで絵巻物のように練り歩く上野天神祭りの見もの、鬼行列（百数十体）を見物。昼食後午後2時、再会を約して散会した。次回は田中高治氏にお願いして、彦根市で開く予定です。

参加者　同窓会から萩原会長、陰下事務局長、長尾、柴田、伊藤、琴野、足立、大橋、大谷、田中（史）、田中（高）、石村（夫妻）、富岡、藤本、近藤、河田、木田、関田、橋本　計20名

橋本（山崎）漠（8）

好天に恵まれて、絵巻物のような鬼行列を見物

紀州で梅林の集い

九友会（第9期生会）

本年の会合は紀州の誇る日本一の梅林のある南部で開催いたしました。平成9年2月19日、同期生20名、御夫人10名、合計30名が寒い時期の上、比較的不便な場所にもかかわらず宿舎の南部ロイヤルホテルに集まりました。

紀伊田辺駅からホテルのバスで、途中、神社や梅干し工場などを見学し、ホテルでゆっくり温泉に入り、夕刻より懇親会に臨みました。

1年ぶりの出会い、2年以上の出会いなど、様々な出会いにも、50数年の昔に帰ったような和やかな内にも盛り上がりのあるひとときを過ごすことが出来、また奥様方も大変お楽しみをいただいた様子でありました。

翌日はホテルのバスでお目当ての梅林に行き、丁度満開の梅が雲のようにたなびいている、一目百万本の梅林を満喫することができました。

今回は快晴のうえ、暖かい絶好の天候に恵まれたことに感謝し、ますます盛大に九友会が続けられることを祈りながらご報告にかえさせていただきます。

須々木敏郎（9）

大阪経済大学九友会
久々の友との出会い、百万本の梅林との出会いに感動

初参加者を迎え、生きる喜びを再確認

第11期生会

平成8年度の第11期生会は、1月25日「レストラン・パレス」において、大学側より同期生の桑津理事長、岩谷専務理事、北崎学長、萩原同窓会会長、陰下事務局長および藤原名誉教授をお招きして開催しました。

青春時代の活力を回顧し、健康で生きる喜びを確認

年に一度の会合であるので、地方在住の同期生が参加しやすいように、今年は日時を土曜日の正午としました。東広島の森原さんが、初参加のほか、遠方からの出席もあって盛会でした。出席者、大学、同窓会のことはもちろん、同期生と親しく対話することにより、それぞれ青春時代の活力を回顧し、老化の抑止、健康で生きる喜びを確認することが出来ました。

同期生の皆様、毎年同期生の情報として、近況報告をお送りしておりますが、同期会に奮ってご出席くださるよう、お願いします。

出席者　浅利、井上、伊東、岩谷、坂井、重里、武田、谷（大垣）、伊達、土屋、林、藤井（新南陽）、村田、森原（東広島）、割木（太地）、桑津、筒井

卒業50年の集い

ひとみ会（第13期生会）

6月12日大阪北の茶屋町のホテル阪急インターナショナル内（司）にて開催しました。32名が集まり、遠方から初めての参加の方も迎え、賑やかなひとときでした。経専卒業50年を迎え、体の不調で欠席の方達の葉書を皆様に廻しながら、70歳を迎え、皆少しずつ年を感じる頃になったことを実感しました。食後ホテル2階のティーラウンジでお茶の会、梅雨時の晴れ間、健康で再会するのを楽しみに散会しました。

淋しくとも励ましあって

東京ひとみ会（第13期生会）

三好地栄さんが万端準備をしてくださって、7月10日、新宿の京王プラザホテル「あしび」にいつものメンバー8人が集う。

梅雨時の晴れ間、久々の顔ぶれでお茶のひととき

田旗（熊谷）美智子（13）
桑江（永井）美紗子（13）

友の冥福を祈るとともに、励ましあって

3日に鈴木栄美子さんが2年半の長い眠り（意識不明）から遂に永い眠りにつかれ、ご冥福を祈って黙祷を捧げる。元気で真面目で明るいキャリアウーマンだったのに、また、淋しくなった。

7日の都議選は史上最低40％の投票率で、自民、共産が伸びたものの青島人気低落の中で、都政がどう変わるのか、複雑な思いで都庁を見学する。議事堂のオニキスの飾り窓の美しさ。議長、知事席のも本革張りの椅子という不思議。雨に煙って視界ゼロの展望台ながら、そこで囲んだテーブルの語らいは楽しく、。励みになった。

小駒（佐々木）葉子（13）

もうすぐ同期の文集ができあがります

第15期生会

今年の15期同窓会は、例年2月開催を4月に変更したためか、出席者17名と少なくなりました。集合写真もカメラの電池の取り換え時に光線が入り、フィルムが感光して、写真も駄目でした。

清水幸子さんの提案で、毎年出席者の自己紹介の時に近況報告をしてもらいますが、出席できなかった人にも近況を知らせてもらって、文集にして皆に送ろうという話になり、大賛成しました。しかし、体調が悪くなり何もお手伝いできず、清水さんが原稿の収集、整理、編集、印刷、出版、発送等々すべてをやってくれ、ゲラ刷りを送ってもらいました。間もなく同期の皆さんのお手許に届くと思います。清水さんは京都市で税理士事務所を経営し、不動産鑑定士としてもご活躍中です。

何のお手伝いもできなかった私は、ありがとうございますと、感謝するばかりです。ただ、近況報告の投稿がやや少なかったことが残念です。

松川圭一（15）

青春に帰り宇治に集う

第16・18期生会

我々16・18期生は、戦後間もない混乱期の昭和22年に大阪経済専門学校に入学し、その後の学制改革で、専門学校を卒業した者が16期生、大学に編入して卒業した者が18期生となっているので入学は全員同期である。したがって、毎年5月に1泊2日で合同同期会を開催している。

今年は晴天に恵まれ、川崎重男、平石義隆両君の世話で新緑あふれる京都宇治川の清流の辺り「花やしき浮舟園」で5月11～12日に開催した。毎年開催しているので参加者の顔ぶれもほとんど変らず、それだけに親しみもひとしおであるが、本当に久しぶりという友人が1～2名参加してくれるのも楽しみである。

三三五五旅館のロビーに集合し、ひと風呂浴びた後の宴会はいやがうえにも盛り上がり、宴会終了後の麻雀の参加者も以外に多く、旅館の麻雀室を占領して中国語の勉強に熱中する姿は壮観でもあった。ただ、今年に限ってゴルフメンバーが編成できなかったのは残念だった。

翌日、朝食後は各人が観光計画を立て現地解散した。

陰下嘉典（16）

新緑あふれる京都宇治川で、友と楽しく再会

6年ぶりの再会で盛況

二十回会（はたちかい）（第20期生会）

カラオケで日頃の喉を披露、会は大いに盛り上がる

6年ぶりの同窓会・二十回会は平成9年6月14日午後5時から北区「本むさし会館」で第8回目を開催。西山会長他、10名の出席で盛会のうちに午後8時半まで行われた。全員大変元気で、順次自己紹介、家族現況・定年後の趣味と生活内容・近況等やそれぞれ老後の楽しみ方を話し合った。続いてカラオケで日頃の喉を披露、雰囲気を盛り上げ、じつに楽しいひとときを過ごした。

次回は1泊での企画をと言う要望と会長・幹事・会計をもう一度留任との2件を全員一致で承認、次回を楽しみに解散した。次回には、今回より多くの出席者のあることを期待しつつ。

出席者は天田、打出、太平、川村、阪下、渋谷、西仲、沼田、増田、吉村

打出　清（20）

卒業40年目、人生の節目を迎えて

第23期生会

いよいよ第二の人生スタート、来年も会いましょう！

今年も12回目の集いが陰下事務局長をお迎えして「冨久屋ホテル」で開かれました。参加者は29名、初参加も3名。遠くは高知市より田村氏が参加された。まず事務局長ご挨拶で学校と同窓会の近況についてお話があり、次に全員の自己紹介をしました。

今回は卒業して丁度40年目に当たり、年齢的にも第二の人生のスタート台ということで健康に留意し、意欲をもって頑張ろうという言葉が多く聞かれました。カラオケや余興もあり、正午からの4時間は知らぬ間に過ぎていました。最後に全員で校歌を歌い、万歳三唱で解散しました。23期生の皆さん、今回都合で不参加の人、また初参加で41年ぶりに会ってみようという方は、来年の2月11日には是非ご出席願います。お待ちしています。

酒井弘光（23）

来年は友だちを一人ずつ誘って参加しよう！

第27期生会

「やあ、元気」「うん、まあな」「どないや」「悪い、悪い」。我々27期の同期生は、毎年大阪東急ホテルで同期会を開催しているが、集まる顔ぶれはあまり変わらず、10月17日（金）、2階宴会場ロビーに集まった連中の挨拶はこの程度で、後は思い思いの雑談に耽っている。

定刻6時になり幹事の合図で宴会場に入り、来賓としてお招きした磯野相談役の学内・同窓会の現況報告を兼ねた挨拶に続き、陰下事務局長の乾杯の音頭で会場は一気に例年の雰囲気となった。

しかし、今年に限っては常連数人の顔が見えずいささか寂しい感じがした。

閉会に際して誰からともなく来年は一人ずつ友だちを誘って参加しようと申し合わせて散会した。

角本喜八郎（27）

第24回経雄会のこと

経雄会（25期生 空手道部OB会）

第24回の集いは、去る3月8～9日、雄琴温泉国華荘で開催した。第1回は1974年の1月、空手道部同窓生のうち、連絡の取れた10人に呼びかけ、卒業以来15年ぶりに雄琴温泉芳月楼で、会食と1泊を共にした。以来、既に24年間、よ

毎年のことながら底抜けの極楽天国の一夜でした

のは、みんな元気なことである。
人生60年の転機、昨年来少し人生に変化のあったのもいる。まだまだ、現役経営者で頑張っている者もいる。大きな病気に勝った外国の大学教授もいる。みんな元気である。
第24回は、阿部が欠席、残り9人の顔がそろった。毎年、話題が変わってくる。子供の話から孫の話、今年は年金のことや、10人の死ぬ順番の話、どうやらみんな行き着いた様子である。
しかし40年前から、それぞれの持つ個性と話ぶりは全く変わらない。すぐに学生時代に戻る。じつに楽しい愉快な仲間である。2人が泊まらず日帰りしたが、酒とビールの消費が100本近い。飲んで、笑って毎年のことながら底抜けの極楽天国の一夜であった。
来年は、25回記念大会である。数年後、みんなが現役から離れたら思い切ったこともできるが、やっぱり1人でもたくさん来てほしい。今からプランに頭が痛い。嬉しいことである。
メンバーは、阿部功、川村敦朗、北田勝康、平野昌伸、広瀬勲、藤原信雄、山下治也、山本清隆、頼藤五郎、そして私で10人である。
中川清男（25）

平成9年度OB総会報告

自動車部OB会

婚約の発表などもあり、会は大変なごやかに

いつも梅雨の最中の時期に開かれるにもかかわらず、めったに雨にお目にかかることのないこのOB会が、今回もまたグッドコンディションで行うことができました。
久しぶりの顔、ときどき合わす顔が遠近新旧バラエティーに富んだ取り合わせで総勢26名が集いました。
今回はとくに難しい議題もなく、会議の方は予定よりかなり早く終了しました。
そのかわり、各自より近況報告等が数多く発表され、なかでも8代の星野家氏と27代の井上氏から婚約の発表があるなど、大変なごやかな会となりました。
一度食事会形式にしてはという案も多数でましたので、次回はさらに多くの方にお越しいただきたいと思っております。
大平雅彦（46）

創部40周年に湖西に集う

ワンダーフォーゲル部OB会

大樟の地に産声を上げて40年、我がワンゲル部の記念すべき会が9月20、21日に懐かしき比良山麓近江高島の地で開かれました。
当日には、各地で活躍するOB諸兄、現役部員、参加総勢43名に

会の終わりはあの懐かしの味、カレーを賞味！

おける式典となり、20日にはOBおよび現役有志によるワンデリング、夜の式典には会長挨拶以下、現役主将の祝辞の後、バーベキューをしつつ各テーブルにて歓談。時にはワンゲル論を戦わせていました。
21日は、全員でひとつの輪になり自己紹介と抱負を語る場を持ちましたが、そのなかで「OB会に愛称を」と、富士本氏より提起され、「経翔会」はいかがと発せられましたが、次回の課題となりました。最後は浜辺にて懐かしい味、カレーを調理し食した後、エールを切って名残おしい解散となりました。
高橋造行（37）

創部40周年記念OB総会

日本拳法部OB会

昭和32年、現OB会長の芥田先輩が創部され、津秋副会長、岡本総監督と引き継がれた日本拳法部は、昭和43年に全日本大会に初優勝。その後、2回優勝し、関西大会は優勝も含めベストスリー3回と黄金時代が続きました。しかし、昭和59年の関西大会準優勝後は低迷が続いております。
平成9年2月23日、同窓会ホールにて行われた「創部40周年記念OB総会」には、総数222名中、過半数の120名が参加、ご参列賜りました。陰下事務局長も驚く結束力で、多いに盛り上がりました。これを機会に、なみはや国体でエキシビジョンとして取り上げられた日本拳法を、OB会として全面的に現役をバックアップする所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。
山本隆造（37）

OB会で現役を全面的にバックアップしていきます

学歌・逍遥歌 声高らかに歌う

川西市役所大樟会

兵庫県川西市役所関係職員の同窓会グループとして発足した「大樟会」も発足以来、早20年を迎えています。
この間、歴代幹事のご尽力により毎年欠かさず年末または年始に親睦会を開催し、また会員有志によるゴルフ大会も行われ会員相互の融和と親睦を図っています。
本年は、新年会を2月7日に同窓会事務局長の陰下様をお迎えし大学の近況等をお知らせいただきつつ、さらに会員相互で学生時代の話、家族の話、ゴルフの話などに花を咲かせ、最後には恒例の学歌、逍遥歌を声高らかに歌い上げ、楽しい一時を過ごしました。
（ホームページアドレス・http://www.city.kawanishi.hyogo.JP）
堀田和夫（39）

今年も会員相互の融和と親睦を図りました

経営情報学部誕生記念講演会開催

税理士大樟会

本年度より経営情報学科が経営情報学部に昇格、新校舎が年内に完成することを記念して5月10日同窓会ホールにおいて研修会が開催されました。講師には、京都大学の是道宏教授をお招きし、「零細・小企業とパソコン」のテーマで講演していただきました。

約60名が出席し、学長、理事長にもご出席賜りました。

そろばんや電卓との違いから講演が始まり、パソコンの歴史、利用方法、メリットなど大変分かりやすくお話しいただき「パソコンは『習うより慣れろ』で、とにかく触ってみて、試して使ってみること。疑問点はいつでも質問してください。」とのお言葉に甘え、8月9日、先生の研究室を訪問、パソコン利用の実際を見学させていただきました。

植村祐三（32）

京大・是道宏教授が「零細・小企業とパソコン」を講演

10周年を迎えた「幸福大樟会」

幸福大樟会

本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展を念願すると共に、幸福銀行の発展に寄与することを目的に発足し、今年で10周年を迎えることができました。これもひとえに、母校同窓会、就職部の学校関係の皆々様のご協力と会員全員の結束の結果と考えております。

5月に開催した記念の定例総会では、会員総数121名中74名が出席、学校関係では4名ご参加いただきました。退職に伴う役員の改選、会員の近況報告では、若手行員の各店での活躍ぶりや、新支店店長（今回4名）の今後の抱負、気がまえ等、有意義な情報交換が行われました。今後も、各会員同士、連帯感のある会として一層発展することを望む次第です。

倉崎健一（48）

36年間勤められた先輩の言葉に胸いっぱい

良き先輩に幸あれ

経友会（京都共栄銀行OB会）

本学36年卒平野義雄氏が弊行に入行され、本年6月定年退職を迎えられました。退職をお祝いし、「送る会」を経友会並びに有志により盛大に開催いたしました。氏の挨拶の中で36年間無事務められたのも経大から初めて入行し、その後、後輩が入行するのを見て自分がここでくじけては後輩が肩身の狭い思いをすると思い、必死で務めてきたとの言葉を聞き、胸が一杯になりました。「良き先輩に幸あれ」と祈る今日この頃です。

杉本直士（32）

TOPICS

●トピックス●
女子志願者向けリーフレット完成

女子志願者向けリーフレットが出来上がりました。18歳人口減少の環境下、女子志願者の方に、本学により関心を抱いてもらおうとの意図で制作しました。制作にあたっては、伊田先生や女子学生の方にご協力をいただき、親しみのもてる紙面内容としました。

インターネットでOBと学生がアクセス

山口大学経済学部教授
坂手恭介氏（32）

11号台風の余波で豪雨の8月9日、山口大学経済学部A棟2階の坂手恭介教授の研究室を、同期の波根伸俊氏と訪ねた。パソコンにはインターネット画像が映し出されていた。坂手氏は昭和37年から41年まで経大の学部生、私とは30年ぶりの再会となる。

在籍は北里ゼミとしながらも、会計学の、はたまた人生の兄貴格としての泉谷勝美先生との出会いが、彼を研究者の道に推し進めた形となる。指導教官の北里武三先生はまぶしい存在であったそうだ。その距離をうめる役割を泉谷先生が果たされ、クラブの簿記会計研究部では松本剛先生の指導を受ける。さらに非常勤ながら、天下の土岐政蔵先生の講義まで受けることができたとは…。

学部3年次で税理士試験に合格したため、かえって4年次の就職活動に重大岐路を迎える羽目となる。その時、身近な泉谷先生の助言で、大学院への進学コースが決まる。家族への説得も泉谷先生のお陰だったとか。神戸大学の院生になった後も何かと経大にきて指導を受け、「私にとって経大は母的存在でした」と謝辞を述べておられた。

博士コース在籍中に広島修道大で3年、創価大学に21年、姫路獨協大に3年、その間、私の同期の能勢信子教授にも近い存在であった由、そして山口大学の現在にいたる。

後輩の学生には「大学は学生自身が学ぶために在ると考え、教師を自分の成長の介在者として見てほしい。自分が主役であると認識して、介在してくれる教師を見出すために、勉強してほしい」とエールを送る。

彼の教育構想は今後の同窓会の在り方にも触れる。全国に散らばっているOB・学生が、ベンチャービジネスのインターネットで、パソコン1台あればお互いが好ましい時間にアクセスできる。ネットの人たちの経験や知識を活用し、その仲介役は同窓の教員が受け持つという図式。

まずは江村支部長のひきいる同窓会山口支部を一つのコアとして試行したいとのこと。彼のバイタリティーでこのグローバルな構想の第一歩が、必ず成功することを切に祈りたい。

（波根伸俊・前田悦子記）

「報恩感謝」で社会をリード

石原薬品株式会社 代表取締役社長
竹森莞爾（34）

7月24日、神戸の石原薬品株式会社本社に竹森莞爾氏を訪問しました。地震直前に完成した本社社屋は、地震の被害は少なく、現在は事務棟と研究棟の連結工事中でした。

竹森氏は6月に代表取締役社長に就任され、多忙な毎日で、やっといただいた1時間あまりの時間でした。しかし、お話を伺っていると、時の経つのも忘れてしまいました。

竹森氏は昭和20年8月22日兵庫県城崎郡で生まれ、日高の自然の中で野球少年として育ち、本学に入学されました。学生時代は勉強のかたわらよく遊んだという氏の一番の思い出は、寮で知りあった友人で、地方出身の友人の実家へよく遊びに行かれた事だそうです。ご趣味は、日本のお城巡りで、見れば見るほど工夫を感じるそうです。『お城は城主によって変わり、それが文化や料理の仕方にまで影響している』とおっしゃられた氏の炯眼には感服しました。

ゼミは倉辻平治先生、また準硬式野球部に所属し、神宮の試合にも出場したとのこと。

卒業後、すぐ石原薬品（株）に入社され、神戸に住みたかったという氏の気持ちとは裏腹に、入社直後から今まで東京勤務だそうです。入社以来一度もやめたいと思ったことはないという氏は「原理原則」を大切に仕事を進められておられます。

モットーは「報恩感謝」であり、お世話になった方々にどう報いるかということを常に年頭に置かれているとお聞きし心打たれました。

（中島　輝記）

学生時代、関西で自分を試したことが、今生きている

フェニックス国際観光株式会社
取締役ホテル事業部　総支配人
福田俊彦（32）

8月8日、同行の波根氏とともに九州宮崎空港に降り立った。台風の名残の雨が降るなか出迎えてくださった福田氏の案内でシーガイアへ向かう。市街地を遠くに眺めながら海岸沿いを15分ほどで到着する。南北10kmにもおよぶ広大な松の樹海のなかを進むと、シーガイアを全国に有名にした世界最大級のオーシャンドームに続き、九州一の高層ホテル、国際会議場が姿を見せる。園内はあまりに広く、各施設を回るバスを運行しているほどである。

昭和41年、卒業後、郷里宮崎へ戻った氏は設立間もない（株）ホテルフェニックスに入社、現在のシーガイアの前身である。経理を出発点に以後ホテル副支配人を経て、次々と拡充されて行くカントリークラブ支配人、サンホテルフェニックス総支配人を歴任された。

昭和40年代と言えば宮崎は新婚旅行のメッカと言われていた頃である。時代は移り観光宮崎の中心ともなったシーガイアの成長とともに歩んで来られたが、この間約30年新規開拓のために全国の旅行社を回り、家にいることの方が少ないという時期もあったそうだ。

大学の1年間は学生寮で生活したということもあり、同じ寮生であった波根氏との話題はつきないようだった。

氏が経大を選んだ理由は「当時九州には大学がまだ少なく、東京に出るのが一般的だった。しかし、私は関西のしかも単科大学で自分を試してみたかった」とのこと。

「関西で4年間生活したことが今生きています」。この言葉が印象的であった。

（吉村和利記）

努力の似合う教務部長

岡山商科大学教授
堤　一浩（33）

真夏の8月18日に本学同窓会ホールに、岡山商科大学の堤一浩教授を招いた。堤教授は、昭和42年3月に本学を卒業され、関西学院大学商学部大学院に入学された。その後、担当教員だった青木倫太郎教授の勧めもあり、昭和44年4月に現在の岡山商科大学に奉職された。5年前より教務部次長を経て、現在は教務部長を歴任されている。

堤教授の第一印象は、厳しい上司というイメージだった。しかし、話している最中の穏やかな物腰、熟考しながら丁寧に応対する姿にとてもやさしさを感じた。ご家族は、奥様と子供さんが3人で、子供さんの話をするときの目がとてもやさしかった。

母校在学中には、簿記会計研究部に席を置かれ、坂手氏、中村氏といった先輩たち、大江氏、中井氏と出会え、よくディスカッションをしたことが、今も心に残っているそうだ。在学中、松本剛教授の「原価計算論」のゼミで指導を受けたことが、その後の研究生活に大きな影響を与えたそうだ。また、北里教授の「ペイトン・リトルトンの会計学」を受講したことが印象に残っていて、これがその後の研究テーマになったそうだ。

現在は、岡山商科大学教務部長として新学科（国際観光学科）開設に伴って、セメスター制（半期完結の授業形態）を導入するとともに、必修をできるだけ少なくし、学生に履修の選択の幅をふやすカリキュラムの改訂等々に多忙な毎日を送られている。学部ゼミ（25名）の卒業論文や大学院ゼミ（4名）の修士論文の指導の仕方で、『努力』の言葉が似合う教授らしい厳しい一面もみた。

（大門由秀記）

『仏像を彫る―初めてノミを持つ人のために―』

深田快雲（本名＝稔）（29）著
平成8年12月20日発行
NHK出版
143ページ

入門書とことわりながら、本書は仏師としての著者が、長年にわたって研鑽された技術の集大成である。これから仏像彫刻を始める人の視点に立って、写真解説ならびに技法が懇切丁寧に展開され、しかも美しい写真仕立てとなっている。

かつて木彫レリーフに熱中したころの私が、もし、あの時にこの本と出会っていたならと、思わずにはいられないほど、引き付けられた。かの有名な西村公朝先生の市民教室（尼崎）を見学したときの雰囲気、お香の漂う中、一刀一刀に熱中していた老若男女の姿が浮かんできたり、仏師でない木彫家の大山明子先生でさえ「木片には必ず仏様が宿っている。それを導きだすのが彫る人の真心」と、材に向かう心構えを話された日の感激がよみがえってきた。

木取りの採寸表、バランス感覚は仏像彫刻の伝統的な技法でありながら、一般の作画にも相通ずるものがあるとあらためて感じ入った。仏像彫刻を志す人には必携の座右の書であろう。

いい仏様を彫り出すためには、何度も何度も挑戦する熱意と根気が求められる。若い体力の持ち主なら、人生に一度、彫刻刀で挑戦されてはいかが。きっと人生観が深まり、心もいやされることでしょう。

（前田悦子記）

『傘壽記念誌』

中村九一郎先生著
平成9年9月1日発行
158ページ

中村ゼミOBの皆さん、お元気で活躍のことと思います。

さきの1995年11月23日京都・平新で開催しました中村先生の傘壽祝賀会の模様や、ゼミOBたちの感想録を記載した「傘壽記念誌」が刊行されました。

ゼミOB関係者等でまだ入手していない人は事務局に連絡してください。

事務局　〒660―0893　尼崎市西難波町3―4―14
TEL　自宅06―418―8760
　　職場　06―675―5551

『情熱の歌人　和泉式部』

梶村文弥（8）著
平成9年6月29日発行
兵庫あいわ書房
322ページ
定価1、800円

著者の梶村文弥先輩は、県立高校の教員、校長を歴任された方で、民俗学者ではありません。子供の頃から「百人一首」に興じられたことから和泉式部らの歌に強く心ひかれ、多忙な教員生活を終え、退職された後に本書をはじめ何冊かの書物を刊行されました。

和泉式部とは、平安中期の同じ頃に紫式部らとともに一条天皇の中宮上東門院に仕えた、平安文学を代表する女流歌人・作家で、屈指の才媛だったそうです。

本書では、和泉式部の生涯や人柄などと、ゆかりの地やそのすばらしい伝説が残された全国の旧跡などを伝説とともに分かりやすく紹介されています。それらの旧跡の多くを著者自ら探査に訪れられています。

和泉式部に関心と親しみをもってもらうために、と書かれていますので、文学や民俗学に深い者でなくても気軽に読め興味とロマンをかき立てられる一冊です。

（梅原　猛記）

『女優事始め』

栗島すみ子
岡田嘉子
夏川静枝
林　靖治（24）編
昭和61年12月10日発行
平凡社
341ページ

編者が大女優3人の対談集をまとめたものである。日本映画の始めは、第2次世界大戦のあった昭和20年前後はまだ「活動写真」という言葉が生きていて、「映画」という表現をする人は、ごくわずかであった。当初、無声映画であった映画の中においても、スター女優はいた。

栗島すみ子は、エム・パテー商会に在籍し、1日の売上が4千枚という記録をもつスーパースターで、あまりにも偶像化されている。しかし、チャキチャキの江戸っ子で、いとも気さくに話のできる親しみやすい方である。

岡田嘉子さんは、親しくお話を伺うと、燃えつきることを知らないエネルギッシュな方である。

夏川静枝さんは、大女優を感じさせない謙虚な方で、個性の強いさまざまな女優の中で上品でもの静かである。

この大女優3人の語りは、映画の歴史そのものと言えるし、いまだに当時の躍動感を感じさせてくれる。

『デリバティブ・ディスクロージャー詳説』

小谷　融（41）著
平成8年2月発行
税務研究会出版局
352ページ

総会屋への利益供与など、ここへ来て日本企業、特に、証券業界の不祥事が相次ぎ、コーポレート・ガバナンス『企業統治』に対する関心が高まっている。財界のセミナーで大きなテーマになったほか、企業への監査強化を図るために商法改正の動きも始まっている。今や、金融ビッグバン（金融制度大改革）を控え、証券・銀行・保険業界は、カルテル談合体質をいやでも改めなければならない。証券業界では、中小証券の一社が店頭登録株、店頭登録転社の手数料を従来の50％に引き下げることに決定。これを受けて自由化への加速は日を重ねることに早まることになろう。本書は、デリバティブ取引に係わるディスクロージャーのあり方について詳細にまとめられており、説例をあげ明確に解説している。2001年までにビッグバンを実現する、というので証券業界はかつてない厳しい局面を迎えているが、グズグズしていると香港をはじめとするアジア各国に日本は追い抜かれることになってしまう。特に、投資家、証券・金融機関の関係者は、必読を心掛けてほしい。

（廣島健次記）

訃報

永川仁一氏同窓へ追悼

顧みれば、昭和23年、黒正博士の臨席の下、姫路在住の卒業生約20名の出席を得て、姫路支部を結成し、永年にわたり支部長として尽力せられ、49年を経過、来年は当支部50周年を迎え、結束発展を願っていました時に、去る10月19日幽明境を異にするとは、人生の儚さを痛感せざるを得ません。

大兄は在学時代より学究肌でかつ記憶力抜群、あらゆる面になくてはならぬ存在として敬服されていました。

このところ、昭六会の交友を見守り、姫路支部の発展を期し、かつ母校の黒正イズムの継続を、故人と共に、さらなる向上を願い最期に大兄の安らかなる冥福を祈り筆を措きます。

合掌

長谷川　博（6）

NORTH TO SOUTH
北から TO 南から

私の歩いた道

青木梅二（2）

永い人生を顧みて、皆様に参考になればと思い、書きました。私は自分なりに順調に進み、幸福な男だと思っております。

私は奈良県の畝傍中学を卒業して出来たばかりの浪華高商に進みました。

2年目に黒正先生が来られ、昭和高商と改め、校舎も出来上がり現在の母体が出来たわけです。黒正校長は常に前向きで京大、大阪商大の教授を入れて経済学博士が5人もいる様な高商は全国でも初めてであったと思います。

卒業の時は戦時中で卒業と同時に軍隊に招集され、それから30歳まで軍隊と家庭を往復すること3回に及びました。

私は神戸銀行（現在はさくら銀行）に入社しておりましたので、その間大阪支店、神戸本店、東京支店と替わり、軍隊生活も3回やりました。

戦時中平和産業（銀行）より軍事産業に替わるべく住友金属系統の上陸用舟艇、戦車の部品を製造しておったM社に替わりました。M社は戦後自動車部品製造工場となり、1万坪の工場では狭く、5万坪の土地を四国徳島に買い求め、現在も隆々とやっております。戦時中は辛い思いを何回かしましたが、今になれば楽しい思い出となって残っております。

その間小生は軍需課長、経理課長、総務部長、取締役、大阪営業所長等を経て常務取締役、代表取締役となり、最高位まで上ることが出来ました。これは全く運が良かったのだと思います。「鶏頭となるも牛尾となるなかれ」の諺を思い起こしました。

自宅　堺市北野田130—5

私の住む町「鴻巣」の由来

山田宗男（5）

毎年末、『濕江』が配達されると青年のように胸はわくわく、嬉しく拝読しております。さて私の住む町、「鴻巣」の由来はその昔この地に樹の神という大樹があり、人々は供え物をして樹神の難を避けていました。ある時こうのとりが巣を大樹につくり、卵を育てていたところ大蛇が現れ巣を狙いました。しかし、こうのとりの必死の戦いで大蛇をつつき殺し巣を守りました。以後なぜか樹神の難はなくなり、この地を「鴻巣」と呼び、大樹の杜を鴻の宮と呼ぶ

様になりました。
また江戸時代からひな人形の町で有名です。

自宅　埼玉県鴻巣市
本町2—1—4

徒然、二題

荒牧博之（6）

■書き換えられた
広島原爆ルポ

学校を卒業、西日本新聞に入社、広島原爆を取材。当時新聞原稿は特高警察が検閲。広島ルポも書き換えられ、無念の涙で社会を欺いたかたち。50年後（最近）その真相が署名入りで掲載され、社会に詫びることが出来て嬉しかった。

■古き時代、師弟の間柄、
懐かしき哉

その頃、阪急沿線の淡路に下宿。ゼミは藤原教授。60年たった今でも交誼・・・有難い。昔、先生に下宿においで頂いたり、阪急百貨店へ一緒に食事に出かけたりした。政治、経済、文学、哲学など教示も。文字通り古きよき時代、懐かしき哉・・・。

自宅　福岡市中央区桜坂
3—4—28—311

勤先
ジャパン・ブライダル・ニュース

人生のみちくさ

北井清之（9）

ホンコン、マカオに旅することが我々夫婦の長年の夢でした。2月6日から3泊4日の旅行の申込より出発までの日が、どんなに待ち遠しかったことか。着陸寸前、上空より海岸に建ち並ぶ高層ビルが、背後の山まで連なって見える壮観は素晴らしい。中国と英国、2国の調和のとれた街並み、ビクトリアピークからの夜景の圧巻。人生にみちくさが必要なことを感じました。

自宅　兵庫県三木市府内町2—21
勤先　福太醸造（株）

思い出の街プラハ

大矢知　力（10）

1995年5月「プラハ」を訪れた。くすんだ黒っぽい建物、そして石畳の街並みは一日半だけの観光であったが、どこか暗さをただよわせていると共に、歴史の重みを感じさせた。近くは「プラハの春」そして自由主義社会に転換した「ビロード革命」と時の流れは中世の街並みをそのままにゆったりと流れているようだ。スメタナの交響詩『我が祖国』で知られるブルタバ（モルダウ）川に架かるカレル橋は歩行者専用で両側の欄干に15体ずつ計30体の聖像で飾られ壮観。また、ここからは優雅なプラハ城が眺望でき、しばしたたずまざるを得ないほど美しい景色でした。

現地のガイドさんの話によれば、革命後の変化については年齢、階層等により、それぞれの思いの差は大きいとのこと。

自宅　京都市山科区
御陵別所町114—3

故・石川澄先生のなつかしい思い出

松本　勝（15）

この夏、新婚旅行の那智勝浦へ、孫に囲まれ娘家族と40年ぶりに旧婚旅行を楽しんできました。その折、往時のことを思い起こしました。

当時、結婚式には旧大阪経専演劇部の仲間とともに故石川澄先生のご出席をいただき、驚くやら感激するやらでした。

石川先生（露語）には直接教わりませんでしたし、演劇部の顧問でもありませんでしたが、ヒョンな出会いでした。或る日の学期末試験中に「演劇部員は試験終了後教務室に来るように」との呼出しで、行ってみると試験中に留守の部屋からボヤを出した（大事にならずにすんだが）との石川先生からのキツイ叱責でした。「こんなことではチェホフが泣くぞ」と不始末をさとされた中に、何か人間味を感じたものでした。

そのときから、会うたび、その印象は変わりませんでした。

当時の学校生活は教師と学生の間にこのような温か味のある交流があったように思います。これからの大阪経大に、このようなよき交流が受けつがれることを希うものです。

自宅　守口市梶町3丁目31—16

雑感

立花譲治（17）

戦後の混乱まださめやらぬ昭和26年、のどかな田園に佇む学園を離れてはや半世紀近い年月が流れました。

その後、社会に出てからも随所で恩師・先輩・同窓各位や縁故者にお会いし、適切なご指導などいただき何とか現在に至っています。（広い社会も狭いと感じました!!）

広い視野、絶えざる研鑽の必要を嫌というほど感じさせられてい

る今日この頃。変革著しい情勢にひとしお力不足を感じております。
数ある関西私学の中で、小粒でもピリリと辛い存在として、特色ある単科大学として母校の一層の発展をお祈りいたします。
自宅　明石市大蔵谷
清水570―18

最も肝心な時の心の友

今井　慧（18）

私はアルバイトがたたって経専3年生の時に肺結核になり、休養いたしておりました。学科の単位は早くから取ってありましたが、日本経済界の不況の時でもありましたので、就職も出来ない状態でした。のんびりと川へ魚釣りに出かけておりましたところ、同僚の小城文保君が私の事を心配して見舞いがてらに「経済大学の入試願書を出しておけ、これが最後の試験日だから」と言って、親切にも申込書まで持って来てくれたので、追試験を受けることが出来ました。お陰様で私が今日あるのは彼の賜物といつも感謝の気持ちを絶やしたことがありません。
自宅　岩槻市府内2―23―25
勤先　大宮そごう

私の住む町、天理

青木平吉（21）

月日のたつのは早いもので、卒業して43年になります。天満で下宿したこともありますが、卒業した年に故郷の町であります天理市役所に入所し、6年前定年退職。今は自宅近くで自家野菜作りをしています。私の住む町は天理教会本部の所在する町で、毎月26日前後は全国、いや世界各国からもおぢばにお帰りになる大勢の帰参信者たちで賑やかです。
昭和29年以来変わることなく続いている、長い伝統ある行事に「子供おぢばがえり」があります。今年も7月26日から10日間全国各地から集まった大勢のこども仲間たちで賑わっていました。私の外孫、その近所の子供たち4人も1泊2日教会に子供を預け、行事に参加しましたが、また、来たいと喜びをいっぱいに表現していました。機会があれば是非一度教会本部にお帰りください。
母校の限りない繁栄を心からお祈りします。
自宅　天理市平等坊町34―11

中小企業経営の研究に焦点

間　敏幸（21）

本校が伝統的に、中小企業経営の研究に焦点をあてて継続してきていることは承知いたしておりますが、もっと実務に焦点をあわせた研究発表がほしいと願っております。そのためにはパラダイムの変容をみたうえで、事例研究なども踏まえて突っ込んだ研究成果が望ましいですね。
学生さん達への研究課題を明確にして取材も含めて活動していただきたいと願っております。そうした伝統を作るとともに、社会にアピールしてほしいと願っております。
自宅　横浜市鶴見区鶴見中央
4―37―10―708
勤先　アイダ経営士事務所

真夏の夢

小間光男（22）

学窓の想い出も日々薄らぎ、人生もあるがまま大河が濁流からせせらぎへ、川床が澄むにつれて、淡々と老いの坂を登っていく生きざまが、さがと理念の狭間に時を刻み、一年経つのも早いものだと感じる。
また、風化していく自分を凝視して懐かしむことが多く、学生生活の想い出、古き良き時代、人なつっこい世の中が風物詩のごとくまるで走馬灯のように揺れている。
21世紀直前だけに心の世界を大切に、ヘミングウェー『老人と海』をいつも脳裏に思い浮かべ大海原に漂う小舟で、人生という漁場で闘争心をかきたてて、来る日も、来る日も小さな戦いに挑戦し、幾度となく追い求め限られた枠組みの中で格闘している。
人生そのものが格闘技であると確信しています。
先輩諸氏が歩んだ道を我々もまた、轍の跡を、繰り返し歩み続ける道が人生そのものと思います。
自宅　滋賀県大津市観音寺2―10
勤先　藤野興業（株）

環境問題に思う

南（福本）信男（22）

環境の美化は各家庭から地球人類の生活問題まで、公道を歩むおり、捨てられている空缶やビニール袋を見て、また、ごみ処理場の煙突からの煙を見て思います。
テレビや新聞等で報道されてい

北から南から

る通り、人間の知恵を絞る地球上の環境美化の課題だと。人間個々人が身近なごみを規制された処分に応じているか。また第一、第二、第三産業廃棄物も限界ありとか。無限に出るごみを有限にすることは可能なのか。経済学的教育学的に解決する方法はないのでしょうか。
「人の世の美ぞ　すこやかにみがかれし　心と身にありや」
自宅　三重県亀山市
布気町1149―7

神戸から一言

坂本克己（24）

近年、神戸からの発信情報は暗く重いものが多い。阪神大震災、連続児童殺傷事件しかり。震災から2年半余を経過し、都市基盤の復興はほぼ達せられたが、市民の生活に密着した住宅復興はその途上にあり、約2万世帯の人々がいまだに仮設住宅暮らしを余儀なくされている。また生活再建補償、地震共済制度の創設を地元から働きかけているが、実現はおぼつかない状況である。地震列島日本、いつ、どこで大地震が発生しても不思議ではない。その時、迅速かつ適切な対処ができて初めて今回の震災の教訓が生かされるのではなかろうか。
一方、明るい情報としては、明春、世界一の長大吊り橋が開通する。景勝の地、須磨海岸や垂水の浜から眺める夕陽に映える雄姿、宵闇に浮かぶライトアップされた華麗な姿は観光都市神戸の魅力を倍増させよう。
皆さん、復興なった神戸へぜひお越しください。
自宅　神戸市垂水区
神和台2丁目10―12
勤先　（財）神戸市緑農海浜公社

退職後の新たな人生

新家盛次（24）

昨年38年間の教職生活を定年退職し、現在県立教育研修所へ嘱託として週4日勤務しています。
母校のさらなる発展を祈念いたします。
自宅　兵庫県多紀郡
篠山町小多田501
勤先　兵庫県立教育研修所

同期の同窓会を

松本　孟（26）

小生もこのたび卒業以来37年余勤務していた会社を退職し、晴耕雨読の仲間入りをしました。これまで仕事にかこつけて関係者には色々と迷惑をかけるばかりで、これといった交流もなく、改めて交際範囲の少なさに一抹の寂しさを感じるところです。
同期の笠井二郎君の音頭取りで10名ほどが集まって不定期ながらも会食などで交流を行っておりますが、その時もよく同期の他の仲間のことを話題にはするものの、お互い余り知らないらしく、すぐ種切れに終わってしまう。
同窓会の総会にも以前は出席していたが、知った顔ともあまり会わない。同期の同窓会があっても悪くないナアと思うのも年のせいだろうか。
自宅　八幡市美濃山御幸24―7

母校の目指す先は？

平井健雄（28）

1962年(昭和37年)に卒業して36年。年月は走り去る早さで過ぎてゆき、来年は人生のひとつの区切りといわれる還暦と同時に、サラリーマンとしての定年を迎える。
時折大阪への出張時に新幹線の車窓より、母校の校舎、校名を見るたび学生時代を思い出し、懐かしい気分になるが、少子化傾向が続く中で我が母校はどのような大学を目指しているのか、機会があれば是非お話をお聞きしたい気持ちになる。
自宅　和光市本町31―15―901
勤先　（株）レコフ

経大の原風景

辻　節雄（29）

経大在学時の原風景をぼんやり頭の中に思い浮かべてみると、淀川から水を引いた農業用水路に沿って立つニセアカシアの白い花の房、大樟の根元に置かれた伊勢湾台風被災者救援の義援金箱、60年安保反対の意思表示としての学園ストと他大学と連帯した街頭デモ、菅野和太郎代議士の政治講演会などが次々と現れてはすっと消えていく。母校は何といっても青春そのものであり、懐かしくいつも気にかかる存在である。
この原稿を書くため『'96澱江』を取りだしたら表紙の画を描かれた先輩西丸全一氏は半田在住という。小生も4年前から縁あって半田に住んでいる。面識は無いが、どこかで出会うのかなと愉しみである。いま職場で経大同窓の稲福善男氏と共に新しい大学づくりに取り組んでいる。先輩の比企重氏が存命であったらいいアドバイス

を貰えただろうにと残念である。ささやかな経験だけれど、経大卒業生が作る人間関係はなぜか温かい。

自宅　半田市白山町3丁目30―1
勤先　名古屋外国語大学

私の住む町、福岡の発展ぶり

濵地　洋（29）

福岡市の西部で南は佐賀県堺に雷山（らいざん）背振山（せぶりざん）（950～1200m）の連山がそびえ、北は玄界灘の海岸線（玄界国定公園）が長く糸島平野の中心にあり、東は中洲の夜で有名な都心で20km。近年は九州大学の移転が決まり、用地買収275haもほぼ済み、これからは10万人の町づくりがはじまります。

現在は西に糸島郡部をひかえ、のどかな田園風景ですが、これから先10年もするとかなり開発も進み、都市化することでしょう。

自宅　福岡市西区
　　大字元岡2198―4
勤先　元岡工業（有）

あのころの友たちへ

山川惠三（32）

地元に帰って教員になること、そのために大阪経済大学で免許状を取得するのだとの目的で昭和37年入学しました。だれ一人知人もいない大阪で学校から3畳一間3千円の紹介を受け「助かった！」と感激したのを昨日のように思い出します。奨学金8千円の時代学食の五目そば35円、みそ汁10円等助かりました。矢幡、八木、守田、真鍋、村田、福島、今岡、高木、重本、森本、小坂、五十棲、服部君。一緒に苦労しながら頑張りました。日本全国で活躍しており、近況の手紙が来る度に自分も頑張らねばと気合をいれています。

経大益々の発展を祈っております。

自宅　大分市大字千歳2045
　　リバーサイドフェリカB503
勤先　佐伯豊南高等学校

「守谷ハーフマラソン」を運営して

山下隆司（32）

「茨城県北相馬郡守谷町」私は20年前にこの町に転居してきました。利根川、鬼怒川、小見川の3大川に挟まれ水と緑に囲まれた静かな町でした。（北相馬郡といっても相馬盆唄の相馬ではありません）

今、東京のベッドタウンとして常磐新幹線（つくば市―東京）の開通を目前にして、環境が一変しました。当初1万8千の人口がまもなく5万を突破しそうな勢いです。町のボランティアとして「守谷ハーフマラソン」の運営委員を10年余り務めています。最初数百名参加の大会が、今では日本陸連の公認コースとして北は青森県から南は福岡県まで参加者5千名弱の一大大会に成長しています。いつまでもこの町を愛し、住むつもりです。

自宅　茨城県北相馬郡守谷町
　　守谷甲2024―30
勤先　（株）碇物流　東京営業所

病癒えて、懐かしく思う大阪

横山勝紀（32）

昭和41年卒業と同時に郷里広島へ呼び戻され就職。以来、営業畑で仕事、仕事と日夜頑張って来たのだが、4年前、狭心症を患い、一命をとりとめ、内勤部門に配置転換となった。現在ではゴルフも出来るまでに快復し、嬉しく思っている今日この頃です。

以来、人生観が変わったような気がしている。最近とくに大阪が懐かしくなり、先般家内と二人で母校の周辺と下宿先の吹田周辺を散策した。何もかも変わっており、戸惑った次第です。広島生まれの広島育ちでありながら大の阪神ファンで、学生時代甲子園球場で切符切りのアルバイトをしていた頃が懐かしく、今度は是非、観戦に出向きたいと思っている。同窓生の皆さん、何事においても「一所懸命」は素晴らしいことですがくれぐれもお体を大切に頑張ってください。

自宅　広島市安佐南区
　　川内3―20―10
勤先　成和産業（株）

地方公務員の一人として

増井　弘（33）

母校を卒業して早くも30年が過ぎてしまいました。この間、地方公務員の一人として、市民サービスに努めて、この春退職いたしました。

出張の途次、新幹線の車窓から立派になった母校を見るにつけ、昭和高商以来の諸先輩の活躍（義兄もその一人に含まれるかと思いますが・・）や下宿での生活、日生の高橋兄や同期の浅沼君（英語の先生のご子息）広島にいる野坂君との交友や井高野グラウンドでの体育の授業、藤谷先生や経済哲学の鈴木先生の講義を数人で受講

北から南から

したことなど懐かしく思い出されます。

この3年間は市民相談室勤務でしたが、世相を反映してか、サラ金問題、土地の境界争い、相続関係、消費生活関連など多岐にわたり、それぞれの専門家への紹介、指導等、日々が法律の勉強でした。老齢化、情報化、国際化などといわれて久しく、21世紀に向けて社会が大きく変化していく昨今、三重の片田舎で健康に留意しつつ、余生を博物館巡りや趣味の郷土史など頑張りたいと思ってます。

自宅　三重県安芸郡
　　河芸町上野757

今でも持っている学生時代の品

濵操克弘（36）

①堺東～梅田経由・上新庄間の通学定期券

卒業後は郷里で就職する予定だったので定期券とも縁が無くなるとの思いから。

②歌詞カード

（一人寝の子守歌）

文化祭で歌手の加藤登紀子さんの講演が学生会館でありました。当時ヒットしていた曲であり、好きな曲でしたので（会場入口でもらった）

③錦の小さいきんちゃく袋

（宝石入れ）

外貨の持出しが大幅に緩和されて間もない昭和43年春、ゼミ（故木村武夫先生）で韓国に行きました。その時現地で買い求めたアメジストのタイピン入れです。

自宅　愛媛県宇和島市野川4区
勤先　南宇和郡内海村
　　魚神山小学校

私の住む白馬にお越しください

濵田尊雄（36）

大阪で22年間勤務したNTTを退職し、信州白馬に来たのが10年前。ペンション樹里家のオーナー業にも少しは慣れ、オフは減反の田を借用し、ラベンダーや野菜の栽培、有機農法による米作り等で多忙な日々です。これだけを見ると優雅な生活を想像されるでしょうが、ここ数年来の不景気は私たち宿泊業も同じ。本当に本当に大変です。オリンピック、オリンピックで村がかかえる負債が170億？とか、村民9400名、世帯数3250軒、いかにムチャクチャか・・。

儲けるのは大手ゼネコンばかり!!

まあカッカッした時は涼しい白馬においでください。安曇野、ちひろ美術館、黒部ダムは車で30分、スキー場まで180メートル、クーラーいらずの白馬です。ゼミやクラブの合宿にもご利用ください。

いつも『澱江』をすみからすみまで読んでいます。

自宅　長野県北安曇郡
　　白馬村神城白馬の森
勤先　ペンション樹里家
　　（じゅりや）

近ごろ想うこと

仁木良一（37）

娘が大学を受験する年頃になった。親の手元から通える大学をすすめるが、県外（阪神地区）に行くと言う。親がなだめても聞く様子がない。本当に頭にくる。

しかし、26年前、自分も両親の意見も聞かず、勝手に大阪経大の願書を書いて出したのを思い出す。歴史は繰り返されることを実感している。賑やかだった阿波踊りも終わり、あと半年で娘は受験本番に突入する。娘よガンバレ！

自宅　阿南市上大野町清松5
勤先　徳島銀行

コンピューターと奮闘中

本城（古本）佐世子（37）

卒業後振り返ってみますと、もう20数年がたっており、団塊の世代も中年へとさしかかっています。同窓の彼女達もお元気でしょうか。懐かしく思っております。

友人の中には子育ても終えられている人が多い中で私はまだ子育てに頑張っています。現在自宅において幼・小・中学生対象の学習教室を開いております。

スタディ・アドベンチャーの頭のS・T・A・Dをとってスタッドという名称です。学習とは別に、サポート教材学習にコンピュータを導入しています。子供達は楽しくコンピューターを使って学習しており、もちろん、私は四苦八苦しながら取り組んでいます。

そして思うことは子供たちの目が素直にいつもキラキラと輝いていられるように楽しい教室にと願っていることです。私もいつまでも気持ちは若く、色々なことにチャレンジして元気に過ごしていきたいと思っています。経大、『澱江』のますますのご発展をお祈りいたしております。

自宅　姫路市広畑区西蒲田873
勤先　スタッド西蒲田教室

学生時代からの電気スタンド

増永五郎兵衛（37）

小生の部屋の机の上で今も活躍している電気スタンド。変色し、カサはタバコのヤニとひびわれ。しかしその機能は全く昔と同じ。大学入学時に学生会館の生協で購入したものです。品名はナショナルスーパー22。31年間活躍しています。価格は当時で壱千八百円？。271560時間経過しており、1時間当たり1銭ちょっと。今の時代にあった小生の身の回りの中での一番の低コスト商品です。使うのみで管理せず。これが良かったのかも。単純でシンプルなことも要因の一つ。過保護、多機能の今の時代、考えたいものです。ナショナルさん、有難う。展示物としてならおわけしますよ。

自宅　福井市生野町20―37
勤先　川中経営

地方都市の魅力について

野長瀬七郎（38）

大学を卒業して入社した会社も25年が過ぎました。本社（大阪）をスタートに大垣市・津市・四日市市・金沢市・東大阪市と6ヵ所目の勤務となります。小学校以来大阪府内で育った私は、最初の頃は地方都市の魅力がわからず暮らしておりましたが、20年間もそれぞれの都市で暮らしますと、ずっと地方都市で暮らしたいと思うようになりました。しかし、20年ぶりに大阪勤務となり、色々考えた結果、三重県の名張に住まいを建てました。20年間通勤は車でしたが、久しぶりに学生時代に戻って電車通勤をいたしております。

通勤時間（約2時間）が長く、起床時間（5時、冬は暗い）が早いことを除けば快適な暮らしをしております。最近では年のせいか人込みが苦痛にさえなっております。住むなら地方都市・・・。子供には不評ではありますが・・・。

自宅　名張市梅が丘北5―81
勤先　東洋物産（株）大阪機材部

ホールターネック（詩）

春名　豪（38）

1その格好は　何なんだ
父さん古いネ　知らないの
ホールターネック　流行よ
はやってるって　お前まで
真似するこたァ　ねえだろう
2ファッションなのよ　最新の
いっぱいいるよ　渋谷には
そりゃわかるが　その肌を
むき出しなのが　気になるネェ
それがいいのよ　いいかんじ
3ヘソ出しルック
生足（なまあし）や
金太郎さんの　腹かけが
ファッションだたァ　恐れ入る
若い女にゃ　かなわねえ
困っちまうよ　可愛いくて

自宅　川崎市麻生区
　王禅寺2065―72
勤先　小野建設（株）

住みやすく人情深い、米子の町

中山（松本）寿子（38）

夫の転勤で鳥取県の米子市に来たのが17年前。その後、夫は単身赴任の身、息子は東京で学生生活。

現在は娘と二人暮らしです。鳥取は日本一人口の少ない県で、少し暗いイメージを持っている人が多いと思います。今まで色々なところで暮らした私ですが、一番住みやすい町がここ、米子です。人情が温かく緑が多く、魚が美味しく、とにかくホッとして暮らせる素晴らしい県です。大経大の県人会にも入れていただいて1年に1回開かれる懇親会で交流を深めています。そして活躍されている先輩、後輩を誇りに思っています。

自宅　米子市両三柳377―3
勤先　県立米子高等技術専門学校

私の下宿生活に比べて

波多野（山本）三千香（39）

昨年、私の娘が大学に進学し、下宿生活を始めた。いわゆるワンルームマンションで、バス、トイレ、キッチン、電話、ファックス、パソコン、エアコン、等無いものはない住環境である。私の学生時代の下宿とは雲泥の差だ。20数年の歳月の差がなせる業だろうが、なんとも複雑な気分だ。4畳半一間、賄い付き、あるのは机、本棚、白黒テレビという簡素さ。

しかし変わっていない所も多々ある。とにかく片付いていない。洗濯物、雑誌、空缶、空瓶等が散乱している。教科書、参考書の類が極端に少ない。夜どこに行っているのか、すこぶる留守が多い。入れ物は変わっても、中味は全然変わらないということだ。そういう娘に、月々10数万円の仕送りをしている。給料の半額に当たる額だ。私は遊び惚けていても田舎で汗水たらして百姓をして仕送りをしてくれた親に、いつもすまないと思っていたが、果たして娘はいかがなものであろうか。

自宅　備前市鶴海3653
勤先　備前信用金庫

地球環境を守ろう

渡辺元義（39）

私の住む岐阜県は今、全国的に有名になった御嵩町では産廃施設建設問題で揺れ動いています。地球の温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、ごみ問題・・・。地球の姿が変わっています。

私の会社では、平成8年からペットボトルからのリサイクル製品（ワーキングウェア）の販売に取り組んでいます。官公庁の関心も高く、今年に入って県庁等契約に至っています。

しかし、ペットボトルの分別回収率は2％弱。つまりほぼ全量がごみになってしまっています。ペットボトルの回収率を上げ、リサイクル製品を拡販するには消費者一人ひとりのモラル向上が最も重要だと思います。地球を大切に守ろう。

自宅　大垣市赤坂東町42―1
勤先　マルキ繊維（株）

懐古

若本（戸田）啓二（41）

卒業して23年がたちました。息子が今春、九州の大学へ入学し、大学生の子を持つ親の辛苦を味わっています。夏休みに帰省した我が子を見て、当時の自分の姿が重なって見えました。

庄司さん、田中さん、高橋さん、龍本さん。懐かしく思い出します。一度会ってみたいものだと思いながらもついつい日々の生活に追われています。

自宅　広島県山県郡豊平町
　吉木1352―1
勤先　山県東中部消防組合
　消防本部

幅が広がった学生生活

元吉　勇（41）

昭和46年入学し、卒業する昭和50年までの4年間珠算研究部に在籍して、元気な、そして忙しい学生生活を過ごしました。おかげで部活動と下宿の関係で良き友ができ、今でも年賀状その他での交流が続いています。今は母校に珠算研究部はなくなっているようで少し寂しい気もしますが、これも時代の流れかもしれません。ただし『濃江』が届いたときは最終ページの学歌と逍遥歌を見て学生時代のコンパを思い出し時々唄っています。卒業と同時に九州耐火煉瓦（株）という地元の耐火物メーカーに入社し、あっという間に22年がたち、忙しい毎日を送っていますが、今思うと、学生生活は自分の幅をいくらか広げてくれた有意義なものだったと思います。

自宅　岡山県備前市久々井952
勤先　九州耐火煉瓦（株）

学生時代の体験は私の財産

中嶋孝一（43）

卒業してから20年が過ぎ、学生時代の生活を振り返って見ますと、色んなことが思い出されます。1年生の冬、下宿先が火事で燃えてしまい、火事の怖さを知り、2年から卒業まで下宿先の大家さんの人情味のこもった朝夕の食事、そして気の使いように有難さを感じ、また、アルバイト先では人間一人では何程もできないけど、まわりの人の協力により目的を達成することができることを教えてくださった経大の図書館の皆様、玉岡様前田様。有難うございました。

皆様のお陰で大学で勉学のほかに社会勉強もでき、今の私の人生にとって、大きな財産となっております。最後に大阪経済大学の益々のご発展と同窓生ご一同様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

自宅　福井市春山2丁目18―25
勤先　出雲大社　福井分院

母校は遠くになりにけり

塩見　薫（45）

生まれ育った大阪を卒業と同時に離れ、神戸、名古屋、そして昨年から3度目の任地、横浜へ来ておりますが、関東圏でも東京支店長をはじめ、横浜支店にも多数の母校の先輩が重職についておられるので心強い限りです。

昨年、新幹線で帰郷の際、車窓から母校を懐かしく拝見しました。まだまだ先輩諸兄ともども関西弁バリバリでがんばっております。

自宅　横浜市戸塚区
　戸塚町3430上組社宅201
勤先　（株）上組横浜支店

卒業して思うこと

渋江大豪（45）

早いもので大学を卒業して19年になる。在学中に公務員試験に合格し、卒業間際に無事就職するこ

北から南から

とができた。
就職して思うことは、大学とはホワイトカラーの養成所だったということである。仕事の本を読み、色んな経験をつんで成長していく。そのために必要な読解力や作文力等々を大学で学んだように思う。
これからも定年まで勉強や経験をつまなくてはならない。

自宅　明石市小久保
120—55C—408
勤先　兵庫労働基準局

最後に女神が・・

高井（杉本）英次（45）

私には大学時代から付き合っていたO君という友人がいます。彼は大学を卒業して会社勤めをしていましたが、人を育てる仕事をしたいという気持ちが捨てきれず、30歳を過ぎて会社を退職し、教師を志しました。一生後悔したくなかったからです。
彼は一所懸命努力しました。しかし、何度受験しても採用試験の最終選考で不合格になり、教職に就くことができませんでした。人間性、適性も抜群であるし、周りの人々もなぜ合格しないのか全く原因がわからないのです。
そんなO君が数年前に最後の受験だと決意し、ある県の採用試験を受験しました。しかし、またも最終選考で不合格になってしまいました。彼の落ち込みようはひどく、決して気休めを言えるような状態ではありませんでした。
数ヵ月が過ぎ、ある時彼から知らせがありました。「高井君、○○高校に採用の予定になったんだ。追加採用だって」私は自分の耳を疑いました。このようなことは10年に1度あるかないかのことらしいのです。その後彼は正式に採用され、今では誰からも慕われる教師になっているとのことです。
この話をして私が何を言いたいのかわかりますか。私は単に彼が運が良かっただけだとは思いません。自分の夢をあきらめないで地道に努力してきたからこそ、最後に幸運の女神が微笑みかけてくれたのだと思います。生きていく間にはいろいろなことがあります。努力しても報われず、自分の希望がかなえられないことも幾度かあります。でも決してあきらめないでください。だめだと思っても自分を信じてひたむきに努力してみてください。最後の最後で逆転することもあり得るのです。
頑張ってください。

自宅　山口県萩市堀内177—3
勤先　山口県立萩高等学校英語科

幅広い世代の人たちが暮らす町に

中部邦彦（50）

私の住んでいる丸亀市は城下町で、昔ながらの風情があり、生活するには何の問題もありません。私はこの町に商いをするために来ています。できれば市や町、企業が10年先、20年先を考え、市の核となる建物、場所を作り、若者を呼び戻す投資をすることを望みます。学生や若い人が集まれば、町に活気が出て、あらゆる商売が成立するでしょう。丸亀市が将来どういう市になるのかは分かりませんが、お年寄りと若い人が共存できるよう変化して欲しいです。

自宅　丸亀市津森町
574—11富士タウン3号
勤先　（株）トーホー
Aプライス事業部

経大生協の思い出

西田純一（50）

大学時代の思い出は色々あるが、経大生協の思い出が印象深い。毎日昼食時に290円ぐらいでボリュームたっぷりのコープ定食を友人達と楽しく語らいながら食べたことや、工場直送のカセットテープを割安で買ったことが特に心に残っている。
また、その頃そこで買ったライトニングボルトの布製財布を、今でも時々愛用している。16年も使っているので少々傷んではいるが、まだまだ十分現役である。この財布を見る度にコープ定食の食券を買っていた頃を思い出す。

自宅　奈良市青垣台
1丁目4912—21
勤先　奈良県立二階堂高等学校

まもなく開通、明石海峡大橋

土井康平（51）

社会に出て、地元淡路島に3年勤務、神戸で9年、今年4月に地元洲本市に戻って参りました。その間、あの痛ましい大地震を経験しました。淡路島と本州を結ぶ連絡船に変わり、明石海峡大橋が来年4月開通の運びとなり、「夢の大橋」が島民にどれほど待ち遠しかったことか、今から楽しみにしています。明石海峡大橋が開通すると、阪神と淡路島、四国が直結され所要時間は約半分になると期待されています。

北から南から

自宅　兵庫県洲本市下加茂職員住宅
勤先　兵庫県洲本福祉事務所

中尾美喜夫先生へ

高橋敬二（54）

中尾先生お元気ですか。大学を卒業して10年になります。重量挙げというスポーツを通して様々なことを学びました。また先生から学んだことが今、大きな財産になっています。覚えていらっしゃいますか。卒業式の後、上新庄の焼き肉屋で「がんばれ」と言ってくださったこと。私は忘れることはできません。あれから10年。いろいろなことがありました。いつも心のどこかにあの時の「がんばれ」という言葉があったと思います。
村上も片本も金市も丸井も、みんながんばっているようです。ではまた、お会いできる時を楽しみにしています。お元気で。

自宅　愛媛県今治市
北日吉町2—6—47
勤先　今治市立近見中学校

経大生よ、資格を取れ！

西野義次（54）

現在私は日本最大手の専門学校で勤務しております。私の勤務している学校は、公認会計士、税理士試験合格者数において、毎年日本トップ校となっております。私は、会計職向けの簿記を担当する教員です。最近は京都地区の大学・短大から依頼を受け、大学内での資格取得講座（日商簿記）も担当しております。資格取得は、就職活動に必ず役立ちます。母校からのご依頼をお待ちしております。

自宅　京都府綴喜郡宇治田原町
荒木中出39—3
勤先　学校法人大原簿記専門学校

母校への提案、もっとアピールを

池山英典（57）

私は現在三重県に居住しており、大学時代を懐かしく思いつつ仕事に明け暮れる毎日です。そこで母校への提案、要望があります。こちらの主要新聞である中日新聞を購読していて思うのですが、関西の他大学はよく名前が出てきているのに、母校の名が一向に見当たらないのを大変寂しく思います。これからは関西圏だけでなく全国から多様でかつ優秀な人材を集める意味でも、宣伝に金を惜しまず、地方にも母校を新聞に載せる等のアピールをしていくことを提案します。

自宅　三重県津市片田町400
勤先　法務省津地方法務局

体育会に愛の手を

佐々木暁史（62）

私は在学中に陸上競技部に所属しており、平成6年には関西I・C4×100MRに優勝したメンバーの一人です。他の体育会のクラブも活躍しているにも関わらずあまり良い扱いを受けていません。
パソコンや新学舎に予算を注ぎ込むのもいいですが、そのうちの何%かを体育会の方にも回してやってほしいものです。遠征費用ぐらい全額出してあげてください。ただでさえ高い学費払っているわけですから、それぐらいの恩恵を受けたっていいでしょう。

自宅　熊本市水前寺公園
16—41—205号

岡山支部同窓会に参加して

渡辺周三郎（62）

この度、初めて大阪経済大学同窓会岡山支部総会に、参加させていただきました。同窓会では、先輩方に気軽にお声をかけていただき充実した楽しいひとときを過ごすことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。
今年の同窓会は、女性では私と同期生の清原さん、辻田さんの参加もあり、学生時代の思い出から現況にいたるまでを話す機会に恵まれると同時に同窓会の華のような存在になっていただきました。
また、先輩方と交流させていただくことによって私にとって祖父、父の年代の方々が、現在もあらゆる方面でご活躍されていることに、我が母校の歴史の深さを改めて実感いたしました。
当支部も発足50周年を迎えるとのことで、これまでの先輩方のご努力に感謝し、今後母校ならびに岡山支部の益々の発展を祈願する次第であります。

自宅　岡山市丸の内1—10—13
（株）中國銀行丸の内寮211号

皆さんにご投稿いただいたテーマ

- 母校への提案
- 今年一番嬉しかったこと
- 社会に出て思うこと
- 私の住む町
- 私の下宿生活
- 今でも持っている学生時代の品

キャンパスライフ

あぁ、今どきの下宿事情

毎年、全国各地から新入生たちが、経大にやってきます。そして、初めての土地で一人暮らしをスタートさせます。昔ながらの貸間で暮らす学生、今流にワンルームマンションで暮らす学生。下宿生活と言っても彼らの暮らしぶりはいろいろです。ひょっとすると、

皆さまの学生時代からは想像もつかないぐらいライフスタイルが変わっているかもしれません。今回の「キャンパスライフ」では、経大生の今どきの下宿事情をご紹介いたします。

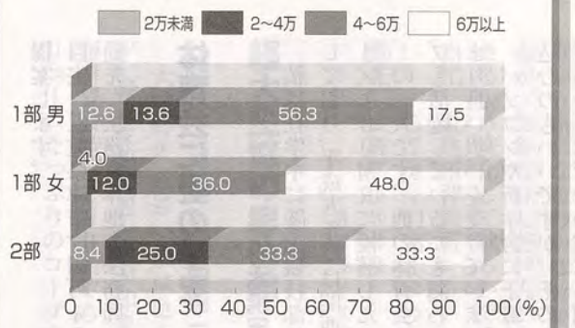
データ出典:「1996学生生活実態調査」より
※学生総数7,617名、アンケート発送数1,512名、回答数470名(うち下宿生140名)

データ① 経大の下宿生の割合

経大生の約3割が下宿生

経大の全学生の約3割が下宿をしています。ただし、2部学生で下宿している学生は2割強。1部学生に比べ下宿率は低いようです。また、1部学生においては、男子学生よりも女子学生の方が下宿率が約5%高いという結果が出ています。これは男子学生よりも女子学生の方が下宿生活への憧れが強いという表れでしょうか。しかし、高学年になるにつれて、実家へ帰る学生が男女共に増える傾向にあるようです。

データ② 家賃はいくら?

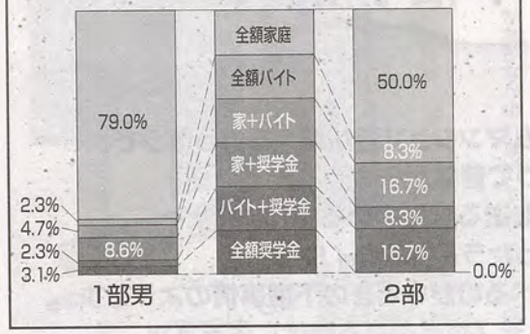


少々割高でもワンルームマンションが人気

家賃は4~6万円台が全体の約半数を占めています。女子学生に限っていうと、家賃6万円以上が約5割。台所、風呂、トイレつきのワンルームマンションを強く希望する学生も多く、家賃も6万円前後となっているようです。悠々自適のシングルライフ指向が強い、というところでしょうか。しかし、昔ながらの貸間に住む学生も、約1割と少ないながらも、いまだ健在です。

経大生に聞きました

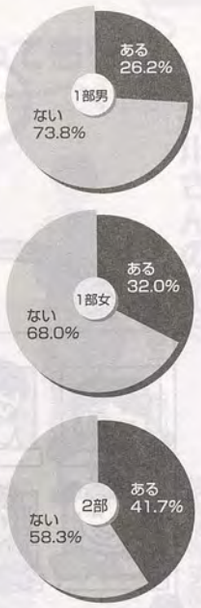
「学費はどこから得ていますか?」



データ③ 転居したいですか?

今の下宿に約7割の学生がほぼ満足

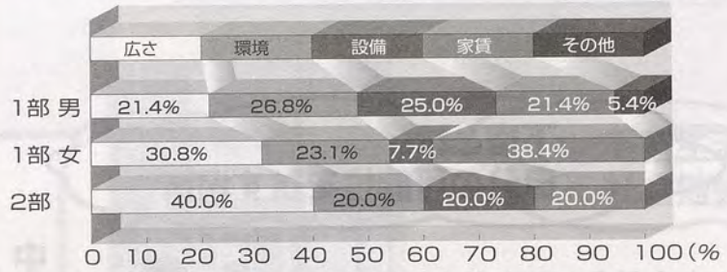
「下宿先を移りたいと思っていますか」という質問に対し、約7割の学生が「移る気はない」と回答。ほぼ現状の下宿に満足しているようです。転居希望と回答した学生は女子学生と低学年に多く、新生活をスタートして生活にも慣れた秋頃、部屋や周辺の環境などに不満が出てくるというのが実情です。しかし、高学年になるにつれ、住めば都なのか、どこも同じと妥協するのか、転居希望者は減少します。



データ④ どんな理由ですか?

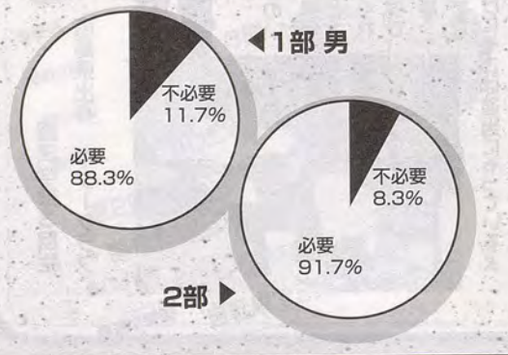
転居希望の理由は広さと家賃

1部男子学生の場合、広さ、環境、設備、家賃と、それぞれの事情によって理由はまちまち。しかし、1部女子学生の場合は、設備には満足してても割高の家賃に不満という学生が多いようです。その反面、広さに不満という回答も多く、さらにゆとりある部屋を求める女子学生も多いと言えます。2部学生では、広さに不満をもつ学生がトップ。快適な下宿生活への欲求は衰えることを知らないようです。

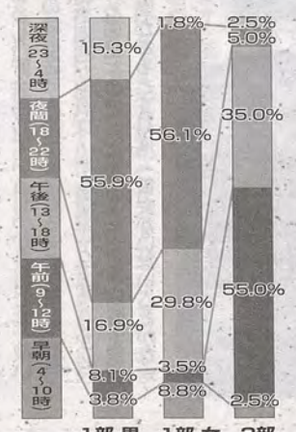


経大生に聞きました

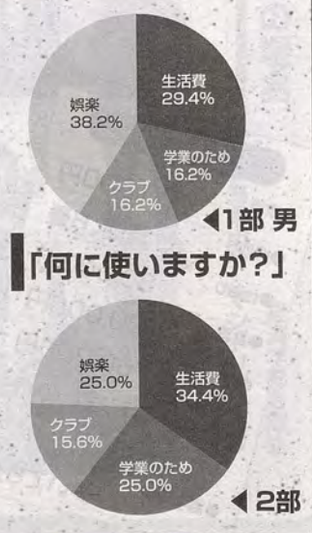
「アルバイトは必要?」



「アルバイトの時間帯は?」

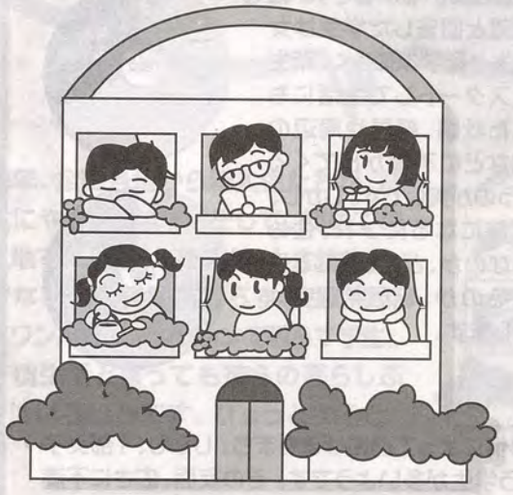


「何に使いますか?」



キャンパスライフ

あぁ、今どきの下宿事情



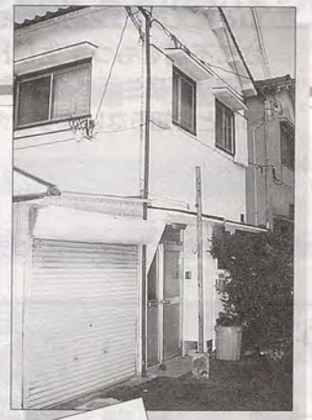
ワンルームマンション派が増えるいっぽうで、
貸間を借りて昔ながらの
下宿生活を送る学生のいる時代。
自分にあったライフスタイルを
自由に選べるのが今どきの下宿事情のようです。
ところで、モノがあふれる時代に生まれた
今どきの下宿生たちは
どんな暮らしを送っているのでしょう。
そこで、ワンルームマンションと貸間で暮らす
3人の経大生のお部屋におじゃましてみました。
それぞれの暮らしぶりには、
大学生ならではの生活感があふれています。

下宿とは、自分の可能性を試す場所

中村くんの場合

経済学部3回生
中村 昌宏　広島県出身　ギタークラブ

中村くんの部屋は、昔ながらのいわゆる“貸間”。民家の2階の1室を借りて住んでいます。「何かと大家さんがやさしく世話をしてくれる」ということですが、下宿ならではの住み心地の良さが感じられます。とは言え、食事つきではないのでご飯は自炊。男子学生というだけにそこは適当にやっているようです。こんな中村くんは、安い家賃に加えバイトもしており結構ゆとりある暮らし。貯金もしているしっかり者です。彼いわく「男というものはお金で人格形成される」とのこと。欲を言えば「この部屋にお風呂があれば…」と言うことです。しかし、引っ越しをするのも面倒なので、卒業までこのまま住む予定。今の下宿生活に不満があるとすれば、「彼女がいないことかな」ということです。



冷蔵庫の中身拝見！

DATA

●家賃	20,000円
●間取り	貸間、6畳
●仕送り	80,000円
●食費	20,000円
●バイト代	60,000円
	上新庄の寿司屋でバイト
●通学時間	歩いて5分

私にとって、下宿生活は“大学生”って感じ

井川さんの場合

経営情報学部1回生
井川 直子　岡山県出身　チアリーダー部

とても明るく健康的な1回生、井川直子さんの下宿は守口市にあり、経大からは自転車で15分ぐらいのところ。下宿生はみんな上新庄に住んでいるというわけではなく、井川さんのように近郊に住んでいる学生も結構いるみたいです。井川さんの場合は「上新庄にはいい部屋が残っていなく、たまたま守口にいい部屋があった」のと「守口の方が家賃が安かった」というのが理由。確かに家賃から考えると、とてもいい部屋です。女の子らしくきれいにまとまっているこの部屋は、7階ということで、窓から見える夜景はとてもきれい。さらに、駅や商店街からも近く、大変便利だそうです。ただし、学校から少し遠いので、友だちがなかなか来れないことが、ちょっと悲しかったりするそうです。

冷蔵庫の中身拝見！

DATA

●家賃	49,000円
●間取り	1ルーム、6畳
●仕送り	80,000円
●食費	30,000円
●バイト代	40,000円
	カード会社の事務、土日だけ1日7~8時間働く
●通学時間	自転車で15分

下宿生活のなかで社会勉強をしている

中島くんの場合

経済学部2回生
中島 亮　広島県出身　マンドリンクラブ

元気な2回生中島くんの部屋は、上新庄駅からも近いワンルームマンションです。経大の下宿生で、今、一番多い形です。駅はもちろん商店街からも近く、非常に快適な環境にあります。部屋が、経大と駅との中間地点にあるので、友だちのたまり場になっているとのことですが、一人でいるよりもその方が楽しいようです。下宿生の中には全く親に電話をしない学生もいますが、中島くんは、家事のしんどさを自分で経験し、親のありがたみを痛感したとのこと。週に1、2回は実家に電話をするという親思いの下宿生です。

冷蔵庫の中身拝見！

DATA

●家賃	58,000円
●間取り	1ルーム、6畳
●仕送り	110,000円
●食費	40,000円
●バイト代	週2回ぐらいは自炊、得意料理は肉じゃが
	していない
●通学時間	自転車で5分

1997年度クラブ戦績

ヨット部	関西学生選手権春季新人戦470級　9位木村・奥谷組
洋弓部	関西学生アーチェリーリーグ戦2部　優勝、女子1部昇格
重量挙部	関西選抜大会91kg級　3位西山、76kg級　7位沖見、59kg級　7位谷口
水泳部	関西学生選手権男子3部　5位、男50m自由　1位向井、同100m　2位向井、男400R　3位向井・内田・田中・和泉、女200自由　2位大谷
チアリーダー部	関西チアリーディング選手権出場
CBS文化放送局	NHKコンテストCM部門　4位入賞、箕面FM（81.6Mhz）月1回番組放送
吹奏楽総部	第29回定期演奏会6月、たそがれコンサート7月、第19回ウィンターコンサート11月、大学行事参加、東淀川区民祭り
芸術会本部	リーダースキャンプ・夏季《岐阜》、第22回ごくつぶしのタベ
軽音楽部	定期演奏会6月、第18回ウィンターコンサート11月
演劇研究部	新人公演11月（大樟祭）
グリークラブ	関西合唱コンクールB　銀賞10月、ジョイントコンサート7月、第33回定期演奏会12月
写真部	卒業生展12月
映画研究部	広島映像展入選、第22回ごくつぶしのタベ、シネマランド上映会《六大学合同上映会》
美術研究部	夏季部展
吟詠部	第30回岡経交換吟詠発表会6月、学内吟詠発表会10月
茶道部	第32回秋季単独茶会11月、大樟祭野点11月
マンドリンクラブ	定期演奏会10月、大阪学生マンドリン連盟演奏会
邦楽部	定期演奏会「和」6月、定期演奏会「響」11月
ギタークラブ	ジョイントコンサート5月、第31回定期演奏会11月
簿記会計研究部	関西学生会計学研究会参加
証券研究部	全日本証券研究関西学生連盟セミナー参加12月
将棋部	関西学生リーグC級　4位団体、個人4回戦
ユースホステルクラブ	北アルプス夏合宿8月
社会福祉研究会	福祉団体合同イベント「ほっこりハートフェスタ」参加、あさひ福祉まつり参加、地域ボランティア活動
Ⅱ部・F.C.Domingo	大阪社会人リーグ5部
ホワイトミュー基礎スキー同好会	96年度関西学生基礎スキー大会男子総合　9位、同個人戦総合4位　入賞（徳岡）
浪速ユベントス	大阪社会人リーグ戦
軟式野球愛好会	近畿学生軟式野球リーグ2位、西日本選手権大会

陸上競技部	関西学生陸上競技対校選手権大会Ⅰ部100m　6位竹中、7位堂岡、4×100mR　5位堂岡・竹中・寺内・鎌谷、全日本大学駅伝　20位、全日本学生陸上競技対校選手権大会出場
空手道部	全関西学生選手権個人　ベスト32、全日本学生選手権大会出場団体
日本拳法部	全関西学生選手権・全日本学生選手権　2回戦
柔道部	関西学生柔道優勝大会団体　ベスト8、全日本学生柔道優勝大会団体　2回戦、全日本学生柔道体重別選手権ベスト32門田、関西学生柔道選手権　ベスト16宮沢、ベスト32板井・三谷
剣道部	関西学生剣道優勝大会　ベスト8、全日本大会出場、大阪学生剣道新人大会団体　優勝、
合気道部	個人　ベスト8新保、ベスト16福川関西学生合気道演武大会出場
少林寺拳法部	関西学生新人大会　初段組演武4位
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ　2位、同秋季リーグ　4位
準硬式野球部	近畿六大学春季リーグ　優勝、同秋季リーグ、全日本選手権　ベスト16
硬式庭球部	関西学生対抗リーグ5部　3位、関西チャレンジテニストーナメント男D　ベスト8和田・山敷
ソフトテニス部	関西学生春季リーグ1部　3位、同秋季　6位
サッカー部	関西学生春季リーグ2部　2位、同秋季　3位
ラグビー部	関西学生リーグ6位
ハンドボール部	関西学生春季・秋季リーグ　2位、西日本学生選手権　準優勝、全日本学生選手権出場
卓球部	関西学生リーグ2部　2位、全日本学生選手権出場
バスケットボール部	全関西学生大会　6位、西日本選手権　ベスト16
バレーボール部	関西学生春季・秋季リーグ3部　3位
アメリカンフットボール部	西日本学生大会　2回戦、関西学生リーグ2部
ボクシング部	関西学生春季リーグ2部　6位
バドミントン部	関西学生春季・秋季リーグ1部　6位、大阪学生選手権団体　4位
自転車部	関西学生リーグ　3位、全日本学生サイクルサッカー選手権　4位
アイススケート部	《フィギア》関西学生氷上競技選手権A級男子団体　優勝、B級男子団体　2位 《スピード》日本学生氷上競技会　11位、関西インカレ　7位、西日本学生選手権出場、
ゴルフ部	国体出場関西学生春季リーグ3・4部　12位
競技スキー部	96年度全関西学生選手権2部　3位、全日本学生選手権3部　10位
カヌー部	関西学生カヌー選手権K-4　3位、K-2　4位、全日本学生カヌー選手権K-4　4位
自動車部	全日本学生ダートトライアル選手権　11位、関西ジムカーナ選手権　2位

学園ニュース UNIVERSITY NEWS

入試

1997年度入試結果

◎1997年度推薦入学選考結果

1996年11月15日(金)に特技(スポーツ)推薦を、12月1日(日)に普通科・商業科推薦を実施しました。結果は次頁の表の通りです。

◎1997年度一般入試結果

【全般的な入試環境】

新課程最初の入試となりました1997年度の入試環境は、18歳人口の減少に加えて、長引く不況の影響を受け、「国公立への回帰志向」、「地元志向」、「実学志向」、「文低理高」、「浪人生の減少」、「併願校数の減少」、「女子の4年生大学志向」という特徴が現れています。全体的に見ましても、学部系統別では、経済・経営・商学部系統の学部は景気低迷や就職状況の低迷を受け受験生の人気が低く、5年連続して志願者の減少傾向が続いています。

【志願者・合格者状況と倍率】

本学の入試は上記の影響をまともに受けて、一般入試・推薦入試の志願者総数は前年度よりも4、925名(△25・7%)減少し、14、273名という厳しい状況でした。

A方式の志願者数は、1、425名で144名(△9・2%)の減少となりました。合格者は270名で39名(+16・9%)の増加でした。倍率は6・7→5・2倍へ下がりました。

B方式の志願者数は、1部合計7、925名で2、879名(△26・6%)の減少となりました。また2部は、1、144名で413名(△26・5%)の減少でした。1・2部合計は9、069名で3、292名(△26・6%)の減少でした。第1部の合格者は、2、442名で165名(+7・2%)増加しました。志願者が減少し、合格者を多く発表しましたので、倍率は4・6→3・1倍と低くなりました。

C方式の志願者は、2、076名で1、036名(△33・3%)の減少でした。合格者は、162名で68名(△29・6%)の減少で、倍率は12・8→12・2倍と高い倍率になりました。

センター試験利用の志願者は、1、115名で410名(△26・9%)減少し、合格者は668名で142名(△17・5%)減少しました。倍率は、1・9→1・7倍と少し下がりました。

地域別で志願者を比較しますと、近畿地方の志願者の割合は、A方式で83・8%、B方式で82・8%、C方式で84・3%でしたが、センター試験は64・9%と、近畿以外の各地からの志願者の割合が多く、他の方式とは大きく異なっています。

なお、本年度入試の特徴としては、現役生の合格率の大幅な伸びと、女子受験生の健闘の2点が上げられます。

【現役・浪人別状況】

第1部の合格者の現役占有率(現浪比)を検証しますと、A方式・B方式・C方式・センターの合計では、49・7%(+9・7ポイント)を占め、前年度に続き大幅増となり現役が相当健闘しました。試験方式別の現役占有率は、A方式の志願者段階では、68・2%(+6・1ポイント)と大幅に増え、合格者段階でも、57・8%(+2・4ポイント)と半分を越えました。B方式でも、志願者は56・7%(+6・4ポイント)に増え、合格者は48・4%(+10・1ポイント)と前年度を大きく上回りました。C方式の志願者は、58・5%(+10・3ポイント)で、合格者は50・0%(+11・7ポイント)と増加しました。センター試験の志願者は、58・8%(+9・0ポイント)で、合格者は50、7%(+9・7ポイント)となりここでも現役がかなり頑張り、全方式で前年度を大きく上回りました。

【女子受験生について】

女子の志願者(1部)は1、345→1、047名に減りましたが、一方合格者は401→440名と増加しました。全方式の合格率は、男子が28・0%だったのに対し女子は43・7%と大幅に上回りました。また女子占有率は、志願者段階で8・3%(+0・4ポイント)、合格者段階で12・4%(+1・1ポイント)を占めました。ここ数年の傾向ですが、志願者、合格者で女子の占める割合が増加しており、今年度も女子受験生の健闘がうかがえます。これは近年続いている女子の4年生大学への進学志向の高まりと、強い実学志向や、厳しい就職状況を意識して学習に励んだ現れでしょう。

A方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者				合格者				倍率	合格最低点(満点200)
	現役	浪人	その他	合計	現役	浪人	その他	合計		
経済	577(37)	247(7)	5(2)	829(46)	87(9)	58(3)	2(0)	147(12)	5.6	130
経営	270(36)	113(4)	5(1)	388(41)	50(3)	29(2)	1(0)	80(5)	4.8	128
経営情報	125(25)	81(4)	2(0)	208(29)	19(9)	23(0)	1(0)	43(9)	4.8	124
合計	972(98)	441(15)	12(3)	1,425(116)	156(21)	110(5)	4(0)	270(26)	5.2	—

B方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者				合格者				倍率	合格最低点(満点400)
	現役	浪人	その他	合計	現役	浪人	その他	合計		
経済	2,070(154)	1,370(38)	18(2)	3,458(194)	602(73)	517(17)	4(1)	1,123(91)	3.0	264
経営	1,437(204)	1,185(49)	18(2)	2,640(255)	331(85)	425(23)	3(1)	759(109)	3.3	239
経営情報	983(141)	834(30)	10(3)	1,827(174)	250(53)	307(13)	3(2)	560(68)	3.1	258
合計	4,490(499)	3,389(117)	46(7)	7,925(623)	1,183(211)	1,249(53)	10(4)	2,442(268)	3.1	—

B方式入試　志願者・合格者状況(第2部)　(　)は女子内数

学部	志願者				合格者				倍率	合格最低点(満点400)
	現役	浪人	その他	合計	現役	浪人	その他	合計		
経済	138(11)	381(2)	7(0)	526(13)	65(5)	219(1)	2(0)	286(6)	1.8	199
経営	161(12)	443(6)	14(1)	618(19)	61(5)	230(2)	6(0)	297(7)	2.0	175
合計	299(23)	824(8)	21(1)	1,144(32)	126(10)	449(3)	8(0)	583(13)	1.9	—

C方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者				合格者				倍率	合格最低点(満点200)
	現役	浪人	その他	合計	現役	浪人	その他	合計		
経済	712(32)	466(11)	11(1)	1,189(44)	44(6)	45(4)	2(0)	91(10)	12.5	138
経営	257(22)	181(7)	3(0)	441(29)	24(4)	17(3)	1(0)	42(7)	10.0	138
経営情報	245(35)	195(9)	6(0)	446(44)	13(1)	16(2)	0(0)	29(3)	14.9	145
合計	1,214(89)	842(27)	20(1)	2,076(117)	81(11)	78(9)	3(0)	162(20)	12.2	—

センター試験利用入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者				合格者				倍率
	現役	浪人	その他	合計	現役	浪人	その他	合計	
経済	300(47)	198(18)	7(1)	505(66)	147(26)	147(17)	3(0)	297(43)	1.7
経営	207(54)	149(18)	4(1)	360(73)	122(33)	103(15)	2(1)	227(49)	1.6
経営情報	149(39)	97(12)	4(1)	250(52)	70(23)	71(10)	3(1)	144(34)	1.7
合計	656(140)	444(48)	15(3)	1,115(191)	339(82)	321(42)	8(2)	668(126)	1.7

1997年度推薦入学選考結果

推薦種別	学部	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
特技	1部経済	73(1)	72(1)	38(1)	38(1)
	1部経営	42(0)	42(0)	26(0)	26(0)
	経営情報	13(0)	13(0)	4(0)	4(0)
	合計	128(1)	127(1)	68(1)	68(1)
普通科対象	1部経済	179(51)	179(51)	179(51)	179(51)
	1部経営	91(16)	91(16)	91(16)	91(16)
	経営情報	61(15)	61(15)	61(15)	61(15)
	合計	331(82)	331(82)	331(82)	331(82)
商業科対象	1部経済	34(17)	33(17)	29(15)	29(15)
	1部経営	52(21)	49(21)	44(18)	44(18)
	経営情報	43(22)	42(21)	37(19)	37(19)
	合計	129(60)	124(59)	110(52)	110(52)
総合計	1部経済	286(69)	284(69)	246(67)	246(67)
	1部経営	185(37)	182(37)	161(34)	161(34)
	経営情報	117(37)	116(36)	102(34)	102(34)
	合計	588(143)	582(142)	509(135)	509(135)

1998年度一般入学試験概要

	A方式（英語1教科）入試	B方式（3教科）入試	C方式（2教科）入試	大学入試センター試験利用
募集学部・学科募集人員	経済学部　第1部　経済学科 50名 経営学部　第1部　経営学科 30名 経営情報学部　経営情報学科 20名	経済学部　第1部　経済学科 355名 経営学部　第1部　経営学科 230名 経営情報学部　経営情報学科 155名 経済学部　第2部　経済学科 90名 経営学部　第2部　経営学科 90名	経済学部　第1部　経済学科 50名 経営学部　第1部　経営学科 30名 経営情報学部　経営情報学科 20名	経済学部　第1部　経済学科 35名 経営学部　第1部　経営学科 25名 経営情報学部　経営情報学科 15名
試験日	1998年2月1日（日）	2月9日（月）経済学部（第1部・第2部） 2月10日（火）経営学部（第1部・第2部） 2月11日（祝）経営情報学部	1998年3月6日（金）	1998年1月17日（土）・18日（日）
試験地	大阪（本学）・岡山・名古屋	大阪・東京・名古屋・金沢・姫路・高松・広島・福岡	大阪（本学）・岡山・名古屋	
試験科目 利用科目（センター）	教科：英語　科目：英語Ⅰ英語Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：200点　時間：80分（1時限のみ） ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：150点　時間：60分 教科：国語　科目：国語Ⅰ・Ⅱ（漢文を除く）　配点：150点　時間：60分 教科：選択（1科目）　科目：政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅰ・A（数と式・数列）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語（国語）（1科目）　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング、国語Ⅰ・Ⅱ（古文・漢文を除く）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 教科：地歴数学（1科目）　科目：日本史B、世界史B、数学Ⅰ・A（数と式・数列）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：国語（国語Ⅰ、国語Ⅰ・Ⅱから1科目）　配点：200点 教科：外国語（英語・独語・仏語・中国語から1科目）　配点：200点 教科：地歴、公民、数学から1科目　配点：100点 ※大学入試センター試験を利用して行う ※地歴、公民、数学について2教科・科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。 ※個別学力検査等は課しません。
出願期間	1998年1月6日（火）～22日（木）締切日消印有効	1998年1月6日（火）～26日（月）締切日消印有効	1998年2月13日（金）～24日（火）締切日消印有効	1998年1月6日（火）～29日（木）消印有効
合格発表	1998年2月6日（金）	1998年2月18日（水）	1998年3月12日（木）	1998年2月18日（水）

1998年度入学試験概要

◎1998年度入試制度の変更点

◇商業科対象推薦入学において、第2部の推薦制度を導入します。

【募集人員】

経済学部　第2部　10名
経営学部　第2部　10名

◇一般入試の募集人員を変更します。（第2部のみ）

【B方式（3教科）入試】

経済学部　100→90名
経営学部　100→90名

◎一般入学試験概要・推薦入学募集概要

別頁の表をご参照ください。

◎推薦入学（指定校）説明会の開催

入試部では普通科対象推薦入学説明会と同女子高等学校指定校説明会に、推薦依頼校288校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。

〔普通科対象推薦入学説明会〕

6月25日（木）高松市
高松グランドホテル
徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象　13校

6月26日（木）岡山市
ホテルニューオカヤマ
岡山・広島・島根各県の高等学校対象　29校

7月3日（木）神戸市
神戸東急イン
兵庫県の高等学校対象　77校

7月7日（月）京都市
新都ホテル
京都・滋賀・福井・石川・富山各県の高等学校対象　45校

7月8日（火）大阪市
東洋ホテル
大阪・奈良・和歌山・三重各県の高等学校対象　94校

〔女子高等学校指定校説明会〕

7月11日（金）大阪市
東洋ホテル
富山・石川・愛知・三重・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・山口・愛媛各県の女子高等学校対象30校

1998年度推薦入学募集概要

	特技（スポーツ）推薦入学	商業科対象推薦入学	普通科対象推薦入学（指定校制）
募集学部・人員	経済学部　第1部　35名 経営学部　第1部　20名 経営情報学部　15名	経済学部　第1部　20名 経営学部　第1部　40名 経営情報学部　20名 経済学部　第2部　10名 経営学部　第2部　10名	経済学部　第1部　155名 経営学部　第1部　75名 経営情報学部　55名 ※経済学部155名のうち20名は女子高等学校に推薦を依頼
選考方法	①書類選考　②小論文　③面接	①書類選考　②小論文	①書類選考　②小論文
出願期間	'97年10月30日（木）～11月6日（木）締切日消印有効	'97年11月20日（木）～28日（金）締切日消印有効	'97年11月20日（木）～28日（金）締切日消印有効
選考日・会場	'97年11月14日（金）　本学	'97年12月7日（日）　本学	'97年12月7日（日）　本学
合格発表	'97年11月22日（土）	'97年12月13日（土）	'97年12月13日（土）

KEIDAI CAMPUS '97 経大キャンパス'97

今年のキャンパス見学会（受験生のための大学見学会）は、7月22日（火）にActⅠを実施し、9月27日（土）にActⅡを行いました。

見学会当日は、遠くは神奈川、静岡、山口、徳島など各地から過去2番目となる多くの受験生や保護者が来学し、ミニ講義に始まる一連の楽しいスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。（参加者785名）

就職

◎1997年卒業生就職状況

リストラの一段落とゆるやかな景気回復のもとで始まった1996年度の就職戦線は、バブル崩壊後の就職氷河期から、ひさびさに企業の採用意欲も高まり、活気がもどりました。本学への求人件数も、前年度の3、171社から3、509社と約10%増加しました。就職率も98・1%と、前年度の96・2%を上回り、求職希望者1、298名のうち1、278名が決定し、積極的に就職活動を行った学生はほぼ全員就職が決まりました。就職先を企業規模別にみますと、大企業への就職率が前年度の23・8%から32・2%と大幅に上昇しました。

このように就職状況が前年度と比べて好転したとはいえ、通年採用や秋採用の実施、インターネットによる求人など、採用活動に変化がみられ、一部ではそれに対応した就職活動が求められています。就職部では、'98年度から就職資料室にインターネット用パソコンとプリンターを備え、学生が利用できるよう準備をすすめています。

【業種・規模別就職状況】 （1997年4月1日現在）

業種	人数	規模 大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
農林・水産・鉱業	1	0	0	1	0	0
建設業	64	19	17	28	0	0
製造業	233	76	68	88	0	1
卸売業	301	65	100	134	2	0
小売業	239	88	84	65	1	1
金融・保険業	128	93	31	1	0	3
不動産業	21	10	5	6	0	0
運輸・通信業	55	18	19	16	0	2
サービス業	186	41	37	84	1	23
公務	45	（国家17　地方28）				
その他	0	0	0	0	0	0
合計	1,273	410	361	423	4	75
構成比(%)	100.0	32.2	28.4	33.2	0.3	5.9

【地域・規模別就職状況】 （1997年4月1日現在）

		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
北海道・東北		3	1	0	0	0	4
関東	東京	122	54	33	0	4	213
	その他	11	4	4	0	1	20
中部		13	19	14	0	2	48
北陸		1	6	7	0	2	16
近畿	三重	0	1	5	0	1	7
	滋賀	1	8	6	0	7	22
	京都	9	12	25	0	1	47
	大阪	157	179	204	2	36	578
	兵庫	52	42	72	1	8	175
	奈良	7	1	7	0	4	19
	和歌山	3	1	10	0	2	16
中国		15	15	20	1	3	54
四国		12	16	9	0	4	41
九州		4	2	7	0	0	13
合計		410	361	423	4	75	1,273

※大企業:資本金10億以上　中堅企業:資本金1億以上10億未満　中企業:資本金1千万以上1億未満
小企業:資本金百万以上1千万未満　規模不明:資本金で分類できない企業

【おもな就職先】 （1997年4月1日現在）

【建　設】	日本デジタル研究所	ダイエー	千代田火災海上保険
大林組	スズキ	チェーンストアオークワ	富士火災海上保険
大和ハウス工業	本田技研工業	天満屋ストア	三井火災海上保険
川崎設備工業	三菱自動車工業	マイカル	日本生命保険
日比谷総合設備	アマノ	ライフコーポレーション	明治生命保険
栗原工業	川重防災工業	マツヤデンキ	オリエントコーポレーション
【製　造】	アロン化成	三城	【運輸・通信】
加ト吉	タイガースポリマー	ファミリーマート	伊勢湾海運
かどや製油	【卸　売】	ミドリ電化	岡山県貨物運送
デサント	バーカーコーポレーション	愛眼	神姫バス
ラピーヌ	加藤産業	【金融・保険】	センコー
タカラスタンダード	帝人商事	阿波銀行	西日本鉄道
東罐興業	内外衣料製品	池田銀行	日本運輸
ゼンリン	ワールド	香川銀行	フットワークインターナショナル
関西廣済堂	クラヤ薬品	近畿銀行	日本電信電話
凸版印刷	三星堂	高知銀行	【サービス】
四国化成工業	日本商事	さくら銀行	タナベ経営
大陽東洋酸素	東洋エクステリア	四国銀行	ダイワボウ情報システム
テイサン	小林産業	せとうち銀行	日本ビジネスコンピューター
北興化学工業	杉本商事	泉州銀行	大日本コンサルタント
三ツ星ベルト	ワキタ	但馬銀行	ホテルニューオータニ
アサヒ衛陶	亜土電子工業	中国銀行	ホテルプラザ
栗本鐵工所	泉州電業	トマト銀行	大和工商リース
日立金属	立花商会	奈良銀行	東海リース
アルインコ	フォーバル	南都銀行	【公　務】
SMC	菱電商事	びわこ銀行	大阪労働基準局
三和シャッター工業	コンドーテック	福徳銀行	建設省近畿地方建設局
トステム	矢崎総業	尼崎信用金庫	東京国税局
前澤給装工業	イトーキ	大阪市信用金庫	郵政省近畿郵政局
セガ・エンタープライゼス	ダイワラクダ工業	十三信用金庫	滋賀県庁
大和冷機工業	バンダイ	相互信用金庫	愛知県警察本部
鶴見製作所	【小　売】	播州信用金庫	大阪府警察本部
福島工業	イズミ	ひめじ信用金庫	滋賀県警察本部
アイコム	関西スーパーマーケット	大阪商業信用組合	兵庫県警察本部
トーキン	京都近鉄百貨店	新潟県信用組合	
日東電工	ジャスコ	大和證券	
日本電気工業	生活協同組合コープこうべ	日興證券	

SEMINAR REPORTER

ゼミ短信

閑中忙あり

家近良樹先生

今年の夏は、来年のNHKの大河ドラマが徳川慶喜を主人公とするとのことで、複数の出版社から頼まれております。徳川慶喜に関する駄文を暇をみつけては記しております。お目にとまれば読んで下さい。また来年の1月には、吉川弘文館から『浦上キリシタン流配事件』という題名の書物を歴史文化ライブラリーの一冊として出します。これは初刷がかなりの部数となるので、是非ご購読のほどお願い申し上げます。以上のような状況ですので、私には夏休みといえるものが全くありません。しかし、考えてみればこれは大変有り難いことだと感謝しております。皆様のご活躍をお祈りしております。

（日本史）

環境問題に取り組む8人の侍

稲場紀久雄先生

自主的に環境問題を学びたい、という学生諸君8人の熱意が実って、7月17日経大生協の中に『環境・リサイクル委員会』が設置されました。以下はその経緯。

私の教養ゼミでは昨年『経大周辺地域グリーン・コンシューマー・ガイド』を作成しました。このガイドは、経大では初めて作成されたものです。配付部数は、わずかでしたが、それなりの反響がありました。今年も昨年の経験を踏まえ、さらに充実したガイドを作ろうと作業に入っています。一連の作業過程から現2年生と1年生の連帯が生まれ、8人の侍が誕生しました。私も特別委員として参加しています。活動が軌道に乗り、連帯の環が広がるように、側面的に応援してやって下さい。

（生命の科学）

思い出は皆さんとともに

上田　慧先生

この4月から同志社大学に移籍しました（多国籍企業論特講担当）。経大では木曜日に非常勤でゼミ・講義を継続しています。後輩の就職は良好。1部ゼミ生は卒論の取り組みも早く、2部のゼミは緊張感に溢れいずれも活発です。

私の方は、移籍前に腎結石で入院、交通事故が重なり、軽微とはいえ、まさに激動の時期でしたが、公務に大きな穴を空けることなく乗り越え、以前より元気になりま

先生の近況

傘壽を迎えて

井上　清先生

井上ゼミ出身者の諸君、引続き元気に活躍されていることと推察しています。小生も80歳を迎え、今のところ元気に過ごしていますので御休心下さい。しかし、高齢故に健康維持に最大の注意を払っています。一言にしていえばバランスある生活、具体的には運動（サイクリング）、歌唱、読書、食事（特に重要）など総合的にバランスをはかって健康を維持しつつ、社会・経済の法則的な動きを凝視しています。そして本学の創始者黒正博士の名言「道理貫天地」を座右の銘にして確信ある生活を送っています。本ゼミは出身者千名以上、年齢構成30歳～70歳にわたる古くて多彩なゼミですが、それぞれの年齢に応じて各人が健康で道理ある生活を送られるよう期待します。

私の近況

伊豫田隆俊先生

伊豫田ゼミOBの皆さん、お元気ですか。私は先日ロタ島に家族旅行に行ってきました。海が大変きれいで感動ものでした。夏休み前まで学会開催の準備や研究会の夏合宿の手配など、雑用に追い回されていてストレスがたまりぎみだったので、ちょうど良い休養になりました。今度はプーケット島にでも行こうなどと、気の早いことを考えています。

また機会があれば飲み会やりましょう。昨年末に一回卒業生と飲み会に行ったきりなので、いささかさびしいです。おそらく皆さんの方が忙しいでしょうし、講義中では絶対に見られない学生たちの真剣な眼差しと気迫、それを支えておられるOBの方々の熱意に触れ、本学に着任したときに感じた「伝統」の一端を垣間見た気がしました。

私が専門とする情報処理分野では、「3年ひとむかし」といわれるほど技術が目まぐるしく変化しますが、今の学生気質に通じるところがありそうです。良く言えば「先取」の気質ですが、それだけでは根っこのない浮ついたものになりがちです。しかし、これが本学の「伝統」とうまく融合されたとき、大きな力の源となるように思います。

（情報処理実習）

暑中御見舞

鯉田勝巳先生

卒業生の皆様如何お過ごしですか。私は63歳を過ぎ相変わらず早朝テニス・長唄をやっています。経大では大学院の税法学を担当（昨年より）しています。税理士法改正案が税理士会から発表され、いずれ何らかの影響が出ると思います。今後1・2年の間に集中的に勉強される事をおすすめします。若い間の集中力は、その気になれば大きな効果が生まれますし、年寄れば良き思い出ともなります。一時の辛抱です。頑張って下さい。

（会計監査論）

伝統との出会いを大切にしたい

草薙信照先生

この春、経営情報学部の新設とともに着任しました。縁あって、7月からは剣道部の顧問をしております。講義中では絶対に見られない学生たちの真剣な眼差しと気迫、それを支えておられるOBの方々の熱意に触れ、本学に着任したときに感じた「伝統」の一端を垣間見た気がしました。

私が専門とする情報処理分野では、「3年ひとむかし」といわれるほど技術が目まぐるしく変化しますが、今の学生気質に通じるところがありそうです。良く言えば「先取」の気質ですが、それだけでは根っこのない浮ついたものになりがちです。しかし、これが本学の「伝統」とうまく融合されたとき、大きな力の源となるように思います。

（情報処理実習）

暑中御見舞

鯉田勝巳先生

卒業生の皆様如何お過ごしですか。私は63歳を過ぎ相変わらず早朝テニス・長唄をやっています。経大では大学院の税法学を担当（昨年より）しています。税理士法改正案が税理士会から発表され、いずれ何らかの影響が出ると思います。今後1・2年の間に集中的に勉強される事をおすすめします。若い間の集中力は、その気になれば大きな効果が生まれますし、年寄れば良き思い出ともなります。一時の辛抱です。頑張って下さい。

（会計監査論）

最終回のゼミ（2部）を迎えて

杉山　襄先生

昭和40年より生産（2部）の講義、昭和43年よりゼミ（2部）。平成10年3月に28回目の卒業生を送れば最終です。

卒業生の方々の益々のご発展を祈ります。

（生産管理論）

庭の石

田渕　進先生

阪神大震災は多くの人々の運命をくつがえすこととなった。私の場合、くつがえされないまでも少なからぬ影響を受けた。幸いその影響は悪い方より良い方が大きい。今までの西宮では近代的マンションに住み慣れ、直接の被災もまぬがれていた。しかし、神戸にあった生家は老朽化のため損傷大きく取り壊しとなった。再建復旧の仕事を私が受け持つこととなり、小さいながら我が家を建てた。4月からこの地に住んでいる。

縁先にあった庭の石は記念のために残したものだが、車の出し入れの邪魔になる。まわりを掘って埋めようとしているがなかなか動かない。力を貸してくれる人がいれば一報を乞う。

住所：〒651 神戸市中央区熊内町5―2―32

電話：231―6520

（経営学総論）

教師のなげき

高寺　貞男先生

教えて反応なく、会して対話なり立たず、壁に向かって話す講義やゼミに心身とも消耗するばかり。と、ぼやきながら、そういう自分にうんざりしつつ、あいも変わらず、大学と自宅の間の往復運動を繰り返しています。

（会計情報システム論）

教育改革のゆくえ

高津芳則先生

1997年1月、橋本首相の6つの改革構想のひとつに、教育改革がふくめられた。新聞報道では、その背後に中曽根元首相の意向があったとも報じられている。保守的政治家たちは、1980年代の臨時教育審議会による教育改革の中でなしえなかったことがらに対して、あくまで執着しているようだ。それは、義務教育段階からの多元的競争秩序を基本にする教育改革と、憲法改正と連動する教育基本法の改正、である。雇用制度の変革とつながるこの教育改革のゆくえは、いっそうの貧富の差の拡大と教育困難をもたらすであろう。自分の息子（4歳）の未来のためにも、阻止しなければ。

（教育行政学）

夏合宿に行きました

土居充夫先生

この夏休み、1泊2日で、3年経営学部のゼミ合宿を行いました。場所は、和歌山県有田郡にある国民宿舎「湯浅城」です。ボール遊びや花火で大いに楽しみました。そして圧巻は奇術部出身という男子学生の手品！　一般のお客さんもたくさんいる夕食時の食堂でヤンヤの喝采を受けたのでした。

勉強はしなかったのか、とお叱りの声が聞こえそうです。ちゃんとやりましたよ。テーマは「働くということ」。就職活動が忙しくなれば大きな効果が生まれますし、年寄れば良き思い出ともなります。一時の辛抱です。頑張って下さい。

（会計監査論）

最終回のゼミ（2部）を迎えて

杉山　襄先生

昭和40年より生産（2部）の講義、昭和43年よりゼミ（2部）。平成10年3月に28回目の卒業生を送れば最終です。

卒業生の方々の益々のご発展を祈ります。

（生産管理論）

庭の石

田渕　進先生

阪神大震災は多くの人々の運命をくつがえすこととなった。私の場合、くつがえされないまでも少なからぬ影響を受けた。幸いその影響は悪い方より良い方が大きい。今までの西宮では近代的マンションに住み慣れ、直接の被災もまぬがれていた。しかし、神戸にあった生家は老朽化のため損傷大きく取り壊しとなった。再建復旧の仕事を私が受け持つこととなり、小さいながら我が家を建てた。4月からこの地に住んでいる。

縁先にあった庭の石は記念のために残したものだが、車の出し入れの邪魔になる。まわりを掘って埋めようとしているがなかなか動かない。力を貸してくれる人がいれば一報を乞う。

住所：〒651 神戸市中央区熊内町5―2―32

電話：231―6520

（経営学総論）

教師のなげき

高寺　貞男先生

教えて反応なく、会して対話なり立たず、壁に向かって話す講義やゼミに心身とも消耗するばかり。と、ぼやきながら、そういう自分にうんざりしつつ、あいも変わらず、大学と自宅の間の往復運動を繰り返しています。

（会計情報システム論）

教育改革のゆくえ

高津芳則先生

1997年1月、橋本首相の6つの改革構想のひとつに、教育改革がふくめられた。新聞報道では、その背後に中曽根元首相の意向があったとも報じられている。保守的政治家たちは、1980年代の臨時教育審議会による教育改革の中でなしえなかったことがらに対して、あくまで執着しているようだ。それは、義務教育段階からの多元的競争秩序を基本にする教育改革と、憲法改正と連動する教育基本法の改正、である。雇用制度の変革とつながるこの教育改革のゆくえは、いっそうの貧富の差の拡大と教育困難をもたらすであろう。自分の息子（4歳）の未来のためにも、阻止しなければ。

（教育行政学）

夏合宿に行きました

土居充夫先生

この夏休み、1泊2日で、3年経営学部のゼミ合宿を行いました。場所は、和歌山県有田郡にある国民宿舎「湯浅城」です。ボール遊びや花火で大いに楽しみました。そして圧巻は奇術部出身という男子学生の手品！　一般のお客さんもたくさんいる夕食時の食堂でヤンヤの喝采を受けたのでした。

勉強はしなかったのか、とお叱りの声が聞こえそうです。ちゃんとやりましたよ。テーマは「働くということ」。就職活動が忙しく

夏休み閑話（2）

大槻裕子先生

今年は5月末の1週間だけ。ワイマルに行く機会に恵まれた。だが授業期間中のことて、今回はゲーテ協会の総会に出席するだけにしてそそくさと引き上げてきた。久し振りに訪れたワイマルは今や1999年の世界文化遺産登録に備え、老朽化した街全体は修復中でそれこそ引っ繰り返っていた。ところで、今年の夏休みは滅法忙しかった。書評依頼を受け、本読みを入れて1カ月足らずで仕上げねばならず、その間にも雑誌掲載用の原稿（論文4本、翻訳と書評がそれぞれ1本ずつ）が次々と送られてきて、それらに朱を入れるのに追われに追われた。かくして気がつけば、反面自分自身としてはまとまったことが何もできていず、幾分浮かない気持ちである。

（ドイツ語）

伝統との出会いを大切にしたい

草薙信照先生

この春、経営情報学部の新設とともに着任しました。縁あって、7月からは剣道部の顧問をしております。講義中では絶対に見られない学生たちの真剣な眼差しと気迫、それを支えておられるOBの方々の熱意に触れ、本学に着任したときに感じた「伝統」の一端を垣間見た気がしました。

私が専門とする情報処理分野では、「3年ひとむかし」といわれるほど技術が目まぐるしく変化しますが、今の学生気質に通じるところがありそうです。良く言えば「先取」の気質ですが、それだけでは根っこのない浮ついたものになりがちです。しかし、これが本学の「伝統」とうまく融合されたとき、大きな力の源となるように思います。

（情報処理実習）

暑中御見舞

鯉田勝巳先生

卒業生の皆様如何お過ごしですか。私は63歳を過ぎ相変わらず早朝テニス・長唄をやっています。経大では大学院の税法学を担当（昨年より）しています。税理士法改正案が税理士会から発表され、いずれ何らかの影響が出ると思います。今後1・2年の間に集中的に勉強される事をおすすめします。若い間の集中力は、その気

なる前に、腰をすえて考える機会を持ちたかったのです。多くの学生はピンとこない様子でしたが、将来わかるときがくるでしょう。

（政治学）

スウェーデンで自分を見つめ直す

長岡延孝先生

昨年度、本学の長期在外研究のチャンスを得て、スウェーデンで環境政策と産業政策にかんして、研究を行うことができました。まだまだやり残したことがありましたが、非常に貴重な経験をさせていただいた皆様に、心から感謝しております。

スウェーデンは自然が多く、人々はその中で悠々と生活を送っています。人々は日々の生活で時間的なゆとりを持っていて、あくせくしたところが全くありません。この中に自分を置くと、他人に対して自然と優しくなっていることに気がつきました。社会のリズムや雰囲気が違うと、同じ人間も大きく変わるものだな、とあらためて社会と個人、自然と個人の関係について考えこんでしまいました。

（経済政策）

今年もスポーケン市から

中川　操先生

お元気ですか。今年も語学研修の地スポーケンでこの原稿を書いています。5月には森本君夫妻が国際経営学修士学位を、西口君が2つ目の修士学位（会計学）を取得しました。現在後続のゼミ卒生はいません。今度は頑張って博士学位をとってほしいです。

8月17日に語学研修生29名は無事帰国しましたので、カナダのフランス語圏ケベック市に行ってきました。石畳と坂の古いヨーロッパを残した美しいところでした。英語が通じなく、古いフランス語に悩まされましたが、思いがけず鯨の大群を見ることができ天候にも恵まれ最高の旅行を楽しむことができました。2000年の1年間の留学が決まりましたので実りの多い1年を過ごすために準備中です。お手紙を待っています。

住所：〒662　西宮市甲陽園東山町4―12
電話：0798―74―1378
FAX：0798―74―1557

（英語）

病と闘ってます

永野　仁先生

7月9日（水）午後1時前、B館の廊下で足を滑らし、転倒。右肩脱臼ならびに骨折。入院22日間。目下、リハビリ中です。幸い、手術なしでしたので、ありがたいことです。

今年3月5日、61歳。気は今も25歳です。日本文学Ⅱ（おくのほそ道）、文章表現（これが大変！）、教養演習（1回生対象、「きけわだつみのこえ」）の3科目を担当。とても忙しい。それに、今年度中に『岸和田市史・近世編』の原稿（文化・教育・宗教）を書き上げねばなりません。それに、わだつみ会副理事長としての仕事があります。私の憩いはジャズのライブを聴くことと美術展を観に行くことで、まあケッコウ遊んでる！ということになりましょうか。

（日本文学Ⅱ）

サバイバル戦略を模索中です

濱本　泰先生

久しぶりに発信いたします。濱本ゼミOBの皆さんお元気ですか。私も元気に教育・研究に頑張っております。私も67・8歳になりましたが、あい変わらずゼミ生にはハッパをかけております。本年12月上旬には九州産業大学で「ベンチャー・ビジネス」について研究報告します。よろしくご支援下さい。

昭和50年、51年と経営学部長の役割を果たし、その後、広報部長や大学院委員長に就きましたが、本年4月から22年ぶりにまた、経営学部長に就任しました。大学をめぐる環境がきびしくサバイバル戦略を模索しております。良き知恵がありましたらお教え下さい。母校のために絶大なるご支援をお願いします。

（経営学）

林ゼミ卒業生の諸君へ

林　遵先生

元気で御活躍中のことと思います。本年度のゼミは4年生が12名、3年生が17名、2年生が26名の計55名体制です。

大幅に増加したのは、昨秋から硬式野球部の顧問をしているからです。春は準優勝でしたが、秋には優勝を目指しておりますので応援よろしくお願い致します。

今年も夏期合宿は2・3年次合同で琵琶湖リゾートクラブで行います。自由論題報告なので、なかなか楽しいです。

第2期生の方は卒論に挟み込んである葉書で近況をお知らせ下さい。卒業式のときの写真をお送りします。目下のところ返信は20名中4名と寂しいです。

それではまた。再会できる日を楽しみにしています。

（経済原論Ⅰ）

わがゼミ生は個性派揃い

間野嘉津子先生

今年初めてゼミから卒業生が出ます。全員個性的で自由を愛するヒューマニストです。就職難と言われながら案外順調に決まって行きそうで一安心というところです。後は、どんな卒論が出来上がってくるのか楽しみにしているところです。

後に続くゼミ生もユニークな人が多く、わがゼミのどうやら伝統となって行きそうです。しかも仏検にも挑戦しようと勉強もし、フランス文化の研究もすると言う、まことに意欲的なメンバーが集まっています。私もほかに「ヨーロッパ文化論」（Ⅰ・Ⅱ部）を担当し、大忙しのこのごろです。

ところで最近経大のキャンパスは明るく活気が出てきました。それはきっと女子学生が増えたこと、その影響を受けて男子学生がスマートに、おしゃれになってきたからでしょう。機会があれば一度訪ねてきて下さい。

（フランス語）

またお会いしたいものです

松原和男先生

アジアとアメリカの好景気にも「かげり」が見え、日本経済はかなり苦しくなってきたようです。そんななかでも、元気でご活躍のことと存じます。

このところ多忙続きでしたが、昨年の晩秋に1979年卒のゼミ生諸君と讃岐の琴平で一夕の集いをもちました。当時のゼミ生の過半数が参加するという盛況で、多くの諸君とは15年ぶりの再会でしたが、卒業以来という人もいて、懐かしく愉しいひとときを過ごすことができました。翌朝、諸君と金比羅山に登りました。流石に奥の院へは遠慮しましたが、本宮までの石段は難なく登ることができましたので、「まだまだ今時の若

田中健一先生

私は老妻のラストステージを誤ったか

私事なので迷ったのですが、後学のためと執筆ご寛恕下さい。実は私、昭和63年退職後、故あって老夫妻で現市で大震も微災で免れ、その節も随分お世話になりました。老妻がA型痴呆、左手首骨折、両脚弱で入院・在介を9年間繰り返してきました。もちろん、市高年福祉課の並々ならぬ御協力を得てでした。昨年9月○○施設入浴が因で、老妻が脳梗塞余病のため、食事不能、鼻孔法をきらうので胃瘻手術をうけ、ハーモニックMのみ流入の植物人間（？）とさせたのです。知的・意思的・言語的能力はなく、わずかに視覚的・感情的能力のみ残っていたか。から、私が皆さんの日程に合わせますので、ぜひ連絡下さい。それでは連絡待ってますので。

去る7月12日、例のように唇の乾燥を湿すべく少量の薄茶水をガーゼに含ませ与えたが、既に吸飲力なく吐き出したのが静かな安楽終末でした。このラストステージの在り方・入浴の結果か・胃瘻術・薄茶の与え方等が、私の失策か、老妻の天寿だったといえるのか？　修道不足な老生の、今もて悩まされているところなのです。

平　寛先生

短歌的デッサン

生きているまだ生きているやつは
厚かましくも馬齢を重ね
てやんでえそう簡単にくたばらぬ
俺は砂漠のフェニックスだ
死神がおいでおいでと手招きす
誰が行くかね婆婆がいいよ
ご挨拶ネあたしは女の死神よ
そう言わないで早くおいでよ
それじゃと甘い言葉に乗せられて
冥府行へと洒落こみたり
来て見れば驚きももの木山椒の木
冥土にも今艶めくハレム

い者には…」と、当分老害を振りまくつもりです。
皆さんとも、またお会いしたいものです。
（経済変動論）

モノはどこで作られるのか

松村文武先生

ゼミOB・OGの皆さんお元気ですか。別冊宝島の322号に河合塾が「学問の鉄人・大学教授ランキング」を特集し小生を国際経済論の中で取り上げました（97年7月発行）。大学別偏差値によらない大学選びの時代の情報提供だというのです。少子化対策の一つの方向だそうですがいかがでしょう。それにしても神戸の事件などで改めて日本の精神構造が問われているように思います。落ち着いて研究していられない雰囲気がただよっていますが、何とか来春には新著『国産の国際経済学―モノはどこで作られるか』の刊行にこぎつけるべく悪戦苦闘しているところです。皆さんも身のまわりをもう一度点検して新しい世紀に向かうようにして下さい。
（国際経済論）

北京・上海、旅のメモ

六浦英文先生

今夏、「大阪経済大学夏期中国語語学研修」後半付添者として、北京の首都経済貿易大学と上海にて2週間を過ごしました。
授業は懇切丁寧で実践的。北京はデッカイ京都。車と自転車と人の波。郊外の並木道に魅せられる。八達嶺「万里の長城」北四楼に登っての感想。この長城の意味について、F・カフカの見解に遠くおよばずりしことを再認識する。
上海にて。魯迅先生は『コンサイス英和辞典』、『広辞林』も蔵せり。東方明珠電視塔から眺めた人口1600万人の巨大都市上海の風景に圧倒される。開発ラッシュと朝夕の交通渋滞。タクシーの運転手が上海語でぼやく。彼の気持ちがわかる。オモロイ。上海はどことなくわが大阪に似ていました。
（ドイツ語）

時の流れ

吉井康雄先生

先日、娘の友人が我が家を訪ねてくれたときのことをお話したいと思います。彼女たちは小学校時代に遊んだ学校や思い出の池などを1日散策、夜は夜ですでに11時、思い出はまだまだ尽きなかったようです。娘達の回想にふれて、何とあきれることやビックリすることの多いことか、嬉々とした娘達の表情に、あらためて、しみじみと「時の流れ」の包容力の大きさを考えさせられた次第です。どのような「時の流れ」が、どのような「人生の方向」に誘ってくれるのだろうか。常に主体者を宿命づけられているモノにとっては、その時々を、心構えを、役割を、どのように知り、どのように在るべきなのだろうか。「時の流れ」が今、私に語ろうとしていることは。
（情報管理論）

変わりありませんか！

渡辺　泉先生

渡辺泉ゼミ卒業生の皆さんお変わりありませんか。第1期生の諸君は、卒業してもう20年が経とうとしています。それぞれが皆、社会の中枢で活躍されていることと思います。
大学院の時からずっと、損益計算の発展を追いかけてきましたが、ここ2年程、資金計算の生成過程の分析を中心に行っています。秋の会計史学会で依頼を受けた記念講演のテーマも、キャッシュ・フローの歴史を選びました。なんとか3年を目途に一冊にまとめてみたいと願っています。
大学の方も9月には新校舎が落成し、随分ときれいになると思います。一度是非、母校に足を運んで下さい。青春時代がきっと懐かしく想い出されますよ。
（財務会計論）

老若の死菩薩さまワンサたり
娑婆のまろうど大歓迎と
シースルーすけすけルックの女たち
群がり来たり我を囲みぬ
懸命に媚態の限りつくせども
プンと鼻つく死臭にたじたじ
経大の皆さん方にお勧めを恋歌
詠めば長生きします

小さな一歩

竹本 洋先生

21年間お世話になった経大を離れ、この4月から関西学院大の経済学部で働いています。新しい職場は、緊張と経大では経験しなかった仕事とを小生に求めていますが、これも自分自身の糧にしたいと思っています。
今にして思えば、経大は自由な大学でしたが、それは放縦と無責任さとの紙一重のところで支えられているようにも思われます。経大の発展・飛躍を祈念しながら、小生も小さな一歩を踏み出そうとしています。

ゼミOB会

参加希望者は連絡されたし

井上先生　清壽会文化サロン

96年後半～97年前半にかけ清壽会文化サロンを3回開催する。22回9月14日 ウォータータワープラザ40階で、豪州旅行報告を聞く。OAP38階で晩餐、歓談する。16人参加した。23回4月6日 桜之宮公園で雨だったが満開の桜狩りを満喫した。そのあとOAP38階で晩餐、歓談する。17人参加があった。24回6月14日 神戸異人館街界隈を散歩後、セントジョージ館で『大阪府漁業史』編纂を終えての報告を聞き、晩餐を共にし、歓談する。12人参加した。
☆清壽会会員等で、参加希望者は事務局まで連絡されたし。
事務局：〒553　大阪市福島区野田5―2―8　酒井亮介
電話：06―462―5979
酒井亮介（15）

真夏のタベ「汗かきの2人」

倉春会

今年も7月12日（土）夕方から恒例の倉春会を開催できました。ただ、例年と異なり、世話人2人が開始時刻に間に合わず、T先輩、M先輩をはじめ参加者の皆様の心あたたかい計らいで、アットホームな雰囲気で、無事進めていただけたようで、世話人としては、冷や汗をかきつつ、頭もかきながらの会場入りでした。
参加者全員の3分間スピーチを聞く間も、申し訳なさそうに末席で小さく？なっていたのですが、倉辻先生をはじめ先輩の皆様のあたたかいお心が、じわっと感じられ、ほんとうに素晴らしいゼミに入れていただいた幸福を改めて痛感した一夜でした。ほんとうにありがとうございました。来年はしっかり務めます。
吉村元伸（40）

5年以内にまた会いましょう！

上島武ゼミOB会

1997年9月6日、大阪・十三の相撲茶屋で、上島武ゼミ同窓会を開きました。
ゼミの同窓生全員に案内を差し上げましたが、住所の不明な人が

多く、当日は先生を含めて14名の参加となりました。

しかしながら、37期卒の方から、59期卒の方まで幅広く出席いただき、初めてお会いする方も多く、有意義な時間を過ごすことができました。席上、同窓会から先生に記念品の贈呈があり、その後、上島先生から出席者に対し、先生の近著『ソ連崩壊史～ペレストロイカの教訓～』（発行：窓社）を1冊ずつ手渡していただきました。

久しぶりに手にする"かたい本"に、同窓生一同「よし、さっそく読破するぞ！」と、ほろ酔い気分で心に誓いました。

12年ぶりの同窓会でしたが、今度はせめて5年以内に開こうという強い要望が出され、またの再会を誓い、散会しました。

中山正樹（45）

TOPICS ●トピックス●

◆近畿税理士会神戸支部長に就任◆

本学13回卒、大城戸武子氏が平成9年6月に近畿税理士会神戸支部長に就任されました。

氏は、昭和22年3月に大阪経済専門学校を卒業後、昭和33年7月より税理士を開業され、昭和54年から55年にかけては、近畿税理士会理事として活躍、平成8年7月より大阪経済大学税理士会大樟会会長、国際ソロプチミストアメリカ、日本中央リジョントレジャラーに就任され、また、全国婦人税理士連盟相談役、神戸商工会議所婦人会設立準備会幹事でもいらっしゃいます。多忙な中の今回の要職の就任、ますますご活躍が期待されます。

◆日本ラグビー日本代表A選抜◆

栢本和哉

1970年生まれ、和歌山県出身。1994年本学卒業後、近畿日本鉄道（株）入社。
現在、近鉄不動産販売（株）に勤務。

本学、ラグビー部OBの栢本和哉氏（60）が日本代表Aに選ばれ、4月に対NZU戦で活躍されました。

日本代表Aに選出されての感想は『今まで、全然、無縁でしたので驚きました。また、これを機に日本代表に選ばれるようにがんばろうと思いました。日本代表Aでは、いろいろなプレーを勉強させていただいたので、それを近鉄に取り入れようとしています』とのこと。

話題の同窓生

稲原先生との旅行

私と稲原先生との出会いは、交通論ゼミの面接が最初でした。

しかし、あの出会いが、私の大学生活のすべてであったような気がするのは、何故だろうと思い出してみることにしました。

ゼミの進め方や先生の講義の研修と共に、ゼミ全体の仲間同士で遊ぶことを話し合い、沖縄に行くことが決まりました。確か経大で最初のパスポートのいるゼミ旅行だったと思っています。先生がやるなら新3回生もどうだと言われ、卒業間近の4回生もということになり、大旅行の企画となりました。1、2部合同でしたから、それは大変な作業となりました。私に限って言えば、父が船舶関係の仕事をしていたので、先生から「段取りをすべてやるように」と言われ、忙しい思いをしましたが、有意義に日を送ることができました。大阪から急行「しろやま」の夜行列車で西鹿児島へ、船で沖縄へと。何せ学生とはいえ7日間の旅が2万円でできました。

4回生の先輩が宿泊ホテルに飛び込んで来て、「ただ乗りをした」と言われた時の稲原先生の呆れ顔は今も思い出されます。

稲原ゼミの学生たちとの連絡を吉村氏（35）がよくとってくれて、合同ゼミを企画したことも心に残る思い出です。経大50周年の記念館「同窓会館ホール」での初めてのゼミの会は、「イロハ」順で稲原ゼミからと私が言い出し、35期生の在阪の皆さまの努力で成功しました。「またやろうな」と言って別れて以来そのままになっているのが気掛かりです。

95年1月11日、堺の労災病院に先生をお見舞いしました。「元気になったら鹿児島に旅行しよう」と言われたので、嬉しく思い、現実になったらどこへどう行こうと心が弾みました。しかし、その1週間後に阪神大震災の報を聞き驚き、お見舞いが地震の日だったらと思い、人生の運命を感じたのも今では思い出の一つです。

1年後、96年2月、先生からいただいたお便りは、吉村氏と洲本へ行ったという内容でした。そして、鹿児島へも近々行くということも書かれていました。

6月に入ると、吉村氏から、先生が行くという連絡をもらい、早速行程を作りFAXを送りました。

6月21日、関空から鹿児島へ。梅雨でしたが、その日えびの高原を通り、高千穂峰登頂を経て、中国の水墨画を再現するような妙見温泉の豪華旅館に投宿し、夜遅くまで学術論を拝聴することができました。食の進まないという先生があれこれと箸を出していただけたのが幸いでした。

翌22日、霧島神宮から錦江湾沿いに垂水、鹿屋、根占から山川までフェリーで行き、知覧の特攻記念館で涙を流し、指宿の「白水館」に宿することになりました。錦江湾を眺めながら「もう一度ゼミの皆で来てみたいな」と言われましたので、ぜひ、ゴルフを入れて2泊3日で霧島と開聞の旅をしましょうと語り、床へ入りました。

23日、30年ぶりの鹿児島市内の見学をして、空港へお送りしました。

7月と9月にお便りをいただき、余生を御地で送りたくなったと書いてある葉書に、「OB会をぜひやりたいね。大勢の企画をせずともいいのでは」と結んでありました。

稲原先生、楽しいご指導をありがとうございました。私の大学生活は「稲原先生」でした。

前薗博隆（34）

訃報

訃報

藤谷謙二先生をしのんで…

藤谷謙二先生の訃報に接し、通夜のため十数年ぶりかで日置荘の駅を降りることになりました。その間、日経史の野村さんのお骨折りで食事をご一緒させていただいただけで、お会いすることもなかったのです。先生の「思い出」を書くようにとの指示を受けたのですが、そのような資格など私にはないと思います。でも、誰が一番長い間ご迷惑をかけ続けたかを規準にしたと言われれば、他の追随を許さず断然この私であることには自信があり、遠慮なくご指示を受けさせていただいた次第です。

初めて先生にお会いしたのは、昭和45年D館校舎のゼミ教室。我々学生にことさら財政学への勉学意欲があったわけではありませんでした。「来る者は拒まず、去る者は追わず」をモットーに寛容な姿勢の先生。でも、長期欠席者を即決でゼミから追い出してしまうというような筋も通される先生でした。

ゼミの2年目は各自の卒論の中間報告。卒論テーマ選択も自由であり、学生も遠慮なく自分勝手な好みを通していました。田舎が過疎だからと過疎問題を選んだ者まで。それでも先生は「地方財政の観点も入れるように」と注意された程度。論文の質はともかく、全員が真剣に取り組んでいました。大学紛争のケダルさが残る中、自主的に何かに取り組むという余地を与えてくださったのでしょう。

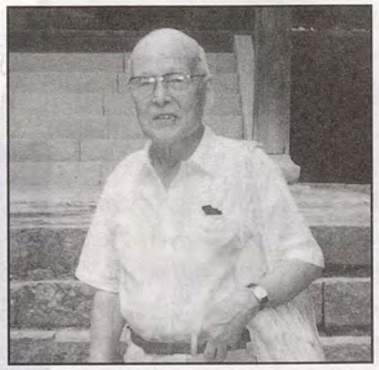
卒業後、私は院生として引き続きご迷惑をおかけしました。私を原因とする某事件によって、先生は大学をお辞めになりましたが、そんな私を破門にもされず、何ひとつ変わることなく接してくださいました。酒が好きで穏やか、誰に対しても優しかった先生。

先生のご冥福をお祈りいたします。合掌

久保田克美（38）

報

創立当時の功労者 武田長太郎先生ご逝去



大阪経済大学の前身、昭和高商創立に際し、黒正巖、菅野和太郎両先生の下に貢献された武田長太郎先生は平成9年9月5日逝去されました。享年96歳。

先生は岡山市出身、京都大学経済学部を卒業され、昭和高商の教授としては交通論、株式論等を講義され、高商を辞められてから一時、ラサ工業に勤務されました。

戦後、岡山に帰省されてからは悠々自適の生活をされ、趣味としては烏城彫に凝られ、写経にも努められる一方、岡山を語る会、古文書を読む会、徒歩の会でもリーダーとして活躍され、幅広い市民活動をされておりました。

大森侃二（6）

事務局だより

会員名簿の発刊延期について

同窓会名簿は原則として5年ごとに発刊することになっていますので、本来なら平成9年度版（平成9年3月の卒業生まで収録し、平成10年3～4月頃に発刊予定）を発刊することになりますが、平成10年2月2日から郵便番号がすべて7桁となりますので、今回に限り1年延期し、平成10年度版（平成10年3月の卒業生を収録し、平成11年初めに発刊予定）を発刊することとなりましたのでお知らせします。

本部役員一覧　　1997.11.20現在

役職	氏名	卒回
会長	萩原　市郎	10
常任相談役	磯野　斉	3
常任理事	玉岡　浩	12
常任理事	前田　悦子	13
常任理事	上野　満里子	14
事務局長	陰下　嘉典	16
常任理事	太田　一澄	17
副会長	水納　敏也	25
（総務・財務担当）		
組織部長	白井　正幸	26
常任理事	車野　修三	27
常任理事	平尾　哲男	28
副会長	津秋　靖博	29
（組織・広報担当）		
組織部副部長	神田　博	30
財務部副部長	中村　敏啓	31
広報部長	波根　伸俊	32
常任理事	森　政彦	33
財務部長	大西　健介	35
総務部長	福元　輝雄	37
総務部副部長	梶村　貞男	37
広報部副部長	大門　由秀	46
名誉会長	渡辺　達好	3
顧問	山上　善彦	2
顧問	長岡　辰生	5
顧問	南部　俊一	9
顧問	桑津　昇	11
監事	長尾　晃	8
監事	福田　耕	16
監事	植村　祐三	32

逍遥歌

作詞　中村行男
（16回卒）
作曲　松川圭一
（15回卒）

1.
此処　城北に迎えたる
紺碧(こんぺき)淀の春の夢
惜春の賦(ふ)のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝(ゆ)きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理(まこと)求めて遊ぶ子の
友愛久遠(くおん)に変るまじ
汝(な)が悲しみに我は泣き
吾(わ)が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春(はる)を

3.
踏めば小草(おぐさ)も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎(まなびや)の乙女子は
生命(いのち)新たな此の曲に
花咲く野山(のやま)花の下(もと)
声美しく歌うかな

学園歌

作詞　黒正巌
（昭和高商初代校長）
作曲　水野康孝
（元本学教授）

1.
商都の東北澱江(でんこう)に
臨みて高く聳(そび)り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧(かて)の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖(とうと)き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標(もとしるべ)

3.
黒煙天をひた蔽(おお)い
船車どよもす八衢(はちまた)を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生(そのふ)

学　歌

作詞　秋本吉郎
（元本学教授）
作曲　栄田南雄
（元放送大学教授）

1.
大淀の　水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原　緑が沁(し)みる
この若さ
希望は明るい　蒼穹(おおぞら)かけて
永遠(とわ)の青春　みなぎる学園
大阪　大阪経済大学

2.
大樟の　蔭は裕々(ひろびろ)
夏風そよぐ
学徒師弟が　幹負いもちて
諸汗(もろあせ)に
確かと植えた　融和の象徴(シンボル)
繋れ自由の　花さく学園
大阪　大阪経済大学

でんこう
澱江
1997

■発行日　1997年12月20日
■編　集　同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話（06）328-2431
■印　刷　凸版印刷株式会社
〒533-8550 大阪市福島区海老江3-22-61
電話（06）454-3256

事務局だより

異動のあったときはただちにご連絡ください。

●住所変更
●呼称変更
（新住居表示となった場合）
●勤務先変更
●所属部課異動
●役職異動
●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申しあげます。

コンピュータシステムの名簿をご利用ください。

同窓会名簿は、現在同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

1、郵便番号による都道府県・市長村別会員名簿作成
2、ゼミ別会員名簿作成
3、卒業回数別会員名簿作成
4、クラブ別会員名簿作成
5、業種別会員名簿作成
6、封筒用漢字ラベル作成

などのアウトプットが可能です。

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！　1、000円にご協力を！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集子一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、ひとふんばり、ふたふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局をご利用になれば振込手数料は不要です）

ご注意

最近、皆さまのお手もとに複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の制作に当たってという名目で、調査カード並びに購入の勧誘が届いていることと思います。この件についてさまざまな問い合わせが寄せられていますが、同窓会本部とは一切関係がありません。

ご承知おきくださいますようよろしくお願い申しあげます。

編集後記

▼「北から南から」に若い人の投稿がふえ、うれしいことです。編集子も若返ります。若い『澱江』を目指して今後ともご協力を！

▼新しい『澱江』が届くともう年末、1年を振り返り、来年はどのような年になるかとページをめくりながら考えるのもいいものです。それにしてもついこの間読んだような気がするのにと思いませんか。

▼光陰矢の如し。本誌の編集に携わって早くも丸3年。4年目を前にして身辺多事。先輩の激励も多々。何事に当たっても、真っ正面から挑む『心』の大切さを教わりました。今回の『澱江』は読み応え十分！

▼初めて『澱江』の編集に参加しました。簡単に考えてましたが、結構バタバタとしてまいりました。昨年卒業したばかりの若造ですが、これからもよろしくお願いします。

▼今年は、澱江編集委員が増え、個人的には家族が1人増え、それぞれにぎやかになった。

▼編集委員長を任されてから早3年、サポートしていただける人たちも増えた。本年も『澱江』が発行できてとても嬉しい。閑話休題、ワールドカップ日本代表をフランスに導いた監督が自分と同世代で、心強くなった。日本人もまだまだ捨てたものじゃない。

KEIDAI
OSAKA